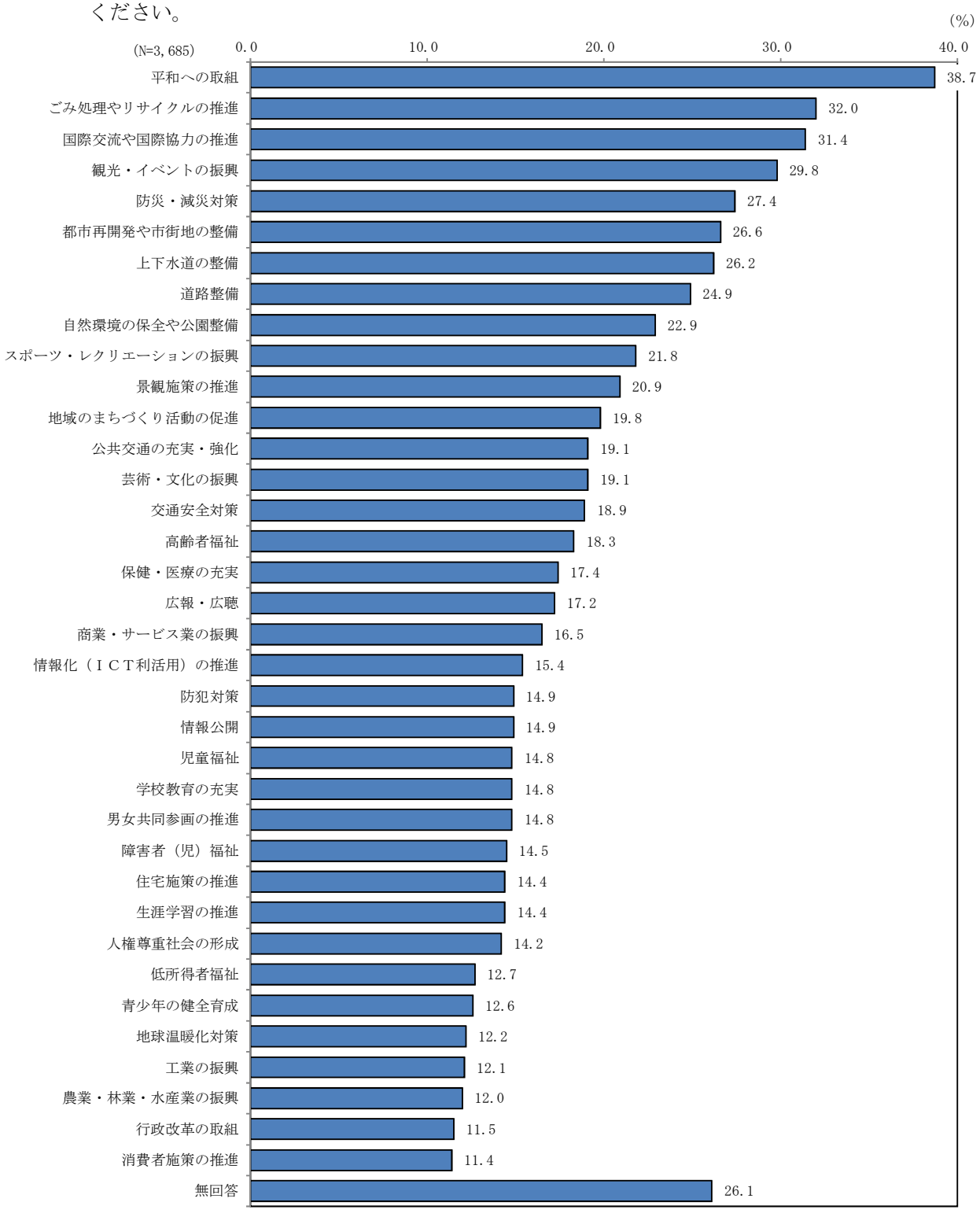
第2部 トピック調査項目

1 市政への評価・期待

(1) 以前と比べて良くなっているもの

問 13 市政について、次の表の区分ごとに○を付けてください（A欄、B欄は二者択一ではありませんので、両方の欄に○を付けても、○を付けなくても構いません。）。
A欄「以前と比べて良くなっている」と思うものを次のうちから選び、いくつでも○を付けてください。



市政について「以前と比べて良くなっている」と思うものとしては、「平和への取組」が 38.7%と最も多く、次いで「ごみ処理やリサイクルの推進」(32.0%)、「国際交流や国際協力の推進」(31.4%)、「観光・イベントの振興」(29.8%)、「防災・減災対策」(27.4%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１-１-１)、

〔地域別〕

・　全ての区で「平和への取組」が最も多くなっており、次いで、南区は「観光・イベントの振興」、安佐南区、安佐北区及び安芸区は「ごみ処理やリサイクルの推進」、それ以外の地域は「国際交流や国際協力の推進」の順になっている。

〔性・年齢別〕

・　男女ともに「平和への取組」が最も多く、次いで男性は「国際交流や国際協力の推進」、女性は「ごみ処理やリサイクルの推進」の順になっている。

・　男性では、50 歳代は「観光・イベントの振興」、それ以外の年代は「平和への取組」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代は「道路整備」、20 歳代は「観光・イベントの振興」、70 歳以上は「ごみ処理やリサイクルの推進」、それ以外の年代は「平和への取組」が最も多くなっている。

【時系列比較】

「以前と比べて良くなっている」と思うものを時系列に見たのが（図ＴＰ１－１－１）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「平和への取組」、「国際交流や国際協力の推進」、「防災・減災対策」及び「観光・イベントの振興」が 10 ポイント以上増加している。一方で「上下水道の整備」及び「ごみ処理やリサイクルの推進」は 6 ポイント以上減少している。

（表TP1－1－1）以前と比べて良くなっているもの（地域別、性・年齢別、将来の公共サービスの在り方別）

（%）

		総数	平和への取組	ごみ処理やリサイクルの推進	国際交流や国際協力の推進	観光・イベントの振興	防災・減災対策	都市再開発や市街地の整備	上下水道の整備	道路整備	自然環境の保全や公園整備	スポーツ・レクリエーションの振興
全市		3,685	38.7	32.0	31.4	29.8	27.4	26.6	26.2	24.9	22.9	21.8
地域別	中区	376	38.6	31.1	34.6	32.7	25.8	29.5	28.2	25.5	27.7	21.5
	東区	380	41.3	31.6	35.3	32.1	27.9	27.9	28.2	27.1	23.9	23.7
	南区	448	42.2	31.3	31.5	32.6	25.4	30.4	24.3	23.0	21.7	22.5
	西区	584	37.5	29.3	30.3	29.5	23.5	24.3	22.1	23.5	24.7	18.8
	安佐南区	714	37.4	31.9	28.2	28.0	31.4	26.1	27.6	26.6	19.3	21.1
	安佐北区	465	37.4	35.9	29.7	27.1	29.0	24.1	26.7	25.4	23.2	21.3
	安芸区	254	40.2	35.0	33.5	27.6	25.2	28.7	29.5	26.8	22.8	26.0
	佐伯区	441	37.4	32.0	33.3	29.9	28.6	24.5	25.6	22.0	22.2	22.7
性・年齢別	男性	1,497	39.5	29.8	32.7	29.7	27.5	27.4	28.6	25.3	23.1	22.9
	10歳代	17	58.8	23.5	52.9	41.2	41.2	29.4	35.3	41.2	29.4	35.3
	20歳代	99	43.4	21.2	34.3	36.4	28.3	26.3	32.3	27.3	19.2	26.3
	30歳代	207	41.1	21.3	30.4	28.5	31.4	29.0	24.2	23.2	22.2	15.5
	40歳代	266	40.2	23.7	35.3	33.5	28.9	32.3	26.3	21.4	22.2	26.7
	50歳代	226	32.3	22.1	32.3	33.6	23.9	23.5	20.8	23.5	19.9	22.1
	60歳代	308	39.3	38.0	33.8	27.9	25.6	26.6	32.1	26.3	24.0	22.7
	70歳以上	371	40.7	39.6	29.9	24.3	27.5	26.1	33.4	28.3	25.9	23.5
	女性	1,926	38.1	32.7	30.6	30.3	27.3	26.2	24.1	24.7	22.2	21.2
	10歳代	28	32.1	28.6	42.9	35.7	28.6	32.1	35.7	50.0	32.1	32.1
	20歳代	157	32.5	29.9	29.9	42.0	36.3	37.6	26.8	33.1	25.5	29.3
	30歳代	283	35.7	21.9	30.4	33.9	26.1	27.9	16.6	25.1	15.5	23.3
	40歳代	361	33.2	29.1	29.6	29.1	25.8	23.3	19.9	19.1	16.6	16.9
	50歳代	308	39.0	30.8	32.5	36.0	31.5	28.6	25.3	25.3	23.7	20.5
	60歳代	354	41.5	34.7	35.0	28.8	25.7	26.3	24.3	24.9	25.1	22.3
	70歳以上	434	42.6	43.8	26.3	21.4	24.2	21.2	29.7	24.0	26.0	19.6

（表TP1－1－1）以前と比べて良くなっているもの（地域別、性・年齢別、将来の公共サービスの在り方別）続き

（%）

		総数	景観施策の推進	地域のまちづくり活動の促進	公共交通の充実・強化	芸術・文化の振興	交通安全対策	高齢者福祉	保健・医療の充実	広報・広聴	商業・サービス業の振興	情報化（ICT利用）の推進
全市		3,685	20.9	19.8	19.1	19.1	18.9	18.3	17.4	17.2	16.5	15.4
地域別	中区	376	23.4	17.6	21.3	19.7	18.4	19.1	17.0	17.8	16.0	16.8
	東区	380	20.5	22.6	22.1	20.5	18.2	17.9	17.9	19.2	16.8	15.5
	南区	448	22.8	19.4	15.8	19.9	16.3	15.8	15.8	15.4	17.9	16.7
	西区	584	20.7	17.3	18.3	18.5	18.5	18.0	17.5	15.8	14.9	13.9
	安佐南区	714	19.0	19.7	20.6	19.0	20.2	18.2	16.5	16.1	16.8	14.8
	安佐北区	465	18.9	20.9	19.1	18.1	21.7	21.7	20.0	17.2	15.1	14.0
	安芸区	254	21.7	19.7	20.9	18.9	19.7	20.1	20.5	18.9	19.7	15.0
	佐伯区	441	21.1	22.7	15.4	19.0	18.6	15.4	15.6	19.5	17.0	17.2
性・年齢別	男性	1,497	21.2	19.4	18.8	20.9	20.4	19.0	18.8	18.0	16.5	16.2
	10歳代	17	23.5	23.5	35.3	23.5	29.4	23.5	17.6	29.4	47.1	23.5
	20歳代	99	24.2	19.2	24.2	22.2	21.2	20.2	21.2	16.2	19.2	18.2
	30歳代	207	22.2	12.6	15.5	14.0	20.3	14.5	13.0	15.9	12.1	14.5
	40歳代	266	22.2	18.0	16.9	23.3	18.4	15.4	16.9	18.8	20.7	17.3
	50歳代	226	18.1	18.1	15.0	19.0	14.6	15.0	17.3	14.6	10.6	13.7
	60歳代	308	19.5	20.1	20.8	23.7	19.5	17.9	20.5	20.1	15.9	15.9
	70歳以上	371	22.1	24.0	20.5	21.6	25.3	27.0	22.4	18.9	18.1	17.3
	女性	1,926	20.6	19.9	18.7	18.0	17.7	17.7	16.6	16.4	16.8	14.7
	10歳代	28	25.0	21.4	17.9	46.4	21.4	17.9	10.7	21.4	17.9	17.9
	20歳代	157	28.7	24.2	24.2	23.6	21.7	19.1	18.5	22.9	27.4	19.1
	30歳代	283	21.9	20.5	18.4	17.7	16.6	13.4	15.9	13.4	20.1	14.1
	40歳代	361	16.6	15.0	16.9	15.8	14.7	10.5	11.4	13.6	13.3	13.3
	50歳代	308	21.8	18.5	20.8	16.2	16.2	17.5	15.9	17.2	17.9	17.5
	60歳代	354	22.6	22.0	16.9	19.2	15.3	19.5	17.2	18.9	15.8	15.5
	70歳以上	434	17.5	21.4	18.4	16.4	22.1	24.4	21.0	15.2	13.8	11.8

（表TP1－1－1）以前と比べて良くなっているもの（地域別、性・年齢別、将来の公共サービスの在り方別）続き

（%）

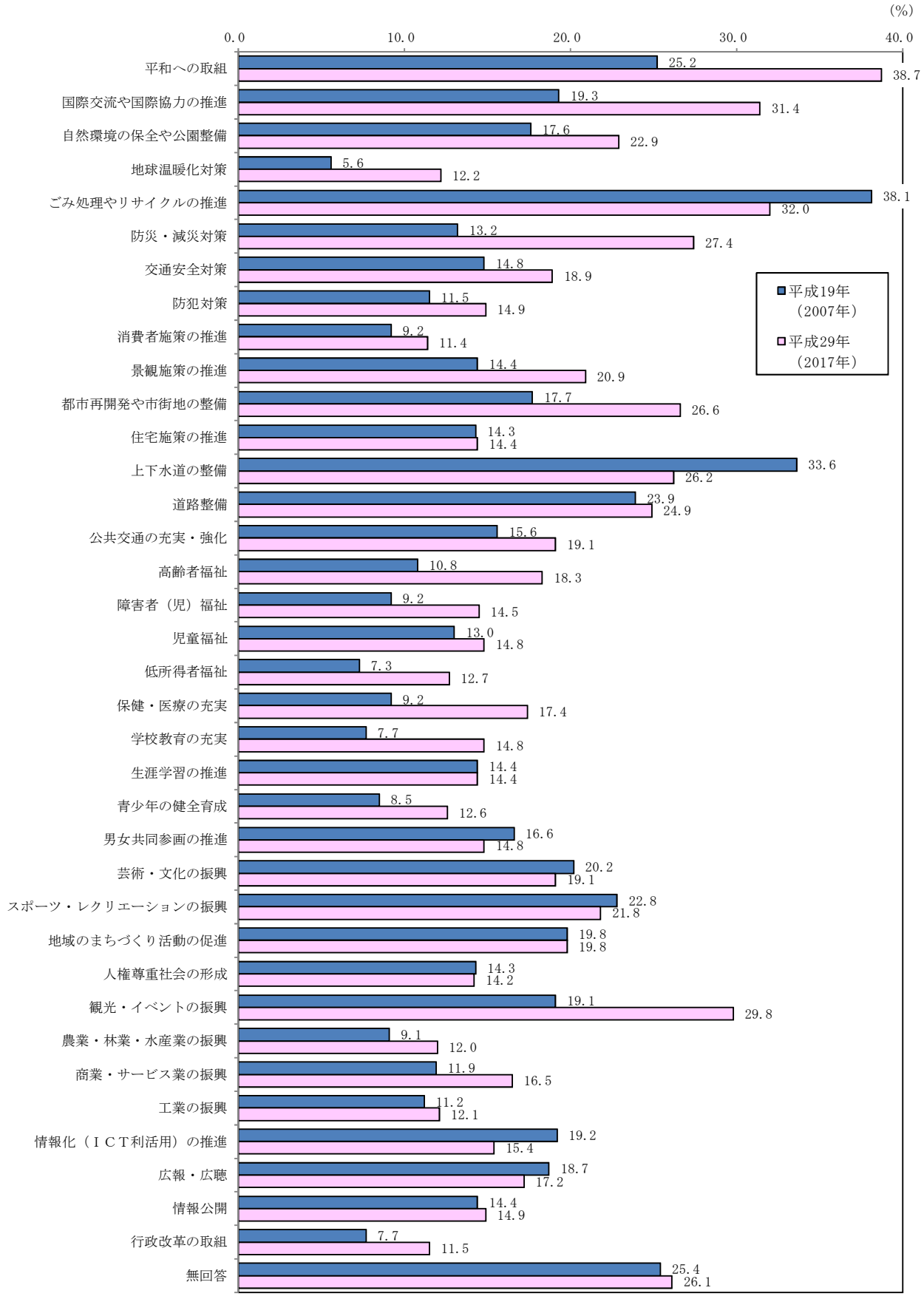
		総数	防犯対策	情報公開	児童福祉	学校教育の充実	男女共同参画の推進	障害者（児）福祉	住宅施策の推進	生涯学習の推進	人権尊重社会の形成	低所得者福祉
全市		3,685	14.9	14.9	14.8	14.8	14.8	14.5	14.4	14.4	14.2	12.7
地域別	中区	376	15.2	15.2	12.0	13.6	15.2	13.0	16.2	15.7	14.6	11.4
	東区	380	13.4	17.1	17.9	18.7	17.1	16.6	13.9	15.8	16.1	16.1
	南区	448	13.2	12.9	15.8	13.8	15.8	13.8	13.4	13.2	14.3	14.3
	西区	584	13.5	14.0	12.8	10.4	14.9	14.4	13.0	13.9	13.5	12.7
	安佐南区	714	15.8	15.1	15.0	16.5	12.9	13.4	15.8	13.4	13.6	12.2
	安佐北区	465	15.5	13.8	18.3	15.7	14.4	16.6	15.5	14.4	14.4	12.5
	安芸区	254	18.9	17.3	13.0	15.0	15.4	15.4	11.8	15.0	15.7	12.6
	佐伯区	441	15.0	15.2	12.9	15.2	14.3	13.4	13.4	15.6	13.8	10.7
性・年齢別	男性	1,497	16.2	15.8	15.0	15.7	16.8	15.2	14.7	15.1	15.2	13.8
	10歳代	17	23.5	29.4	23.5	23.5	35.3	35.3	35.3	23.5	23.5	23.5
	20歳代	99	17.2	17.2	16.2	23.2	22.2	15.2	16.2	14.1	18.2	10.1
	30歳代	207	15.0	12.6	13.0	10.6	12.1	14.0	13.0	8.7	11.1	10.1
	40歳代	266	15.4	15.4	11.7	14.7	17.3	13.9	16.2	16.9	16.9	13.9
	50歳代	226	11.1	14.6	11.9	15.0	13.7	12.4	11.5	11.9	16.8	13.3
	60歳代	308	15.9	16.9	17.5	14.0	17.5	12.7	14.3	17.5	14.9	14.3
	70歳以上	371	19.9	16.4	17.5	18.9	17.5	19.7	15.4	17.0	14.6	16.4
	女性	1,926	13.8	14.2	14.5	13.8	13.2	14.0	13.8	13.3	13.3	12.0
	10歳代	28	17.9	21.4	7.1	35.7	25.0	10.7	28.6	17.9	28.6	－
	20歳代	157	15.9	17.8	12.7	17.2	22.3	15.9	17.2	16.6	19.1	17.2
	30歳代	283	13.8	14.1	9.5	12.4	12.4	10.6	13.1	9.9	12.7	11.3
	40歳代	361	11.6	11.6	12.5	11.4	11.4	8.3	12.7	8.6	10.0	10.2
	50歳代	308	11.7	11.7	15.9	13.3	14.3	15.3	12.3	15.3	14.3	10.4
	60歳代	354	13.0	15.0	15.0	14.4	11.0	14.7	14.1	15.8	13.6	11.6
	70歳以上	434	16.8	15.7	19.4	13.6	12.2	19.1	13.8	14.7	12.7	14.3

（表TP1－1－1）以前と比べて良くなっているもの（地域別、性・年齢別、将来の公共サービスの在り方別）続き

（%）

		総数	青少年の健全育成	地球温暖化対策	工業の振興	農業・林業・水産業の振興	行政改革の取組	消費者施策の推進	無回答
全市		3,685	12.6	12.2	12.1	12.0	11.5	11.4	26.1
地域別	中区	376	13.6	14.6	13.0	11.7	10.4	10.6	26.1
	東区	380	13.7	15.5	13.4	12.9	14.7	13.4	23.2
	南区	448	11.2	10.9	11.4	14.5	11.6	10.0	28.1
	西区	584	12.5	11.5	12.7	11.5	9.9	9.1	25.9
	安佐南区	714	10.6	9.7	11.2	10.5	10.9	11.3	24.8
	安佐北区	465	13.5	13.1	11.6	11.6	11.6	11.2	27.3
	安芸区	254	12.6	13.8	13.4	11.0	12.6	15.7	26.0
	佐伯区	441	14.5	12.2	11.6	12.9	11.8	12.7	27.0
性・年齢別	男性	1,497	13.5	13.0	13.3	13.0	12.4	12.6	24.5
	10歳代	17	23.5	17.6	29.4	29.4	17.6	23.5	17.6
	20歳代	99	14.1	10.1	17.2	18.2	15.2	10.1	21.2
	30歳代	207	11.6	12.6	9.7	10.1	11.1	8.2	27.1
	40歳代	266	11.7	13.9	14.3	17.3	12.8	10.5	21.1
	50歳代	226	14.2	8.0	11.1	9.3	10.2	8.4	27.0
	60歳代	308	15.3	14.0	14.3	12.3	13.0	14.0	23.1
	70歳以上	371	13.5	15.6	13.2	12.1	12.9	18.1	26.4
	女性	1,926	11.4	11.4	11.5	11.5	10.9	10.0	26.5
	10歳代	28	21.4	10.7	17.9	21.4	14.3	17.9	21.4
	20歳代	157	14.6	13.4	19.1	19.7	15.3	10.2	21.7
	30歳代	283	8.8	11.7	12.0	12.7	10.6	7.4	29.7
	40歳代	361	10.0	8.6	9.4	7.2	7.8	6.9	26.6
	50歳代	308	13.6	14.0	12.7	13.0	9.4	11.4	23.1
	60歳代	354	8.8	9.9	9.3	11.0	11.6	12.7	28.2
	70歳以上	434	12.9	12.4	10.8	9.9	12.4	10.4	27.4

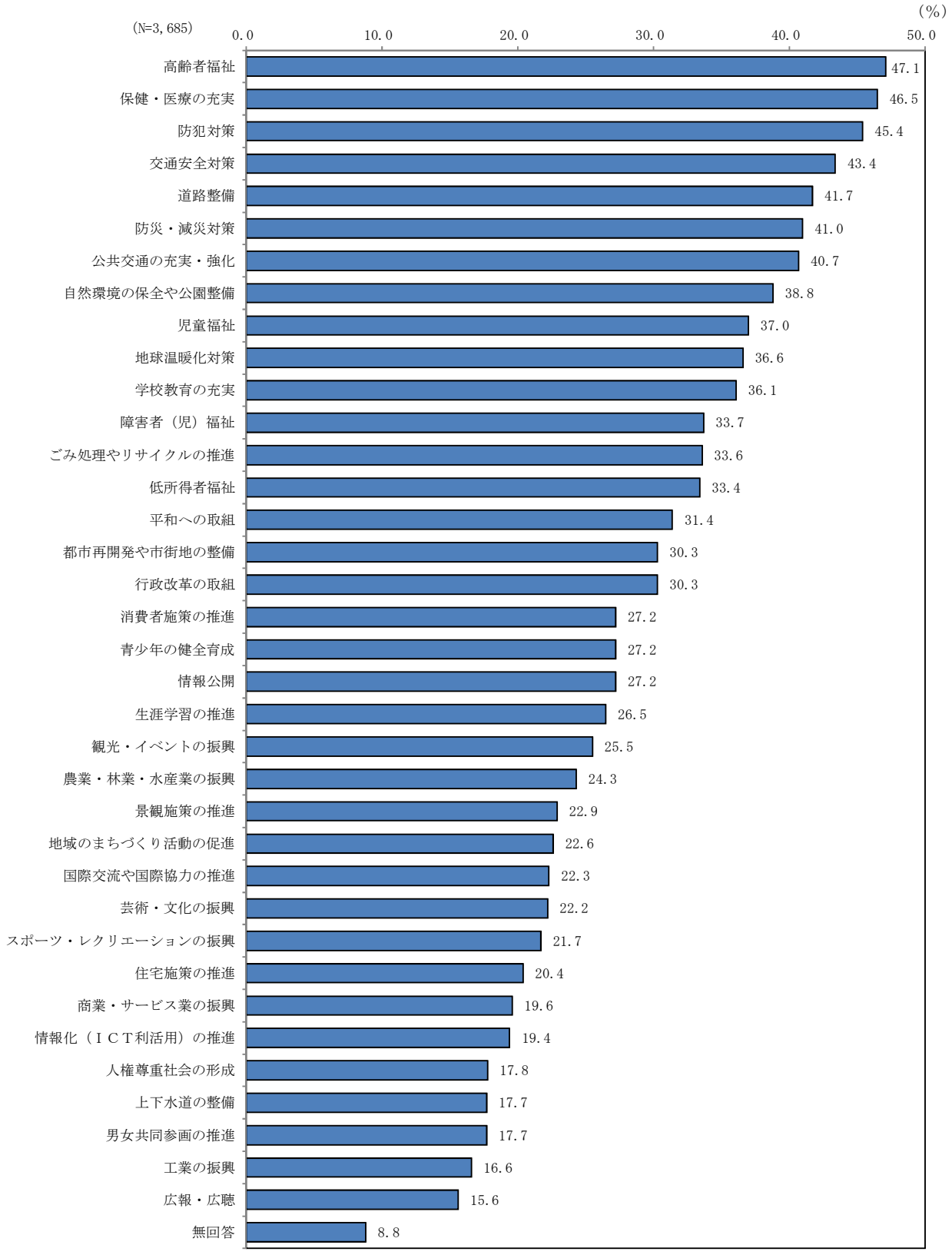
（図TP1－1－1）以前と比べて良くなっているもの（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

⑵　今後、もっと力を入れて欲しいもの

問 13　市政について、次の表の区分ごとに○を付けてください（Ａ欄、Ｂ欄は二者択一ではありませんので、両方の欄に○を付けても、○を付けなくても構いません。）。
Ｂ欄「今後、もっと力を入れて欲しい」と思うものを次のうちから選び、いくつでも○を付けてください。



市政について「今後、もっと力を入れて欲しい」と思うものとしては、「高齢者福祉」が 47.1%と最も多く、次いで「保健・医療の充実」(46.5%)、「防犯対策」(45.4%)、「交通安全対策」(43.4%)、「道路整備」(41.7%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１－２－１)、

〔地域別〕

・　中区は「防犯対策」、東区は「高齢者福祉」及び「防犯対策」(同率)、安佐南区及び佐伯区は「保健・医療の充実」、それ以外の地域は「高齢者福祉」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男性は「道路整備」が最も多く、次いで「防犯対策」の順になっており、女性は「保健・医療の充実」が最も多く、次いで「高齢者福祉」の順になっている。

・　男性では、10 歳代は「地球温暖化対策」、20 歳代は「公共交通の充実・強化」、30 歳代は「児童福祉」、40 歳代は「道路整備」、50 歳代は「防犯対策」、60 歳代以上は「高齢者福祉」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代は「防犯対策」、20 歳代及び 30 歳代は「児童福祉」、40 歳代及び 50 歳代は「保健・医療の充実」、60 歳代以上は「高齢者福祉」が最も多くなっている。

〔将来の公共サービスの在り方別〕

・　「現在の公共サービスの水準を維持・向上させるため、将来世代への負担が増えることはやむを得ない」及び「わからない」は「高齢者福祉」、「将来世代への負担を今以上に回さないよう市の借金を一定程度に抑え、現在の公共サービスの水準を一定程度に抑えた方が良い」は「保健・医療の充実」、「将来世代への負担を減らしていくため、現在の公共サービスの水準を下げることはやむを得ない」は「道路整備」、「その他」は「防災・減災対策」が最も多くなっている。

【時系列比較】

「今後、もっと力を入れて欲しい」と思うものを時系列に見たのが（図ＴＰ１－２－１）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「道路整備」が 6.6 ポイント増加している。一方で「青少年の健全育成」が 11.2 ポイント、「情報公開」が 9.4 ポイント、「人権尊重社会の形成」が 7.9 ポイント減少している。

（表TP1－2－1）今後、もっと力を入れて欲しいもの（地域別、性・年齢別、将来の公共サービスの在り方別）

（%）

		総数	高齢者福祉	保健・医療の充実	防犯対策	交通安全対策	道路整備	防災・減災対策	公共交通の充実・強化	自然環境の保全や公園整備	児童福祉	地球温暖化対策
全市		3,685	47.1	46.5	45.4	43.4	41.7	41.0	40.7	38.8	37.0	36.6
地域別	中区	376	42.6	47.1	48.7	42.6	35.6	41.2	40.7	37.5	42.3	31.4
	東区	380	47.4	45.3	47.4	45.3	41.1	47.1	37.1	42.9	37.6	36.8
	南区	448	45.1	43.5	44.0	44.4	41.3	39.3	38.8	37.3	34.4	32.6
	西区	584	47.8	46.4	47.1	45.9	38.0	40.6	41.6	38.4	38.7	37.8
	安佐南区	714	46.1	48.7	48.3	45.2	44.7	41.2	39.6	43.7	38.8	39.2
	安佐北区	465	49.5	45.4	40.9	40.9	45.6	39.8	45.2	34.4	29.5	35.3
	安芸区	254	52.4	46.9	41.3	42.5	44.9	41.3	38.6	41.3	37.8	38.2
	佐伯区	441	47.8	48.1	43.3	39.5	43.5	40.1	43.5	34.5	37.9	39.9
性・年齢別	男性	1,497	46.2	44.8	47.2	46.2	47.6	43.3	45.7	41.8	38.5	36.1
	10歳代	17	41.2	41.2	35.3	29.4	47.1	29.4	29.4	35.3	41.2	52.9
	20歳代	99	29.3	31.3	43.4	41.4	45.5	45.5	55.6	38.4	38.4	33.3
	30歳代	207	30.0	48.8	46.4	46.4	49.8	46.4	48.8	46.4	52.7	32.9
	40歳代	266	35.0	41.7	46.6	42.9	48.9	39.8	48.5	41.0	42.9	30.8
	50歳代	226	53.1	46.9	54.9	53.1	49.1	48.2	50.9	43.4	40.7	42.0
	60歳代	308	56.2	49.0	49.7	49.7	50.0	48.4	44.2	43.8	34.4	40.3
	70歳以上	371	55.3	43.4	42.6	43.4	42.9	36.7	37.7	38.5	29.9	34.5
	女性	1,926	47.0	48.5	44.9	41.8	37.3	40.4	37.9	37.2	37.0	37.4
	10歳代	28	42.9	46.4	60.7	53.6	28.6	35.7	46.4	32.1	46.4	42.9
	20歳代	157	35.7	50.3	47.1	42.7	35.0	36.9	40.1	38.2	51.6	40.1
	30歳代	283	31.8	58.0	44.9	44.5	33.6	41.7	38.5	43.8	59.4	33.2
	40歳代	361	44.0	52.6	49.3	44.6	38.8	42.4	38.0	39.9	42.7	34.3
	50歳代	308	49.4	52.6	49.7	45.8	43.2	46.4	43.2	39.0	32.5	36.7
	60歳代	354	57.3	47.2	47.5	42.9	37.6	43.5	37.0	40.4	32.8	43.5
	70歳以上	434	53.9	36.6	33.9	32.7	35.7	32.7	32.7	27.0	18.7	37.1
将来の公共サービスの在り方別	現在の公共サービスの水準を維持・向上させるため、将来世代への負担が増えることはやむを得ない	387	55.6	48.3	44.4	41.9	46.3	37.0	45.5	38.5	36.4	39.0
	将来世代への負担を今以上に回さないよう市の借金を一定程度に抑え、現在の公共サービスの水準を一定程度に抑えた方が良い	1,996	48.4	50.1	48.6	45.7	42.3	44.8	42.1	40.6	40.6	39.6
	将来世代への負担を減らしていくため、現在の公共サービスの水準を下げることはやむを得ない	492	34.1	36.0	37.2	38.6	39.4	35.6	38.2	37.4	34.6	31.7
	その他	218	46.8	51.4	55.5	56.0	52.8	58.3	54.1	48.6	42.7	38.1
	わからない	348	49.1	46.3	40.2	39.4	37.9	30.7	31.9	32.2	29.0	30.5

（表TP1－2－1）今後、もっと力を入れて欲しいもの（地域別、性・年齢別、将来の公共サービスの在り方別）続き

（%）

		総数	学校教育の充実	障害者（児）福祉	ごみ処理やリサイクルの推進	低所得者福祉	平和への取組	都市再開発や市街地の整備	行政改革の取組	消費者施策の推進	青少年の健全育成	情報公開
全市		3,685	36.1	33.7	33.6	33.4	31.4	30.3	30.3	27.2	27.2	27.2
地域別	中区	376	33.8	34.6	34.6	34.0	28.5	34.0	32.2	27.4	28.5	29.5
	東区	380	37.4	33.7	33.9	30.3	33.7	33.9	29.5	27.1	27.6	28.9
	南区	448	33.5	33.5	29.2	30.1	31.7	27.9	30.6	27.9	29.2	25.2
	西区	584	39.4	35.6	34.8	33.7	32.2	30.3	30.7	26.7	24.1	26.4
	安佐南区	714	37.1	34.5	34.5	33.1	32.4	31.5	29.6	28.2	28.7	26.8
	安佐北区	465	34.2	31.4	32.5	36.3	31.4	26.9	31.8	26.5	25.8	27.5
	安芸区	254	38.2	31.5	38.2	33.9	29.5	31.5	28.7	27.6	28.7	26.0
	佐伯区	441	35.4	33.6	33.3	36.1	30.6	27.9	30.4	27.0	26.8	28.8
性・年齢別	男性	1,497	37.1	33.5	35.8	33.2	29.7	35.3	35.7	29.5	28.9	30.3
	10歳代	17	47.1	23.5	35.3	29.4	29.4	29.4	35.3	35.3	29.4	35.3
	20歳代	99	39.4	33.3	33.3	34.3	27.3	44.4	26.3	35.4	24.2	22.2
	30歳代	207	45.9	28.0	35.7	30.0	30.9	41.1	32.4	36.7	26.6	26.1
	40歳代	266	45.5	32.3	35.7	29.3	27.1	34.6	30.8	32.7	30.1	31.6
	50歳代	226	36.7	39.4	41.2	32.7	32.7	38.5	39.4	33.6	27.4	34.5
	60歳代	308	32.5	37.3	34.4	35.1	31.8	35.7	41.9	22.7	28.9	32.8
	70歳以上	371	28.8	30.7	34.2	36.4	28.0	28.3	35.8	24.0	31.0	29.4
	女性	1,926	36.9	34.1	32.7	32.7	33.3	26.5	26.1	26.2	26.4	25.0
	10歳代	28	32.1	50.0	35.7	57.1	39.3	21.4	25.0	25.0	28.6	17.9
	20歳代	157	47.8	38.2	38.9	36.3	39.5	28.7	23.6	39.5	29.9	24.8
	30歳代	283	49.5	31.8	38.5	27.9	31.8	29.3	22.6	29.7	25.8	23.3
	40歳代	361	45.7	34.6	31.3	29.6	34.3	30.2	21.6	26.9	24.1	23.8
	50歳代	308	35.1	35.4	34.4	30.2	39.9	30.5	31.2	30.5	26.9	28.9
	60歳代	354	33.6	39.5	32.5	37.6	34.2	24.6	29.9	22.6	30.8	28.2
	70歳以上	434	21.4	27.4	26.7	33.2	25.3	19.8	26.3	18.4	23.3	22.1
将来の公共サービスの在り方別	現在の公共サービスの水準を維持・向上させるため、将来世代への負担が増えることはやむを得ない	387	37.5	39.0	35.7	37.5	30.2	32.3	32.6	28.4	30.5	30.2
	将来世代への負担を今以上に回さないよう市の借金を一定程度に抑え、現在の公共サービスの水準を一定程度に抑えた方が良い	1,996	38.4	34.6	35.3	34.0	33.7	32.2	30.2	29.5	28.4	27.1
	将来世代への負担を減らしていくため、現在の公共サービスの水準を下げることはやむを得ない	492	33.1	27.8	31.9	27.6	29.7	28.0	30.9	21.3	24.8	24.4
	その他	218	50.0	40.8	38.5	33.5	34.9	38.1	47.7	32.6	33.5	44.5
	わからない	348	25.9	34.2	28.2	37.6	27.0	22.1	23.6	23.0	23.0	24.1

（表TP1－2－1）今後、もっと力を入れて欲しいもの（地域別、性・年齢別、将来の公共サービスの在り方別）続き

（%）

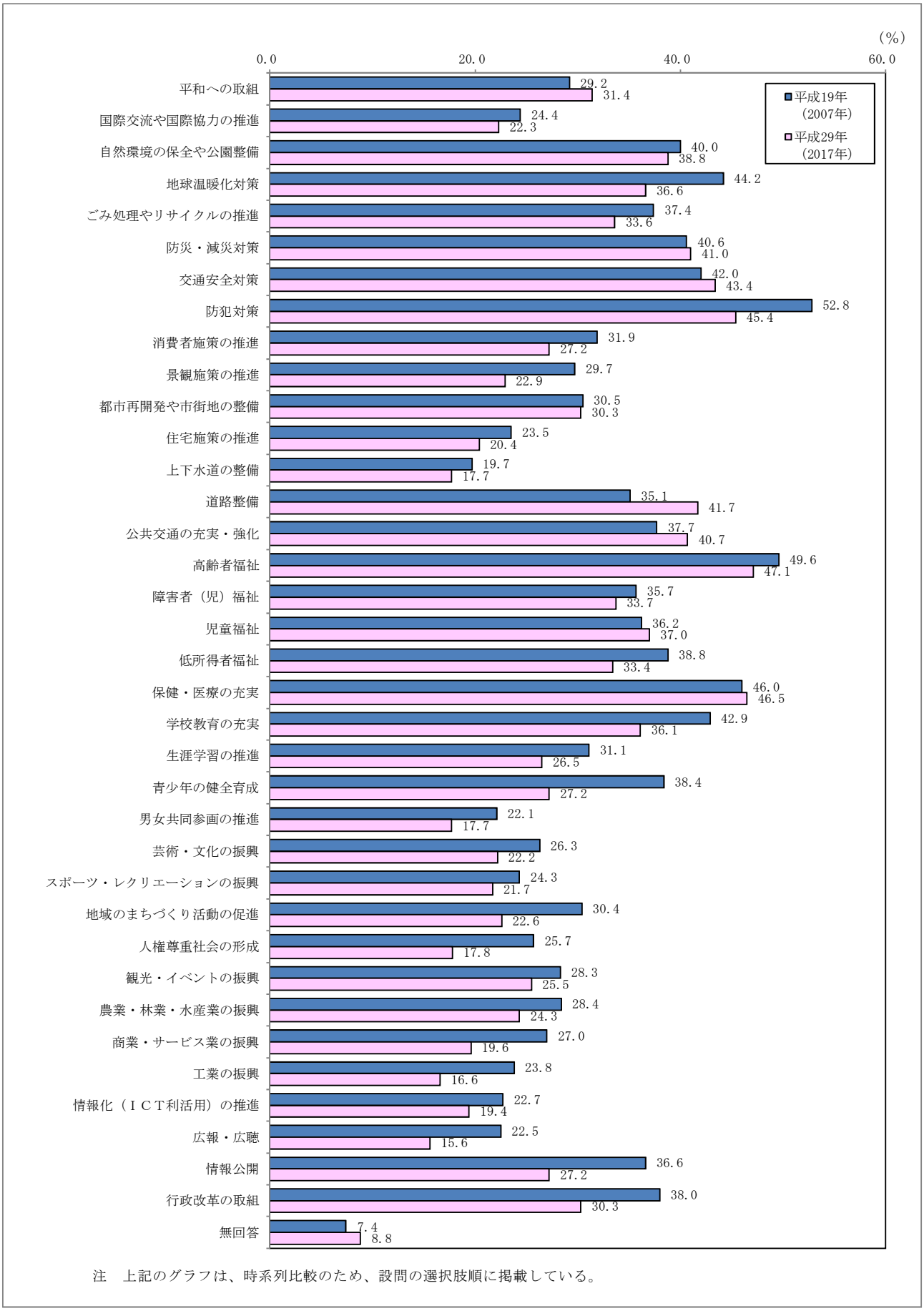
		総数	生涯学習の推進	観光・イベントの振興	農業・林業・水産業の振興	景観施策の推進	地域のまちづくり活動の促進	国際交流や国際協力の推進	芸術・文化の振興	スポーツ・レクリエーションの振興	住宅施策の推進	商業・サービス業の振興
全市		3,685	26.5	25.5	24.3	22.9	22.6	22.3	22.2	21.7	20.4	19.6
地域別	中区	376	26.6	29.8	24.7	26.3	25.0	21.8	25.5	22.9	22.1	23.4
	東区	380	28.4	27.6	23.4	24.7	21.1	25.0	21.3	24.2	25.0	20.5
	南区	448	32.1	28.1	23.2	23.4	21.9	25.7	24.6	21.0	19.2	18.5
	西区	584	24.3	24.3	21.6	21.6	21.9	23.8	19.9	22.9	21.1	18.7
	安佐南区	714	24.9	23.9	25.9	25.4	21.4	21.8	22.1	22.4	20.7	19.7
	安佐北区	465	26.0	24.9	27.5	20.6	20.9	18.3	21.9	20.9	18.9	19.4
	安芸区	254	23.6	23.2	20.9	20.9	28.0	20.9	21.3	20.5	20.5	17.3
	佐伯区	441	27.2	23.6	25.4	20.4	24.0	21.5	22.0	18.4	17.7	19.0
性・年齢別	男性	1,497	28.4	29.1	27.3	27.4	26.7	25.4	22.4	26.6	23.4	22.8
	10歳代	17	11.8	41.2	17.6	41.2	17.6	23.5	23.5	11.8	17.6	11.8
	20歳代	99	25.3	33.3	23.2	39.4	20.2	26.3	21.2	32.3	24.2	26.3
	30歳代	207	27.5	33.3	27.1	30.4	25.6	25.6	21.7	29.5	30.0	30.9
	40歳代	266	28.6	30.5	22.9	26.3	23.7	21.4	20.7	27.4	26.3	24.8
	50歳代	226	35.0	33.6	29.2	30.1	25.7	27.4	26.1	34.1	25.2	27.0
	60歳代	308	26.9	26.9	29.5	26.3	28.6	27.3	23.7	21.8	20.8	19.5
	70歳以上	371	27.5	22.9	28.6	22.1	30.5	25.1	20.8	22.9	19.1	16.2
	女性	1,926	25.5	23.6	22.0	19.7	19.6	20.4	22.1	17.7	18.2	17.0
	10歳代	28	28.6	39.3	25.0	21.4	21.4	21.4	14.3	25.0	14.3	28.6
	20歳代	157	28.0	28.7	16.6	21.0	21.7	22.9	24.8	21.7	27.4	25.5
	30歳代	283	23.7	31.1	19.8	18.7	16.6	20.5	22.6	18.0	21.2	17.7
	40歳代	361	25.5	25.2	19.7	21.9	16.9	19.9	21.1	20.2	19.4	16.3
	50歳代	308	30.2	29.5	22.1	24.0	18.8	23.1	27.6	21.4	19.2	19.5
	60歳代	354	28.2	18.9	28.2	20.1	22.0	22.6	24.0	15.0	17.2	16.4
	70歳以上	434	20.0	14.3	21.9	14.5	21.7	15.9	16.6	13.1	12.2	12.0
将来の公共サービスの在り方別	現在の公共サービスの水準を維持・向上させるため、将来世代への負担が増えることはやむを得ない	387	31.0	29.7	26.1	27.1	26.6	22.2	23.0	23.8	22.7	24.5
	将来世代への負担を今以上に回さないよう市の借金を一定程度に抑え、現在の公共サービスの水準を一定程度に抑えた方が良い	1,996	27.6	26.4	23.9	23.7	23.1	23.3	23.8	22.9	20.8	20.2
	将来世代への負担を減らしていくため、現在の公共サービスの水準を下げることはやむを得ない	492	23.8	23.0	26.8	19.3	20.7	21.7	16.5	18.3	20.1	17.1
	その他	218	33.0	36.7	31.2	30.7	29.4	32.1	34.4	29.8	25.2	23.9
	わからない	348	20.1	20.7	21.0	19.0	18.7	15.5	16.7	16.7	19.0	17.0

（表TP1－2－1）今後、もっと力を入れて欲しいもの（地域別、性・年齢別、将来の公共サービスの在り方別）続き

（%）

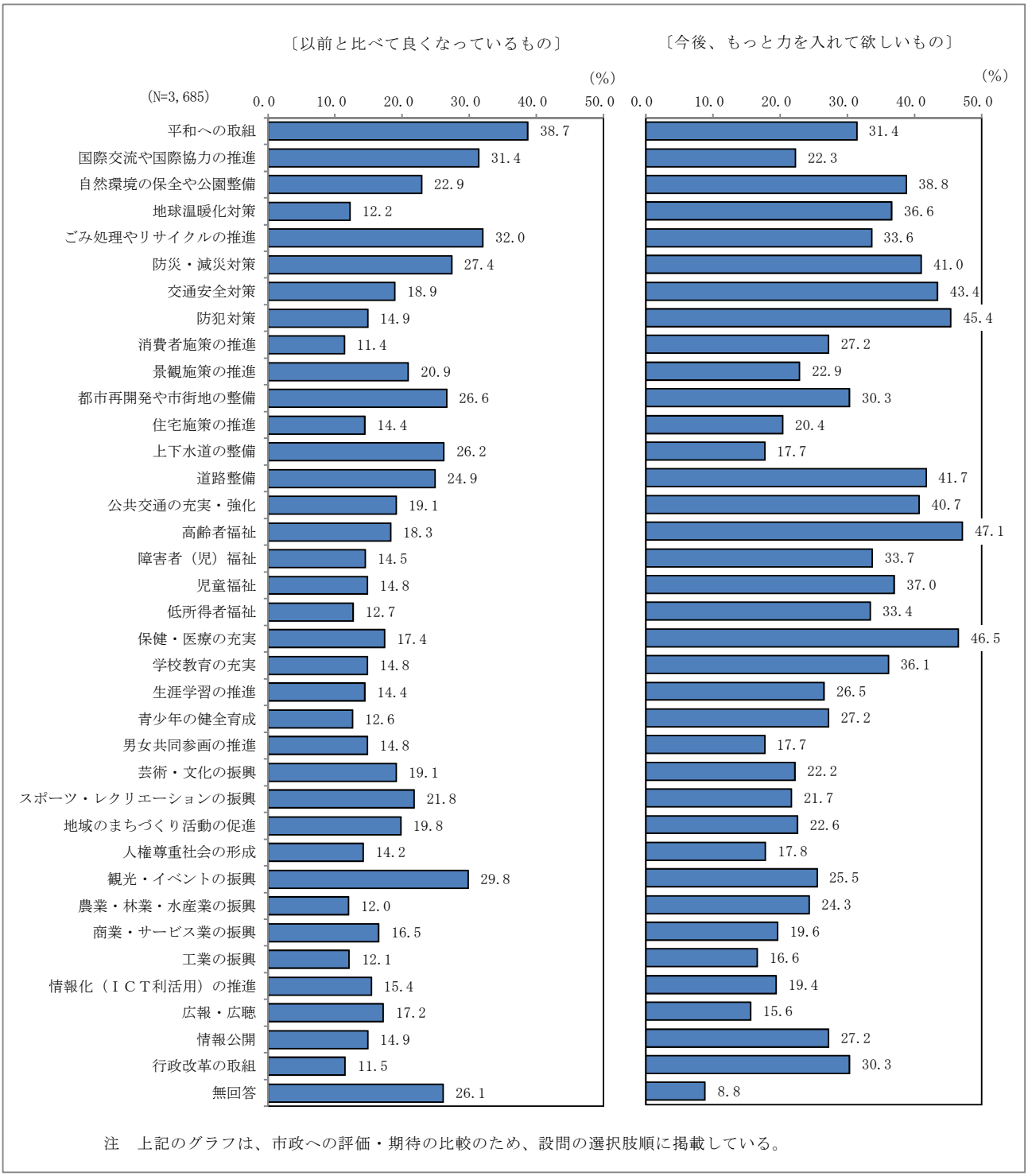
		総数	情報化（ICT利活用）の推進	人権尊重社会の形成	上下水道の整備	男女共同参画の推進	工業の振興	広報・広聴	無回答
	全市	3,685	19.4	17.8	17.7	17.7	16.6	15.6	8.8
地域別	中区	376	22.1	17.3	19.1	19.1	16.8	17.8	8.0
	東区	380	20.3	18.4	16.8	17.9	15.3	13.9	9.2
	南区	448	19.2	16.7	15.4	16.5	19.0	18.3	8.5
	西区	584	18.3	17.6	18.0	17.6	14.2	14.6	8.9
	安佐南区	714	20.0	17.8	18.8	17.6	17.1	15.0	6.0
	安佐北区	465	20.2	17.2	20.6	18.3	17.4	17.2	11.4
	安芸区	254	18.5	16.5	15.0	17.3	15.4	14.2	11.4
	佐伯区	441	17.5	20.2	15.9	17.5	17.9	14.5	8.4
性・年齢別	男性	1,497	25.1	19.4	20.6	17.9	22.1	17.0	7.3
	10歳代	17	29.4	23.5	5.9	11.8	5.9	11.8	11.8
	20歳代	99	26.3	14.1	18.2	16.2	18.2	15.2	8.1
	30歳代	207	25.1	18.8	19.3	18.4	29.0	14.5	5.3
	40歳代	266	27.8	15.8	19.9	15.4	24.1	15.8	4.1
	50歳代	226	31.9	19.5	29.6	20.8	24.3	19.9	4.9
	60歳代	308	22.7	23.1	16.9	17.9	18.8	17.9	7.8
	70歳以上	371	20.2	20.2	20.5	18.6	19.9	17.5	11.6
	女性	1,926	15.5	16.4	15.1	17.7	12.0	14.6	9.1
	10歳代	28	21.4	17.9	7.1	21.4	25.0	17.9	7.1
	20歳代	157	22.3	17.8	16.6	28.0	12.7	15.9	11.5
	30歳代	283	16.6	13.1	15.9	22.3	11.7	14.8	4.6
	40歳代	361	16.3	15.5	15.2	16.9	8.9	13.9	5.0
	50歳代	308	17.5	16.2	16.2	17.2	12.7	17.5	5.8
	60歳代	354	12.4	20.1	16.4	16.7	14.4	13.8	8.2
	70歳以上	434	12.2	15.9	12.7	12.7	11.5	12.9	18.0
将来の公共サービスの在り方別	現在の公共サービスの水準を維持・向上させるため、将来世代への負担が増えることはやむを得ない	387	25.1	19.4	22.0	17.6	20.2	20.2	9.6
	将来世代への負担を今以上に回さないよう市の借金を一定程度に抑え、現在の公共サービスの水準を一定程度に抑えた方が良い	1,996	19.3	18.2	17.8	18.5	16.8	15.5	5.8
	将来世代への負担を減らしていくため、現在の公共サービスの水準を下げることはやむを得ない	492	16.1	15.7	15.9	15.2	16.1	12.2	7.9
	その他	218	33.5	22.9	23.4	22.9	21.6	22.9	1.8
	わからない	348	14.9	18.7	14.9	16.4	14.4	15.5	16.7

（図TP1－2－1）今後、もっと力を入れて欲しいもの（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

⑶　市政への評価・期待の比較



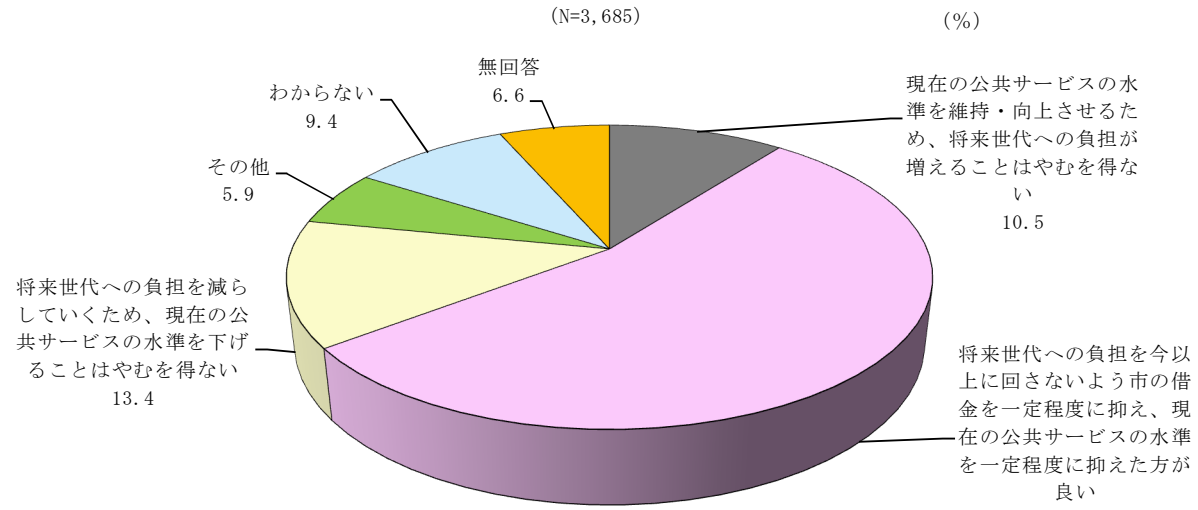
注　上記のグラフは、市政への評価・期待の比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

「以前と比べて良くなっているもの」の比率が「今後、もっと力を入れて欲しいもの」と比べて高くなっているのは、「平和への取組」、「国際交流や国際協力の推進」、「上下水道の整備」、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「観光・イベントの振興」及び「広報・広聴」といった項目である。

また、「今後、もっと力を入れて欲しいもの」の比率が「以前と比べて良くなっているもの」より高く、その差が最も大きい項目は「防犯対策」（30.5 ポイント）となっており、次いで「保健・医療の充実」（29.1 ポイント）、「高齢者福祉」（28.8 ポイント）、「交通安全対策」（24.5 ポイント）、「地球温暖化対策」（24.4 ポイント）の順になっている。

2　将来の公共サービスの在り方

問14　あなたは、公共サービスの水準と将来世代への負担の関係がどうなるのがよいと思いますか。
あなたの考えに近いものを次のうちから1つ選び、番号に○を付けてください。



公共サービスの水準と将来世代への負担の関係がどうなるのがよいと思うかを尋ねたところ、「将来世代への負担を今以上に回さないよう市の借金を一定程度に抑え、現在の公共サービスの水準を一定程度に抑えた方が良い」が54.2%と最も多く、次いで「将来世代への負担を減らしていくため、現在の公共サービスの水準を下げることはやむを得ない」(13.4%)、「現在の公共サービスの水準を維持・向上させるため、将来世代への負担が増えることはやむを得ない」(10.5%)の順になっている。

この結果を属性別に見ると（図ＴＰ２-１-１)、

〔地域別〕

・　全ての地域で「将来世代への負担を今以上に回さないよう市の借金を一定程度に抑え、現在の公共サービスの水準を一定程度に抑えた方が良い」が最も多く、次いで中区は「現在の公共サービスの水準を維持・向上させるため、将来世代への負担が増えることはやむを得ない」、それ以外の地域は「将来世代への負担を減らしていくため、現在の公共サービスの水準を下げることはやむを得ない」の順になっている。

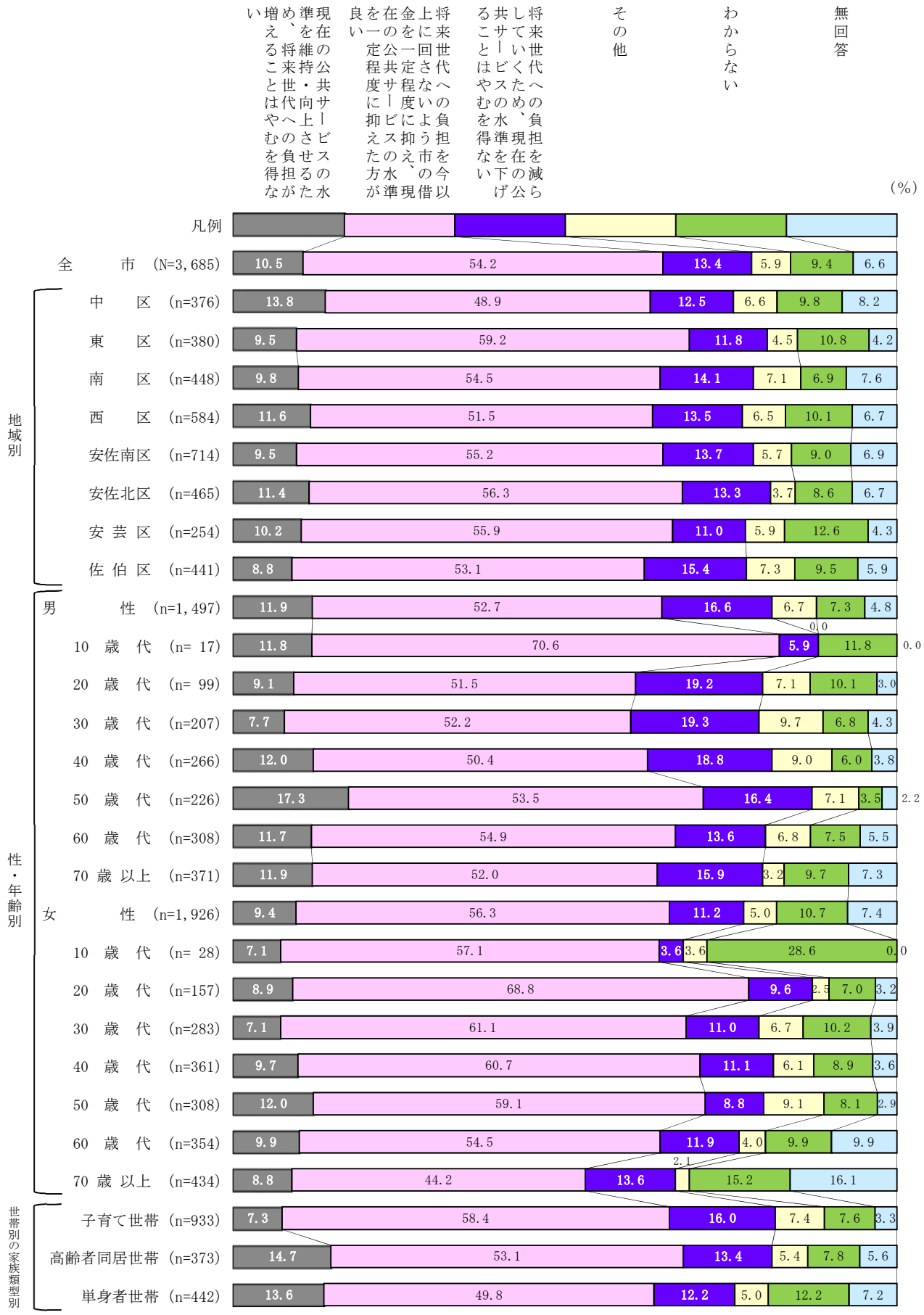
〔性・年齢別〕

・　男女とも全ての年代で「将来世代への負担を今以上に回さないよう市の借金を一定程度に抑え、現在の公共サービスの水準を一定程度に抑えた方が良い」が最も多く、次いで男女ともに 10 歳代及び 50 歳代は「現在の公共サービスの水準を維持・向上させるため、将来世代への負担が増えることはやむを得ない」、男女ともにそれ以外の年代は「将来世代への負担を減らしていくため、現在の公共サービスの水準を下げることはやむを得ない」の順になっている。

〔世帯の家族類型別〕

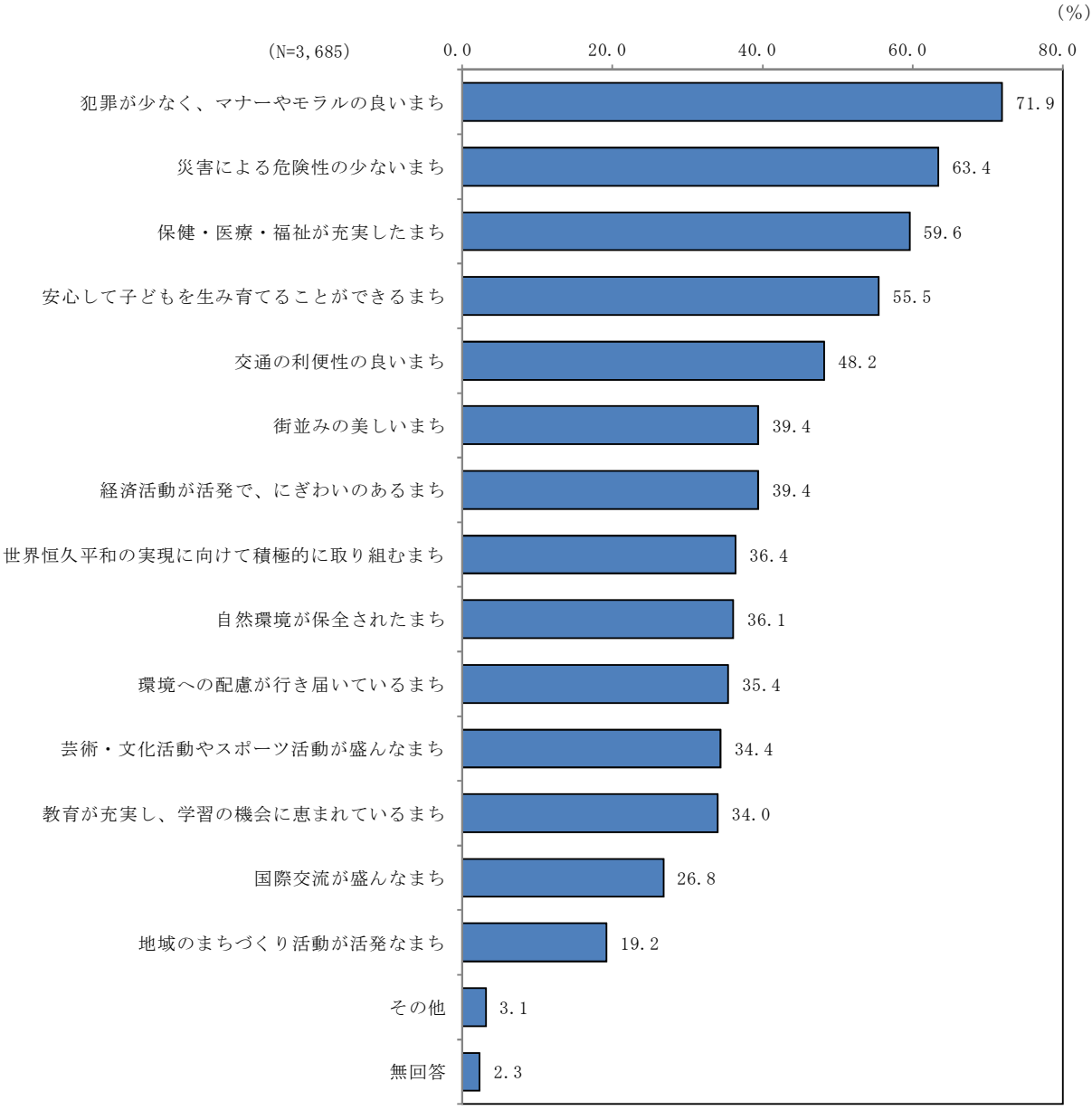
・　子育て世帯、高齢者同居世帯及び単身者世帯とも「将来世代への負担を今以上に回さないよう市の借金を一定程度に抑え、現在の公共サービスの水準を一定程度に抑えた方が良い」が最も多く、次いで子育て世帯は「将来世代への負担を減らしていくため、現在の公共サービスの水準を下げることはやむを得ない」、高齢者同居世帯及び単身者世帯は「現在の公共サービスの水準を維持・向上させるため、将来世代への負担が増えることはやむを得ない」の順になっている。

（図ＴＰ２－１－１）将来の公共サービスの在り方（地域別、性・年齢別、世帯の家族類型別）



3　まちのイメージ

問 15　あなたは、広島市を将来どのようなまちにしたいと思いますか。目指すべきまちの姿について、次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



広島市を将来どのようなまちにしたいかを尋ねたところ、「犯罪が少なく、マナーやモラルの良いまち」が 71.9％と最も多く、次いで「災害による危険性の少ないまち」(63.4％)、「保健・医療・福祉が充実したまち」(59.6％)、「安心して子どもを生み育てることができるまち」(55.5％)、「交通の利便性の良いまち」(48.2％) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ３－１－１)、

〔地域別〕

・　全ての地域で「犯罪が少なく、マナーやモラルの良いまち」が最も多く、次いで安芸区は「保健・医療・福祉が充実したまち」、それ以外の地域は「災害による危険性の少ないまち」の順になっている。

〔性・年齢別〕

・　男女とも「犯罪が少なく、マナーやモラルの良いまち」が最も多く、次いで「災害による危険性の少ないまち」の順になっている。

・　男性では、10 歳代から 60 歳代までは「犯罪が少なく、マナーやモラルの良いまち」、70 歳以上は「災害による危険性の少ないまち」が最も多くなっている。

・　女性では、30 歳代は「安心して子どもを生み育てることができるまち」、70 歳以上は「犯罪が少なく、マナーやモラルの良いまち」及び「災害による危険性の少ないまち」(同率)、それ以外の年代は「犯罪が少なく、マナーやモラルの良いまち」が最も多くなっている。

（表ＴＰ３－１－１）まちのイメージ（地域別、性・年齢別）

（%）

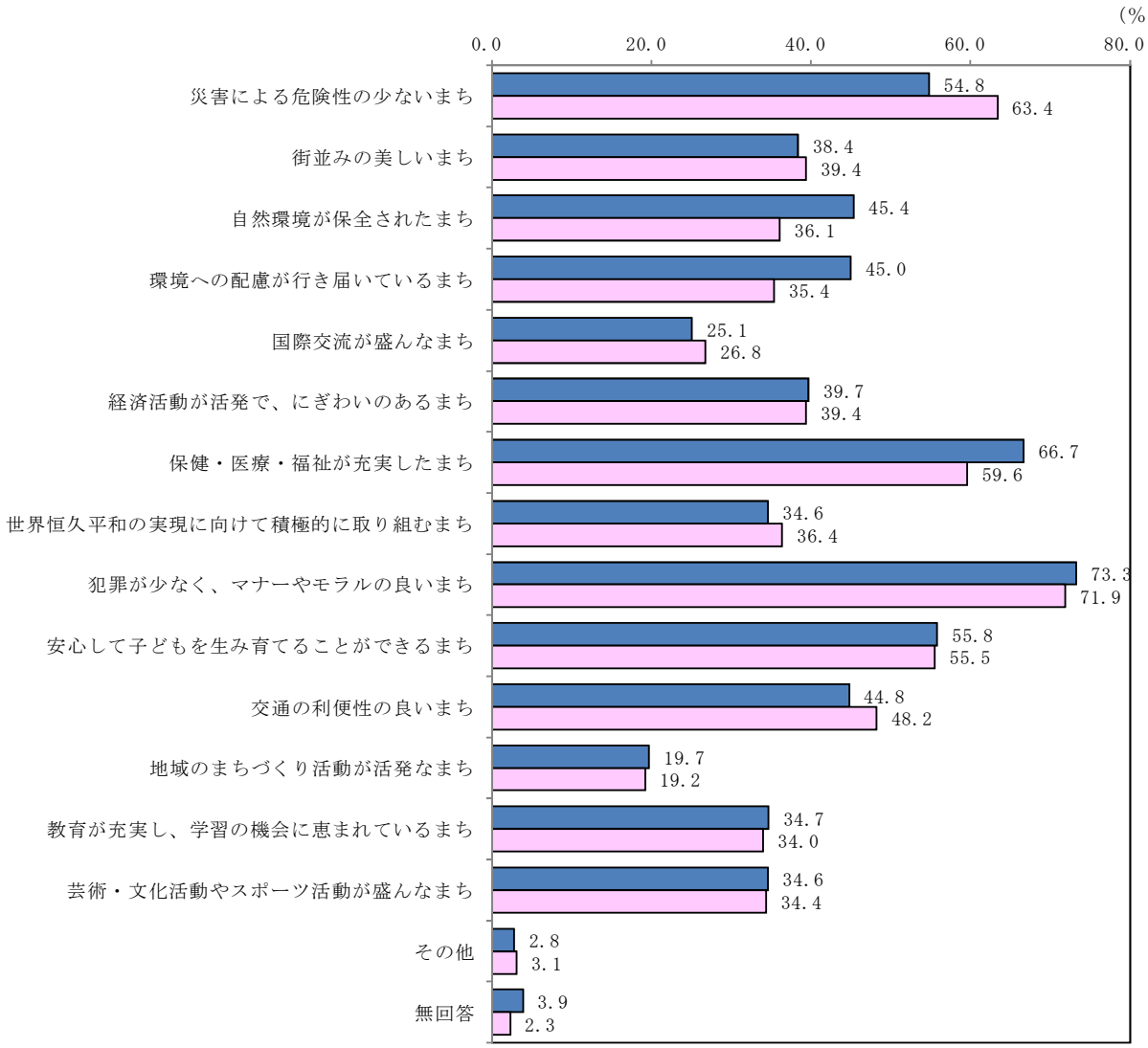
		総数	犯罪が少なく、マナーやモラルの良いまち	災害による危険性の少ないまち	保健・医療・福祉が充実したまち	安心して子どもを生み育てることができるまち	交通の利便性の良いまち	街並みの美しいまち	経済活動が活発で、にぎわいのあるまち	世界恒久平和の実現に向けて積極的に取り組むまち	自然環境が保全されたまち	環境への配慮が行き届いているまち	芸術・文化活動やスポーツ活動が盛んなまち	教育が充実し、学習の機会に恵まれているまち	国際交流が盛んなまち	地域のまちづくり活動が活発なまち	その他	無回答
全市		3,685	71.9	63.4	59.6	55.5	48.2	39.4	39.4	36.4	36.1	35.4	34.4	34.0	26.8	19.2	3.1	2.3
地域別	中区	376	72.3	61.7	56.9	54.0	47.6	47.1	40.4	36.2	39.4	32.2	36.2	34.6	31.4	21.3	2.1	2.7
	東区	380	78.2	66.8	62.1	59.2	45.8	46.1	43.2	37.4	35.5	37.4	36.6	39.2	28.4	18.4	3.4	1.3
	南区	448	69.2	57.4	55.6	52.9	43.5	40.2	39.7	38.8	32.1	34.2	32.6	32.8	27.9	15.4	3.6	3.1
	西区	584	70.0	60.6	60.3	56.2	47.1	39.4	39.0	39.0	37.3	34.8	37.8	36.5	31.8	21.1	3.6	1.9
	安佐南区	714	72.0	66.1	57.0	57.6	46.8	38.0	36.1	36.3	36.7	37.3	34.6	32.4	25.9	17.4	2.8	2.0
	安佐北区	465	72.9	68.0	62.8	55.1	55.5	35.3	38.3	31.8	36.8	36.3	31.4	32.5	23.2	21.9	3.2	2.4
	安芸区	254	72.0	62.6	65.0	53.5	50.8	35.0	42.9	33.5	35.4	36.2	31.1	31.5	20.5	18.1	2.8	1.6
	佐伯区	441	71.2	64.6	61.9	55.6	51.7	37.0	39.9	37.2	35.6	34.9	34.0	32.9	23.6	20.0	2.9	1.8
性・年齢別	男性	1,497	70.7	61.9	55.4	52.8	49.6	42.0	43.4	35.1	36.9	33.5	35.8	30.8	27.1	20.4	3.1	1.3
	10歳代	17	76.5	70.6	58.8	58.8	52.9	47.1	29.4	58.8	35.3	23.5	47.1	35.3	35.3	29.4	5.9	－
	20歳代	99	69.7	55.6	40.4	64.6	56.6	55.6	45.5	40.4	43.4	37.4	38.4	31.3	36.4	24.2	2.0	2.0
	30歳代	207	69.6	58.0	50.2	64.3	57.5	51.7	48.3	35.7	40.6	34.8	39.1	40.1	33.8	19.8	3.4	0.5
	40歳代	266	73.7	55.6	49.2	58.3	50.0	46.2	41.7	32.7	30.1	26.3	36.8	32.3	26.7	19.2	3.0	1.1
	50歳代	226	71.7	59.7	55.8	53.5	48.7	45.6	47.8	38.1	37.6	36.7	41.6	29.6	27.9	21.7	3.1	0.4
	60歳代	308	70.8	65.3	58.1	45.8	48.7	36.0	40.3	37.0	37.0	33.4	32.8	26.9	24.0	18.5	2.6	1.3
	70歳以上	371	68.2	69.0	64.4	44.5	44.2	32.9	42.0	30.7	38.0	35.6	31.0	28.0	23.2	21.3	3.2	2.4
	女性	1,926	73.4	64.9	62.1	59.7	47.3	37.7	36.6	37.8	35.1	36.7	33.9	36.8	26.7	17.8	2.8	2.9
	10歳代	28	67.9	57.1	60.7	57.1	53.6	42.9	28.6	42.9	39.3	46.4	39.3	35.7	39.3	32.1	3.6	－
	20歳代	157	80.9	65.0	56.7	77.1	54.8	49.7	31.8	40.8	38.9	38.2	38.9	42.7	29.3	16.6	2.5	1.3
	30歳代	283	73.1	58.3	61.8	81.3	42.4	41.7	33.9	36.7	33.6	36.4	31.8	47.3	31.8	17.3	3.2	1.4
	40歳代	361	76.2	64.8	59.8	63.7	44.6	44.0	37.7	45.4	32.7	33.8	39.9	39.1	30.7	16.3	2.5	1.1
	50歳代	308	74.4	67.9	63.3	57.5	50.6	36.0	41.2	38.0	31.8	38.6	36.4	35.1	27.3	13.6	3.9	0.6
	60歳代	354	74.0	65.0	62.4	53.4	49.2	31.9	40.1	36.7	37.3	39.5	33.3	31.9	22.6	19.8	1.1	3.1
	70歳以上	434	67.7	67.7	65.2	42.9	45.6	30.9	33.4	31.6	37.1	34.3	26.7	31.1	21.2	20.0	3.5	7.4

【時系列比較】

まちのイメージを時系列に見たのが（図ＴＰ３－１－１）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「災害による危険性の少ないまち」は 8.6 ポイント増加している。一方で「環境への配慮が行き届いているまち」は 9.6 ポイント、「自然環境が保全されたまち」は 9.3 ポイント、「保健・医療・福祉が充実したまち」は 7.1 ポイント減少している。

（図ＴＰ３－１－１）まちのイメージ（時系列）

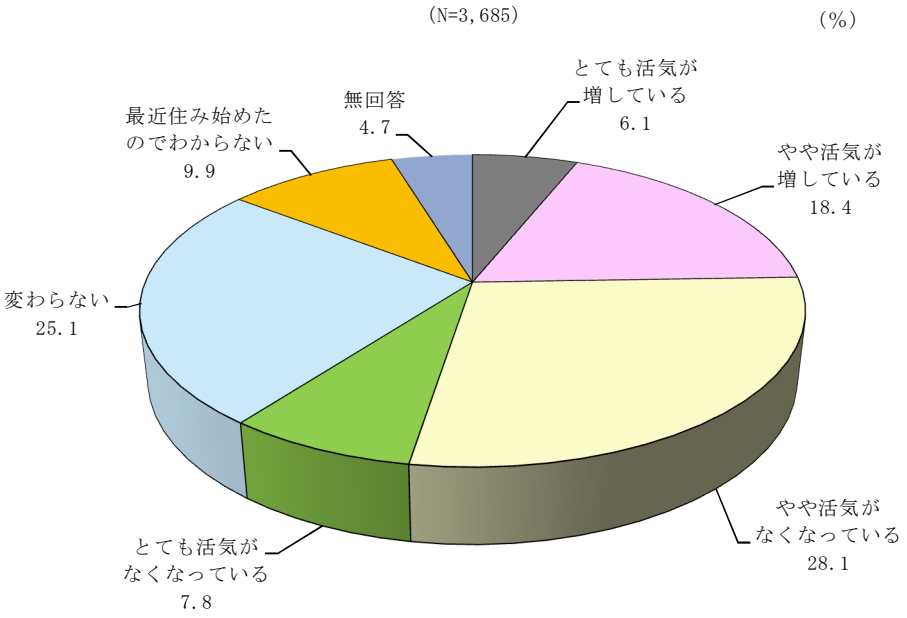


注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

4　現在のまちの姿

(1)　自分の住んでいる地域の活気

問16　あなたは、自分の住んでいる地域（おおむね小学校区）は、以前と比べてどのようになったと思いますか。あなたの考えに近いものを次のうちから1つ選び、番号に○を付けてください。



自分の住んでいる地域が以前と比べてどのようになったと思うかを尋ねたところ、「とても活気が増している」（6.1%）、「やや活気が増している」（18.4%）を合わせた『活気が増している』が 24.5%となっている。また、「やや活気がなくなっている」（28.1%）と「とても活気がなくなっている」（7.8%）を合わせた『活気がなくなっている』が 35.9%となっている。

この結果を属性別に見ると（図ＴＰ４－１－１）、

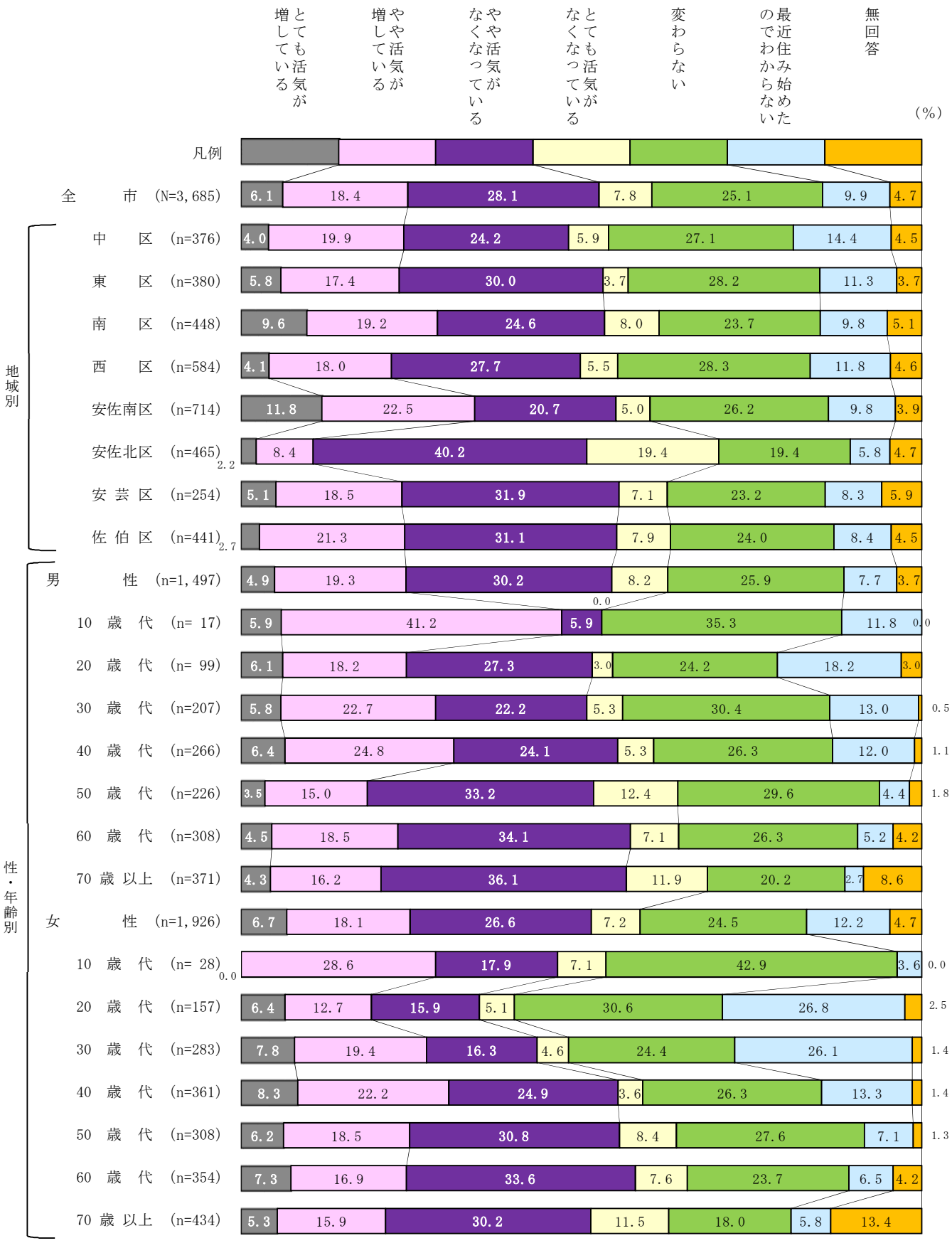
〔地域別〕

- 中区、西区及び安佐南区は「変わらない」、それ以外の地域は「やや活気がなくなっている」が最も多くなっている。
- 安佐北区は、他の地域と比べて「やや活気がなくなっている」、「とても活気がなくなっている」を合わせた『活気がなくなっている』の比率が高くなっている。

〔性・年齢別〕

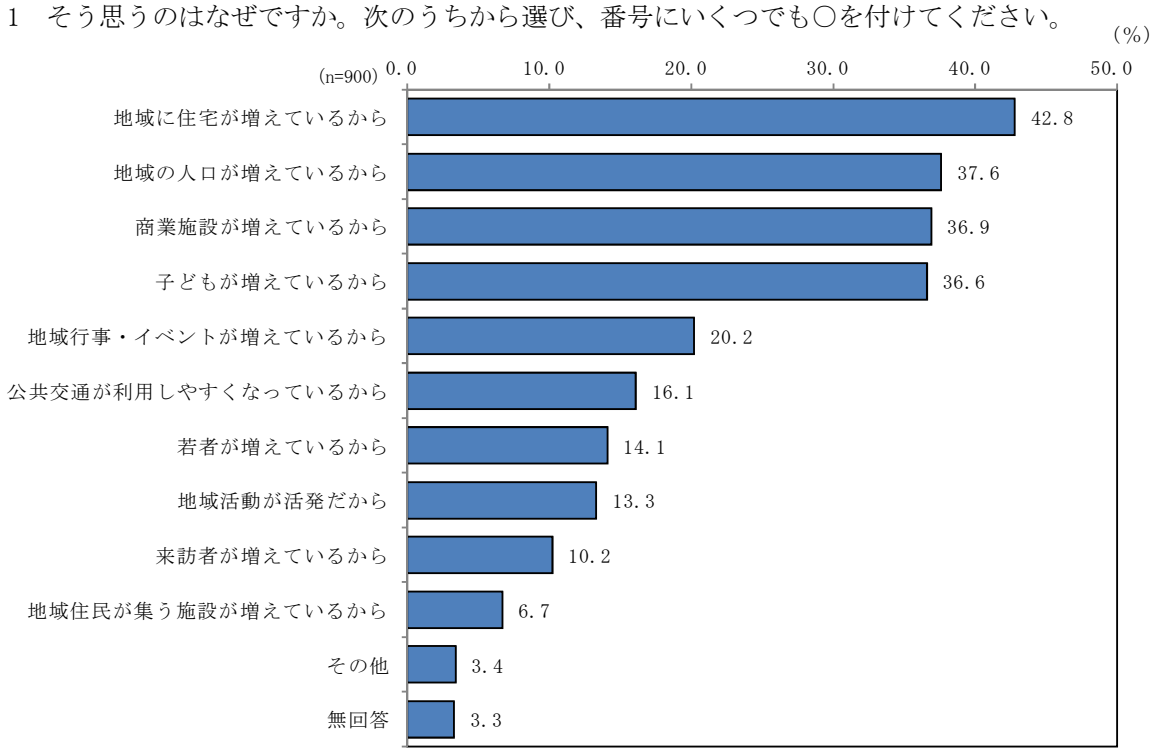
- 男女とも「やや活気がなくなっている」が最も多く、次いで「変わらない」の順になっている。
- 男性では、10 歳代は「やや活気が増している」、30 歳代及び 40 歳代は「変わらない」、それ以外の年代は「やや活気がなくなっている」が最も多くなっている。
- 女性では、10 歳代、20 歳代及び 40 歳代は「変わらない」、30 歳代は「最近住み始めたのでわからない」、50 歳代以上は「やや活気がなくなっている」が最も多くなっている。

（図ＴＰ４－１－１）自分の住んでいる地域の活気（地域別、性・年齢別）



⑵　活気が増していると思う理由

［問 16 で、「とても活気が増している」、「やや活気が増している」と答えた人に］
付問１　そう思うのはなぜですか。次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



自分の住んでいる地域の『活気が増している』(「とても活気が増している」、「やや活気が増している」を合わせたもの) と思う理由は、「地域に住宅が増えているから」が 42.8%と最も多く、次いで「地域の人口が増えているから」(37.6%)、「商業施設が増えているから」(36.9%)、「子どもが増えているから」(36.6%)、「地域行事・イベントが増えているから」(20.2%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ４－２－１)、

〔地域別〕

・　南区及び西区は「商業施設が増えているから」、安佐南区は「地域の人口が増えているから」、安芸区は「子どもが増えているから」、それ以外の地域は「地域に住宅が増えているから」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男性は「地域の人口が増えているから」が最も多く、次いで「地域に住宅が増えているから」の順になっており、女性は「地域に住宅が増えているから」が最も多く、次いで「子どもが増えているから」の順になっている。

・　男性では、10 歳代は「商業施設が増えているから」及び「子どもが増えているから」(同率)、20 歳代は「商業施設が増えているから」、30 歳代から 50 歳代までは「地域の人口が増えているから」、60 歳代以上は「地域に住宅が増えているから」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代及び 30 歳代は「子どもが増えているから」、それ以外の年代は「地域に住宅が増えているから」が最も多くなっている。

（表ＴＰ４－２－１）活気が増していると思う理由（地域別、性・年齢別）

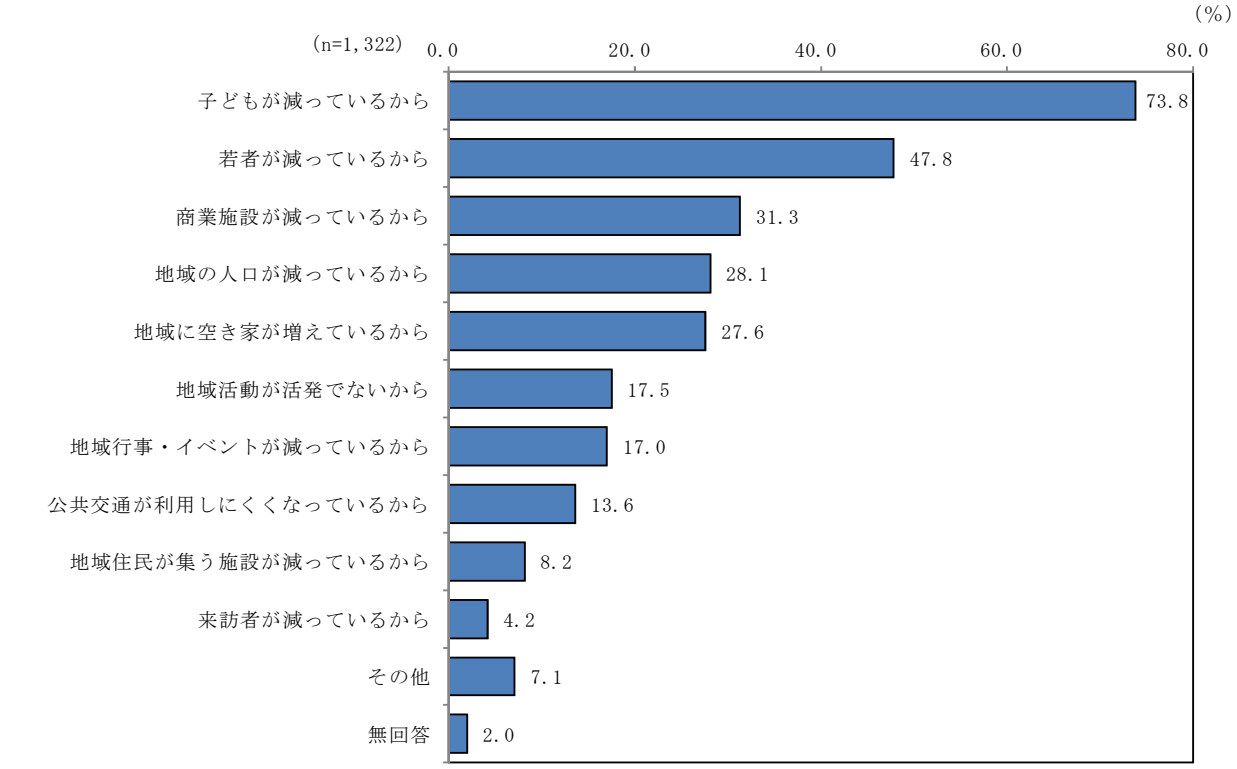
（%）

		該当者数	地域に住宅が増えているから	地域の人口が増えているから	商業施設が増えているから	子どもが増えているから	地域行事・イベントが増えているから	公共交通が利用しやすくなっているから	若者が増えているから	地域活動が活発だから	来訪者が増えているから	地域住民が集う施設が増えているから	その他	無回答
全市		900	42.8	37.6	36.9	36.6	20.2	16.1	14.1	13.3	10.2	6.7	3.4	3.3
地域別	中区	90	34.4	18.9	27.8	20.0	20.0	20.0	6.7	15.6	15.6	8.9	3.3	2.2
	東区	88	40.9	31.8	35.2	26.1	28.4	13.6	9.1	18.2	11.4	8.0	3.4	4.5
	南区	129	42.6	43.4	48.8	40.3	12.4	20.2	17.8	10.1	21.7	7.0	5.4	0.8
	西区	129	31.8	27.1	45.0	31.8	33.3	14.0	12.4	18.6	7.8	4.7	3.9	5.4
	安佐南区	245	51.0	54.3	38.8	47.8	11.0	18.4	17.1	9.4	4.9	6.9	3.3	2.0
	安佐北区	49	44.9	28.6	28.6	34.7	32.7	22.4	22.4	20.4	8.2	4.1	2.0	6.1
	安芸区	60	43.3	36.7	15.0	50.0	11.7	8.3	18.3	10.0	6.7	1.7	3.3	5.0
	佐伯区	106	46.2	31.1	34.0	29.2	26.4	8.5	9.4	11.3	8.5	8.5	1.9	4.7
性・年齢別	男性	363	41.6	41.9	38.8	36.1	17.6	13.2	14.0	12.1	12.9	6.3	4.4	3.6
	10歳代	8	37.5	25.0	50.0	50.0	25.0	12.5	－	－	25.0	－	25.0	－
	20歳代	24	37.5	29.2	45.8	29.2	4.2	12.5	8.3	－	33.3	8.3	4.2	－
	30歳代	59	44.1	54.2	39.0	49.2	11.9	6.8	16.9	10.2	16.9	5.1	1.7	1.7
	40歳代	83	38.6	42.2	41.0	37.3	14.5	9.6	15.7	12.0	7.2	6.0	4.8	3.6
	50歳代	42	45.2	50.0	35.7	47.6	16.7	9.5	21.4	16.7	7.1	4.8	4.8	－
	60歳代	71	45.1	40.8	39.4	31.0	16.9	16.9	9.9	9.9	11.3	5.6	4.2	8.5
	70歳以上	76	39.5	34.2	34.2	23.7	30.3	21.1	13.2	18.4	13.2	9.2	3.9	3.9
	女性	479	44.1	34.4	35.9	38.2	21.7	17.5	14.4	13.4	8.6	6.7	2.7	2.5
	10歳代	8	12.5	25.0	25.0	37.5	25.0	－	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	－
	20歳代	30	46.7	20.0	40.0	30.0	20.0	23.3	16.7	6.7	6.7	6.7	－	－
	30歳代	77	44.2	33.8	37.7	49.4	18.2	16.9	14.3	11.7	6.5	9.1	1.3	－
	40歳代	110	46.4	35.5	40.0	40.9	16.4	8.2	14.5	12.7	7.3	5.5	4.5	2.7
	50歳代	76	48.7	46.1	40.8	39.5	15.8	18.4	13.2	3.9	14.5	6.6	1.3	－
	60歳代	86	40.7	32.6	34.9	38.4	33.7	22.1	10.5	18.6	8.1	3.5	2.3	4.7
	70歳以上	92	42.4	31.5	26.1	27.2	25.0	23.9	17.4	20.7	6.5	8.7	3.3	5.4

※　10歳代はサンプル数が少ないため参考程度とする。

⑶　活気がなくなっていると思う理由

［問16で、「やや活気がなくなっている」、「とても活気がなくなっている」と答えた人に］
付問2　そう思うのはなぜですか。次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



自分の住んでいる地域の『活気がなくなっている』(「やや活気がなくなっている」、「とても活気がなくなっている」を合わせたもの）と思う理由は、「子どもが減っているから」が 73.8%と最も多く、次いで「若者が減っているから」(47.8%)、「商業施設が減っているから」(31.3%)、「地域の人口が減っているから」(28.1%)、「地域に空き家が増えているから」(27.6%）の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ４－３－１)、

〔地域別〕

・　全ての区で「子どもが減っているから」が最も多く、次いで「若者が減っているから」の順になっている。

・　安佐北区は、他の地域と比べて「子どもが減っているから」、「若者が減っているから」及び「地域の人口が減っているから」の比率が高くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男女とも全ての年代で「子どもが減っているから」が最も多く、次いで女性の 40 歳代は「商業施設が減っているから」、男女ともそれ以外の年代は「若者が減っているから」の順になっている。

（表ＴＰ４－３－１）活気がなくなっていると思う理由（地域別、性・年齢別）

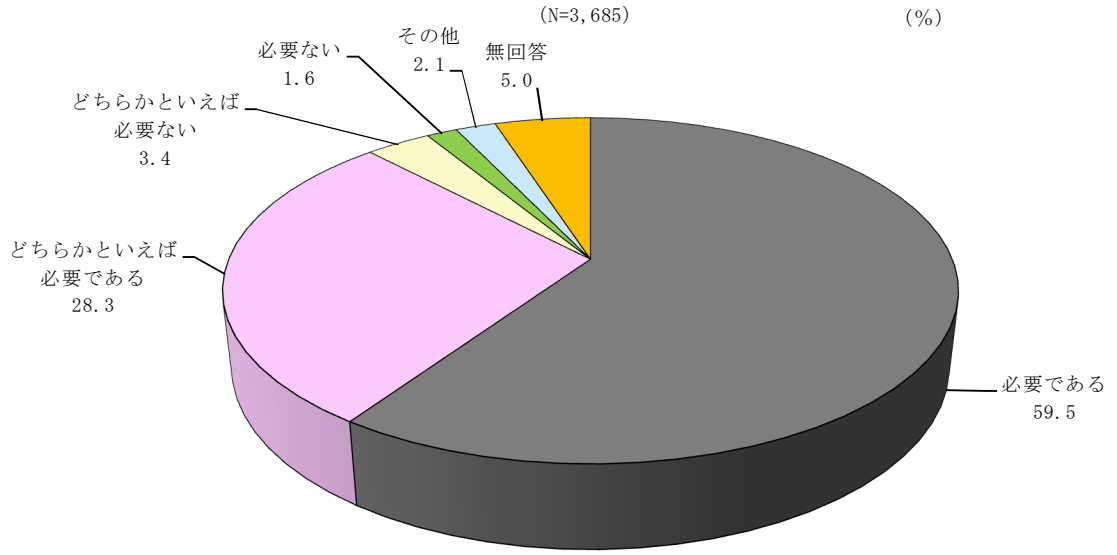
（%）

		該当者数	子どもが減っているから	若者が減っているから	商業施設が減っているから	地域の人口が減っているから	地域に空き家が増えているから	地域活動が活発でないから	地域行事・イベントが減っているから	公共交通が利用しにくくなっているから	地域住民が集う施設が減っているから	来訪者が減っているから	その他	無回答
	全市	1,322	73.8	47.8	31.3	28.1	27.6	17.5	17.0	13.6	8.2	4.2	7.1	2.0
地域別	中区	113	67.3	45.1	42.5	21.2	24.8	17.7	19.5	4.4	13.3	6.2	6.2	1.8
	東区	128	71.1	46.1	30.5	29.7	32.8	18.8	20.3	9.4	9.4	2.3	7.8	2.3
	南区	146	74.0	43.2	37.0	21.9	24.7	26.0	15.8	10.3	11.0	1.4	4.1	1.4
	西区	194	66.0	36.6	29.4	23.7	21.6	14.9	19.1	13.4	10.3	3.6	6.2	3.1
	安佐南区	184	71.2	43.5	18.5	23.4	20.7	19.6	16.8	9.2	6.5	7.1	12.5	1.1
	安佐北区	277	84.8	63.2	35.0	43.0	36.1	13.0	11.9	16.6	7.2	4.7	6.1	1.8
	安芸区	99	80.8	43.4	32.3	20.2	23.2	17.2	16.2	14.1	3.0	5.1	3.0	2.0
	佐伯区	172	69.8	51.2	29.1	26.7	30.8	17.4	20.9	25.6	6.4	3.5	7.6	1.7
性・年齢別	男性	575	72.9	52.5	29.4	29.2	26.3	17.6	18.3	12.5	8.7	4.3	6.8	1.7
	10歳代	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20歳代	30	46.7	43.3	26.7	16.7	13.3	13.3	26.7	10.0	10.0	10.0	20.0	－
	30歳代	57	68.4	43.9	19.3	22.8	14.0	29.8	26.3	12.3	12.3	1.8	12.3	－
	40歳代	78	80.8	50.0	43.6	23.1	23.1	14.1	16.7	7.7	10.3	7.7	5.1	1.3
	50歳代	103	71.8	45.6	30.1	30.1	24.3	15.5	16.5	15.5	6.8	3.9	2.9	1.0
	60歳代	127	74.8	52.0	34.6	29.1	30.7	18.1	17.3	14.2	10.2	3.9	7.1	3.1
	70歳以上	178	74.2	62.9	23.0	36.0	32.0	16.9	16.9	12.4	6.7	3.4	5.1	2.2
	女性	651	74.7	44.2	33.8	26.1	28.9	16.4	16.0	14.9	8.0	4.0	6.3	2.3
	10歳代	7	100.0	57.1	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	－	－	－	－
	20歳代	33	63.6	42.4	33.3	21.2	27.3	18.2	21.2	15.2	15.2	3.0	6.1	3.0
	30歳代	59	71.2	42.4	39.0	22.0	25.4	20.3	22.0	18.6	11.9	5.1	6.8	－
	40歳代	103	73.8	29.1	30.1	21.4	22.3	9.7	17.5	16.5	4.9	2.9	6.8	1.0
	50歳代	121	71.1	38.8	38.0	20.7	24.0	14.0	14.9	14.9	7.4	1.7	6.6	2.5
	60歳代	146	81.5	46.6	34.9	28.1	29.5	15.8	13.0	10.3	7.5	4.8	4.1	0.7
	70歳以上	181	74.0	55.2	30.9	33.7	37.0	20.4	15.5	16.6	8.3	5.5	7.7	5.0

※　10歳代はサンプル数が少ないため参考程度とする。

５　将来のまちづくりの方向性

問17　公共交通へ歩いてアクセスしやすい場所に、住まいや医療・福祉などの施設を誘導するコンパクトなまちづくりを進めることについて、あなたはどのようにお考えですか。あなたの考えに近いものを次のうちから1つ選び、番号に○を付けてください。



公共交通へ歩いてアクセスしやすい場所に、住まいや医療・福祉などの施設を誘導するコンパクトなまちづくりを進めることについて、どのように考えているかを尋ねたところ、「必要である」が59.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば必要である」(28.3%)、「どちらかといえば必要ない」(3.4%) の順になっている。また、「必要である」、「どちらかといえば必要である」を合わせた『必要だと考えている』が約９割 (87.8%) となっている。

この結果を属性別に見ると（図ＴＰ５－１－１)、

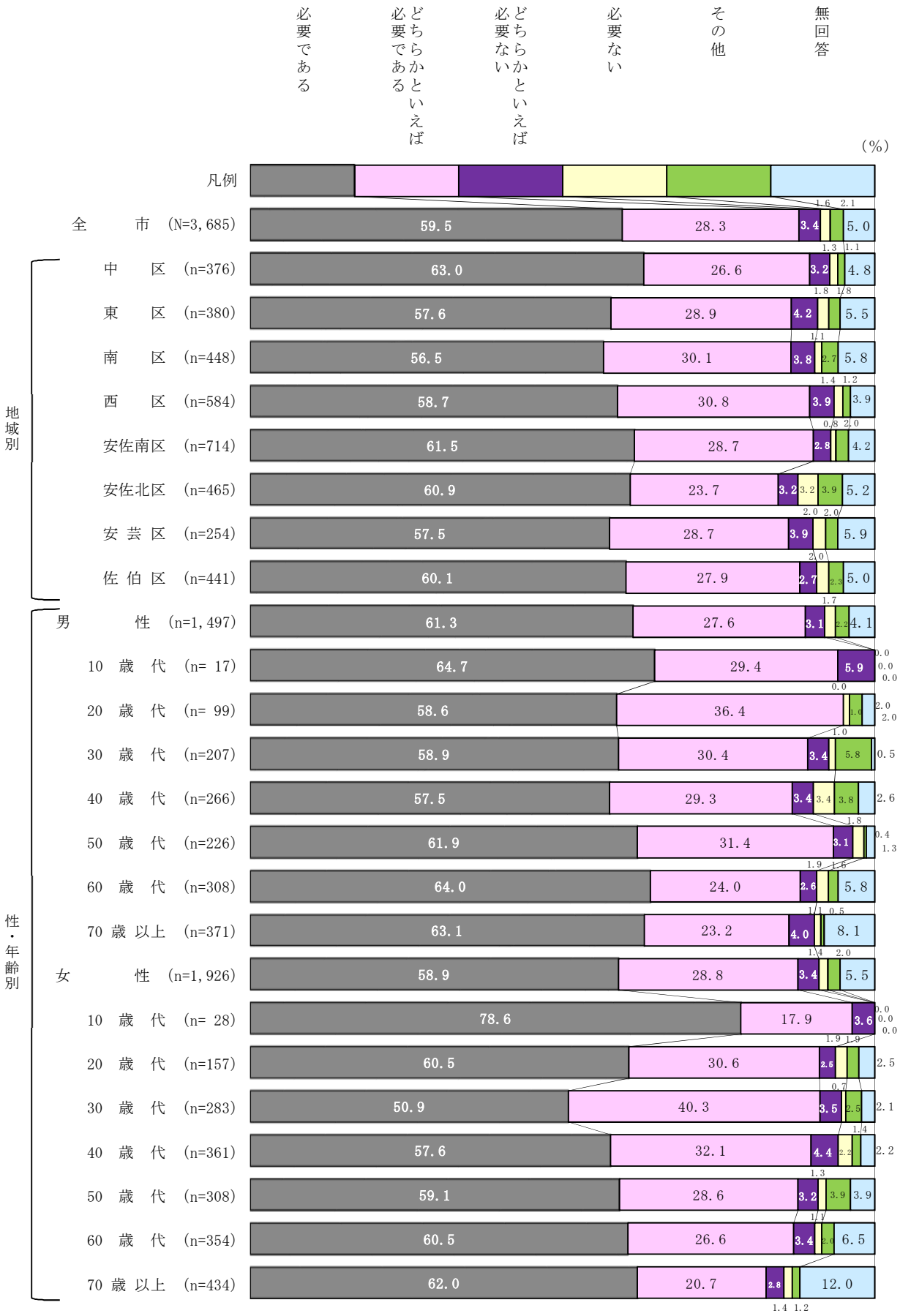
〔地域別〕

・　すべての区で「必要である」が最も多く、『必要だと考えている』の比率は８割を超えている。

〔性・年齢別〕

・　男女とも全ての年代で「必要である」が最も多く、『必要だと考えている』の比率は８割を超えている。

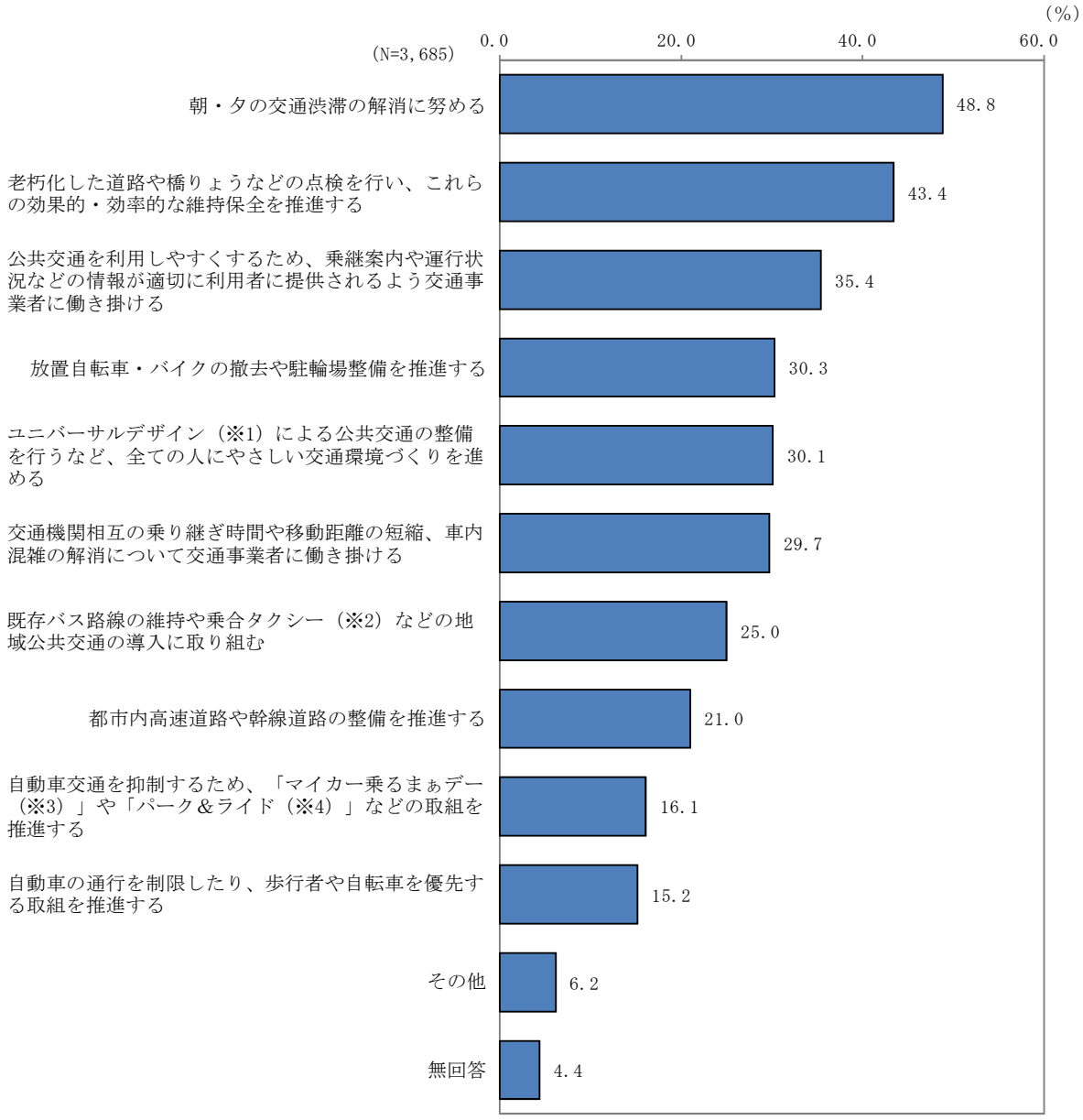
（図ＴＰ５－１－１）将来のまちづくりの方向性（地域別、性・年齢別）



6　交通環境

(1)　交通環境の改善

問18　交通環境の改善に向けて、広島市は、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



※1　「ユニバーサルデザイン」とは、障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず、様々な人々が利用しやすいよう製品、施設、サービスなどをデザインする考え方のことをいう。

※2　「乗合タクシー」とは、タクシー事業者が、定員10人以下の自動車により乗合旅客を運送することをいう。広島市では、地域が主体となって運行する地域主体の乗合タクシーを取組として実施している。

※3　「マイカー乗るまぁデー」とは、車に過度に依存するライフスタイルを見直し、市民一人一人が車の使い方を考え、実践・体験することを通じて、地球温暖化の防止に貢献する行動の輪を広げようとする取組である。広島市では、毎月22日を「マイカー乗るまぁデー」と定め、その利用を控えるよう呼びかけている。

※4　「パーク＆ライド」とは、郊外の鉄道駅やバス停等の近くに駐車場を確保し、マイカーから鉄道やバス等に乗り継ぎを図ることをいう。

交通環境の改善に向けて、広島市は、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思うかを尋ねたところ、「朝・夕の交通渋滞の解消に努める」が 48.8%と最も多く、次いで「老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する」(43.4%)、「公共交通を利用しやすくするため、乗継案内や運行状況などの情報が適切に利用者に提供されるよう交通事業者に働き掛ける」(35.4%)、「放置自転車・バイクの撤去や駐輪場整備を推進する」(30.3%)、「ユニバーサルデザイン（※1）による公共交通の整備を行うなど、全ての人にやさしい交通環境づくりを進める」(30.1%）の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ６－１－１)、

〔地域別〕

・　中区及び西区は「老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する」、それ以外の地域は「朝・夕の交通渋滞の解消に努める」が最も多くなっている。

〔職業別〕

・　「農業、林業、水産業」、「専業主婦、専業主夫」及び「無職」は「老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する」、それ以外は「朝・夕の交通渋滞の解消に努める」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男女ともに「朝・夕の交通渋滞の解消に努める」が最も多く、次いで「老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する」の順になっている。

・　男性では、60 歳代は「老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する」、それ以外の年代は「朝・夕の交通渋滞の解消に努める」が最も多くなっている。

・　女性では、60 歳代以上は「老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する」、それ以外の年代は「朝・夕の交通渋滞の解消に努める」が最も多くなっている。

〔性・家族構成別〕

・　男性では、全ての世帯で「朝・夕の交通渋滞の解消に努める」が最も多くなっている。

・　女性では、「一人暮らし」世帯は「公共交通を利用しやすくするため、乗継案内や運行状況などの情報が適切に利用者に提供されるよう交通事業者に働き掛ける」、「夫婦のみ」及び「その他」世帯は「老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する」、それ以外の世帯は「朝・夕の交通渋滞の解消に努める」が最も多くなっている。

〔通勤手段・勤務場所別〕

・　通勤手段として最も多い「自動車」で「佐伯区」、「府中町」及び「熊野町、坂町」に通勤する人は「老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する」、「自動車」でそれ以外の地域に通勤する人は「朝・夕の交通渋滞の解消に努める」が最も多くなっている。

（表ＴＰ６－１－１）交通環境の改善（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）

（%）

		総数	朝・夕の交通渋滞の解消に努める	老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する	公共交通を利用しやすくするため、乗継案内や運行状況などの情報が適切に利用者に提供されるよう交通事業者に働き掛ける	放置自転車・バイクの撤去や駐輪場整備を推進する	ユニバーサルデザインによる公共交通の整備を行うなど、全ての人にやさしい交通環境づくりを進める	交通機関相互の乗り継ぎ時間や移動距離の短縮、車内混雑の解消について交通事業者に働き掛ける	既存バス路線の維持や乗合タクシーなどの地域公共交通の導入に取り組む	都市内高速道路や幹線道路の整備を推進する	自動車交通を抑制するため、「マイカー乗るまぁデー」や「パーク＆ライド」などの取組を推進する	自動車の通行を制限したり、歩行者や自転車を優先する取組を推進する	その他	無回答
全市		3,685	48.8	43.4	35.4	30.3	30.1	29.7	25.0	21.0	16.1	15.2	6.2	4.4
地域別	中区	376	36.4	47.9	38.3	39.9	35.9	31.1	19.9	22.3	17.6	19.4	7.2	2.1
	東区	380	53.4	45.3	37.1	31.1	30.8	33.9	22.1	23.4	18.7	14.7	6.6	2.4
	南区	448	42.2	40.2	38.6	32.8	31.5	28.1	23.0	20.3	14.5	18.5	5.1	5.8
	西区	584	40.6	48.3	34.8	35.8	34.4	31.2	22.6	18.8	15.8	15.9	5.5	5.0
	安佐南区	714	52.5	40.3	32.9	29.0	28.3	30.8	22.4	19.2	17.9	14.7	5.6	3.9
	安佐北区	465	52.7	41.5	38.1	21.5	23.7	29.9	37.2	21.3	18.1	10.8	4.7	4.9
	安芸区	254	62.6	40.6	32.3	23.6	26.4	19.7	26.8	22.4	11.4	14.2	7.1	5.5
	佐伯区	441	55.3	43.5	31.3	27.0	29.5	28.8	27.9	23.6	12.7	13.2	9.3	4.1
職業別	農業、林業、水産業	52	36.5	51.9	36.5	21.2	21.2	19.2	44.2	21.2	19.2	11.5	－	5.8
	商業、サービス業、工業	208	48.6	40.4	32.7	30.8	21.6	26.4	21.6	30.3	14.4	11.5	9.6	3.4
	自由業	70	50.0	45.7	34.3	32.9	44.3	24.3	27.1	31.4	22.9	20.0	14.3	2.9
	管理職	205	52.7	40.0	35.6	29.3	24.9	28.3	15.6	38.0	13.2	10.2	6.8	1.5
	専門・技術職	395	54.4	42.3	36.7	24.8	35.2	37.5	21.0	24.6	14.9	15.2	6.3	0.8
	事務職	355	55.5	43.4	37.5	30.1	29.6	43.1	23.4	20.3	12.1	15.5	7.6	2.5
	販売・サービス職	257	56.4	40.9	36.6	31.5	27.6	31.9	17.5	26.1	14.0	11.3	3.9	1.6
	技能・労務職	201	61.7	41.8	36.3	37.3	32.8	27.4	21.9	29.9	14.4	17.9	10.0	2.5
	パートタイマー、臨時・非常勤雇用者	421	49.2	43.7	40.1	33.5	29.7	35.2	29.7	16.2	17.1	15.9	6.4	2.6
	専業主婦、専業主夫	602	45.5	49.7	34.9	29.2	35.9	25.9	31.7	15.8	18.9	13.8	4.5	3.7
	学生	84	51.2	39.3	40.5	28.6	34.5	50.0	20.2	9.5	16.7	15.5	8.3	－
	無職	630	40.8	42.7	33.0	32.7	26.8	21.6	28.1	17.1	17.6	20.3	5.2	8.1
性・年齢別	男性	1,497	52.0	41.9	32.7	32.1	26.6	29.6	21.8	29.1	15.8	17.1	7.6	3.3
	10歳代	17	58.8	23.5	35.3	47.1	29.4	35.3	11.8	11.8	17.6	23.5	11.8	－
	20歳代	99	60.6	42.4	35.4	31.3	36.4	37.4	13.1	27.3	12.1	15.2	8.1	2.0
	30歳代	207	59.4	43.5	30.4	26.6	29.5	29.0	18.8	31.9	16.4	17.4	11.6	1.0
	40歳代	266	56.4	36.1	37.2	27.1	23.7	34.6	16.9	32.3	13.9	15.8	10.9	1.1
	50歳代	226	55.3	40.7	35.4	38.1	29.6	36.7	16.8	34.5	13.3	12.8	8.4	1.3
	60歳代	308	48.7	50.0	28.9	34.1	26.3	27.6	26.0	31.8	17.9	20.8	3.9	2.9
	70歳以上	371	42.6	39.9	31.8	33.2	22.6	21.3	29.4	21.0	17.8	17.8	5.1	8.4
	女性	1,926	46.5	44.6	37.3	29.5	33.5	30.9	28.2	14.8	16.1	13.2	4.7	4.8
	10歳代	28	57.1	46.4	42.9	25.0	35.7	35.7	17.9	10.7	28.6	17.9	7.1	－
	20歳代	157	58.6	40.8	44.6	30.6	41.4	47.1	26.1	15.3	13.4	14.0	4.5	2.5
	30歳代	283	52.3	42.4	32.9	25.1	35.7	36.0	21.6	15.5	10.2	7.8	7.4	0.7
	40歳代	361	49.9	48.5	38.0	28.8	36.6	32.7	26.0	17.2	13.0	13.6	4.4	1.7
	50歳代	308	50.0	45.5	42.9	34.1	36.7	36.0	32.1	18.8	16.9	17.5	6.5	1.3
	60歳代	354	44.9	45.8	34.7	30.2	30.8	25.4	34.7	14.7	17.2	11.0	2.3	6.2
	70歳以上	434	33.6	42.6	34.8	29.0	26.7	20.7	27.6	9.9	21.2	14.5	3.9	12.4

（表ＴＰ６－１－１）交通環境の改善（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）続き

（%）

		総数	朝・夕の交通渋滞の解消に努める	老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する	公共交通を利用しやすくするため、乗継案内や運行状況などの情報が適切に利用者に提供されるよう交通事業者に働き掛ける	放置自転車・バイクの撤去や駐輪場整備を推進する	ユニバーサルデザインによる公共交通の整備を行うなど、全ての人にやさしい交通環境づくりを進める	交通機関相互の乗り継ぎ時間や移動距離の短縮、車内混雑の解消について交通事業者に働き掛ける	既存バス路線の維持や乗合タクシーなどの地域公共交通の導入に取り組む	都市内高速道路や幹線道路の整備を推進する	自動車交通を抑制するため、「マイカー乗るまぁデー」や「パーク＆ライド」などの取組を推進する	自動車の通行を制限したり、歩行者や自転車を優先する取組を推進する	その他	無回答
全市		3,685	48.8	43.4	35.4	30.3	30.1	29.7	25.0	21.0	16.1	15.2	6.2	4.4
性・家族構成別	男性一人暮らし	171	56.7	40.9	39.8	33.9	28.1	34.5	18.7	25.7	18.1	26.3	5.8	3.5
	夫婦のみ	467	47.1	45.8	32.8	35.5	25.9	27.0	26.1	29.6	15.6	18.4	6.0	4.7
	あなた（又はあなた夫婦）と親	140	60.7	42.9	31.4	37.9	33.6	33.6	24.3	32.9	15.0	12.1	12.9	2.1
	あなた（又はあなた夫婦）と子	500	50.4	40.2	33.8	26.2	24.4	28.8	17.6	32.0	13.6	13.8	9.6	2.2
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	90	60.0	34.4	25.6	36.7	33.3	30.0	20.0	25.6	26.7	20.0	2.2	－
	その他	47	59.6	46.8	36.2	27.7	23.4	36.2	34.0	21.3	14.9	21.3	8.5	4.3
	女性一人暮らし	235	40.4	39.1	42.1	33.6	32.3	31.9	26.8	10.6	17.0	18.3	4.3	6.0
	夫婦のみ	475	39.8	49.3	37.9	28.8	31.8	27.8	32.8	16.0	21.5	10.9	5.5	5.1
	あなた（又はあなた夫婦）と親	178	54.5	43.3	42.1	29.8	39.9	37.6	27.0	14.0	15.7	14.0	6.7	1.1
	あなた（又はあなた夫婦）と子	703	51.9	44.7	35.0	28.9	35.4	31.2	25.3	16.2	13.4	12.4	4.4	2.6
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	126	46.0	43.7	31.7	28.6	23.8	27.0	31.7	15.9	15.1	8.7	2.4	7.1
	その他	87	48.3	50.6	42.5	25.3	41.4	37.9	33.3	17.2	13.8	19.5	1.1	11.5

（表ＴＰ６－１－１）交通環境の改善（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）続き

（%）

			総数	朝・夕の交通渋滞の解消に努める	老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する	公共交通を利用しやすくするため、乗継案内や運行状況などの情報が適切に利用者に提供されるよう交通事業者に働き掛ける	放置自転車・バイクの撤去や駐輪場整備を推進する	ユニバーサルデザインによる公共交通の整備を行うなど、全ての人にやさしい交通環境づくりを進める	交通機関相互の乗り継ぎ時間や移動距離の短縮、車内混雑の解消について交通事業者に働き掛ける	既存バス路線の維持や乗合タクシーなどの地域公共交通の導入に取り組む	都市内高速道路や幹線道路の整備を推進する	自動車交通を抑制するため、「マイカー乗るまぁデー」や「パーク＆ライド」などの取組を推進する	自動車の通行を制限したり、歩行者や自転車を優先する取組を推進する	その他	無回答
	全市		3,685	48.8	43.4	35.4	30.3	30.1	29.7	25.0	21.0	16.1	15.2	6.2	4.4
通勤手段・勤務場所別	徒歩	中区	61	21.3	36.1	36.1	34.4	32.8	26.2	16.4	26.2	14.8	24.6	9.8	1.6
		東区	12	66.7	50.0	50.0	25.0	33.3	33.3	41.7	16.7	8.3	16.7	8.3	－
		南区	25	52.0	44.0	40.0	44.0	24.0	40.0	24.0	28.0	4.0	20.0	8.0	8.0
		西区	35	37.1	57.1	34.3	45.7	25.7	34.3	20.0	22.9	14.3	8.6	5.7	2.9
		安佐南区	28	25.0	28.6	25.0	21.4	17.9	25.0	21.4	14.3	7.1	17.9	3.6	10.7
		安佐北区	23	30.4	43.5	39.1	－	34.8	26.1	56.5	30.4	17.4	13.0	－	－
		安芸区	12	58.3	50.0	33.3	41.7	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	8.3	－	－
		佐伯区	13	69.2	38.5	38.5	23.1	23.1	30.8	23.1	53.8	15.4	7.7	15.4	－
		府中町	9	55.6	55.6	33.3	33.3	33.3	33.3	11.1	44.4	22.2	22.2	11.1	－
		海田町	1	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	100.0	100.0	－	－
		熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		東広島市	1	－	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－
		呉市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	7	28.6	42.9	42.9	28.6	42.9	42.9	－	14.3	14.3	14.3	28.6	－
	自転車	中区	96	47.9	43.8	39.6	36.5	34.4	27.1	20.8	22.9	17.7	20.8	6.3	1.0
		東区	24	62.5	45.8	33.3	33.3	41.7	29.2	12.5	25.0	37.5	16.7	12.5	－
		南区	59	47.5	45.8	50.8	39.0	40.7	37.3	18.6	20.3	13.6	25.4	5.1	1.7
		西区	52	51.9	36.5	36.5	38.5	34.6	36.5	15.4	23.1	11.5	19.2	－	3.8
		安佐南区	40	60.0	47.5	30.0	50.0	40.0	32.5	22.5	15.0	22.5	20.0	5.0	－
		安佐北区	7	85.7	42.9	14.3	28.6	－	57.1	14.3	28.6	－	－	－	－
		安芸区	8	75.0	75.0	37.5	37.5	37.5	25.0	25.0	－	12.5	37.5	12.5	－
		佐伯区	23	39.1	26.1	26.1	21.7	26.1	17.4	8.7	30.4	－	17.4	21.7	8.7
		府中町	6	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	－	16.7	－	16.7	50.0	33.3	16.7
		海田町	4	75.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	－	25.0	25.0	－	25.0	－
		熊野町、坂町	1	100.0	－	－	100.0	－	－	100.0	－	－	－	－	－
		廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		東広島市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		呉市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	3	66.7	33.3	－	33.3	－	33.3	－	66.7	－	33.3	66.7	－
	バイク	中区	27	66.7	48.1	18.5	40.7	22.2	48.1	7.4	22.2	7.4	11.1	7.4	－
		東区	7	85.7	42.9	14.3	28.6	14.3	42.9	28.6	14.3	28.6	－	－	－
		南区	21	42.9	33.3	42.9	33.3	14.3	47.6	9.5	47.6	14.3	14.3	4.8	－
		西区	10	60.0	60.0	40.0	30.0	－	20.0	－	40.0	30.0	10.0	20.0	－
		安佐南区	19	63.2	52.6	42.1	31.6	15.8	47.4	21.1	42.1	26.3	15.8	5.3	－
		安佐北区	10	60.0	20.0	50.0	30.0	20.0	40.0	40.0	10.0	50.0	10.0	20.0	－
		安芸区	6	83.3	33.3	33.3	33.3	50.0	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7	－	－
		佐伯区	8	62.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	－	12.5
		府中町	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	－	－	50.0	－
		海田町	3	100.0	33.3	－	33.3	－	－	33.3	33.3	－	－	－	－
		熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		東広島市	1	100.0	－	100.0	－	－	100.0	－	100.0	－	－	－	－
		呉市	3	33.3	33.3	66.7	66.7	－	－	－	66.7	－	－	－	－
		その他	2	50.0	－	－	50.0	－	－	－	50.0	50.0	－	50.0	－

（表ＴＰ６－１－１）交通環境の改善（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）続き

（%）

			総数	朝・夕の交通渋滞の解消に努める	老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する	公共交通を利用しやすくするため、乗継案内や運行状況などの情報が適切に利用者に提供されるよう交通事業者に働き掛ける	放置自転車・バイクの撤去や駐輪場整備を推進する	ユニバーサルデザインによる公共交通の整備を行うなど、全ての人にやさしい交通環境づくりを進める	交通機関相互の乗り継ぎ時間や移動距離の短縮、車内混雑の解消について交通事業者に働き掛ける	既存バス路線の維持や乗合タクシーなどの地域公共交通の導入に取り組む	都市内高速道路や幹線道路の整備を推進する	自動車交通を抑制するため、「マイカー乗るまあデー」や「パーク＆ライド」などの取組を推進する	自動車の通行を制限したり、歩行者や自転車を優先する取組を推進する	その他	無回答
全市			3,685	48.8	43.4	35.4	30.3	30.1	29.7	25.0	21.0	16.1	15.2	6.2	4.4
通勤手段・勤務場所別	自動車	中区	80	60.0	38.8	26.3	33.8	38.8	27.5	21.3	23.8	11.3	7.5	1.3	－
		東区	45	66.7	44.4	22.2	35.6	26.7	13.3	22.2	33.3	8.9	4.4	6.7	4.4
		南区	65	53.8	24.6	36.9	26.2	29.2	36.9	23.1	33.8	9.2	10.8	7.7	1.5
		西区	117	53.0	44.4	30.8	29.1	28.2	26.5	16.2	29.1	7.7	10.3	5.1	4.3
		安佐南区	128	57.8	43.0	35.2	26.6	28.9	35.9	23.4	26.6	14.1	10.2	1.6	3.9
		安佐北区	100	63.0	41.0	40.0	23.0	29.0	28.0	29.0	25.0	17.0	7.0	2.0	2.0
		安芸区	28	71.4	42.9	32.1	14.3	28.6	32.1	39.3	28.6	7.1	10.7	－	－
		佐伯区	68	50.0	55.9	41.2	22.1	30.9	27.9	29.4	19.1	14.7	5.9	5.9	－
		府中町	19	47.4	57.9	36.8	26.3	15.8	47.4	26.3	42.1	15.8	31.6	15.8	－
		海田町	13	76.9	61.5	38.5	15.4	38.5	23.1	38.5	23.1	15.4	7.7	15.4	－
		熊野町、坂町	13	61.5	69.2	38.5	30.8	15.4	23.1	23.1	61.5	－	－	7.7	－
		廿日市市	30	70.0	56.7	40.0	36.7	43.3	26.7	16.7	50.0	－	3.3	20.0	－
		東広島市	22	63.6	31.8	22.7	13.6	27.3	18.2	13.6	40.9	4.5	4.5	9.1	4.5
		呉市	12	75.0	25.0	41.7	33.3	33.3	25.0	8.3	25.0	8.3	8.3	－	－
		その他	48	62.5	47.9	27.1	22.9	27.1	27.1	29.2	33.3	16.7	18.8	12.5	－
	バス	中区	112	58.9	41.1	43.8	26.8	32.1	42.0	29.5	16.1	18.8	17.9	8.0	3.6
		東区	7	42.9	42.9	57.1	14.3	28.6	57.1	71.4	14.3	28.6	14.3	－	－
		南区	38	52.6	39.5	44.7	21.1	28.9	42.1	23.7	18.4	13.2	15.8	10.5	－
		西区	27	55.6	29.6	37.0	37.0	22.2	37.0	33.3	33.3	11.1	25.9	3.7	3.7
		安佐南区	11	63.6	63.6	45.5	27.3	63.6	81.8	45.5	9.1	36.4	18.2	－	－
		安佐北区	4	50.0	25.0	75.0	50.0	25.0	25.0	75.0	50.0	50.0	－	75.0	－
		安芸区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		佐伯区	4	50.0	25.0	50.0	25.0	75.0	75.0	50.0	－	25.0	－	－	－
		府中町	5	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	－	20.0	40.0	－	40.0	－
		海田町	1	100.0	－	100.0	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－
		熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		東広島市	1	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－
		呉市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	3	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	－	33.3	－	－	－
	鉄道（ＪＲ）	中区	19	68.4	26.3	47.4	21.1	21.1	42.1	31.6	26.3	－	10.5	10.5	－
		東区	13	53.8	46.2	30.8	23.1	15.4	46.2	30.8	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7
		南区	17	100.0	41.2	23.5	29.4	23.5	41.2	35.3	29.4	29.4	5.9	5.9	－
		西区	29	37.9	37.9	48.3	20.7	24.1	44.8	20.7	10.3	24.1	17.2	6.9	－
		安佐南区	12	50.0	33.3	41.7	33.3	16.7	66.7	16.7	－	16.7	8.3	16.7	－
		安佐北区	4	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	75.0	25.0	－	50.0	－	－	－
		安芸区	5	60.0	40.0	20.0	40.0	－	－	－	20.0	20.0	40.0	－	－
		佐伯区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		府中町	19	68.4	26.3	47.4	31.6	26.3	57.9	15.8	26.3	21.1	31.6	10.5	－
		海田町	2	50.0	50.0	50.0	50.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－
		熊野町、坂町	1	－	100.0	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－
		廿日市市	2	－	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	－	50.0	－	－	－	－
		東広島市	6	33.3	－	33.3	33.3	33.3	50.0	16.7	50.0	16.7	16.7	－	33.3
		呉市	2	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	－	－	－	－	－
		その他	11	54.5	36.4	45.5	27.3	36.4	36.4	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	－

（表ＴＰ６－１－１）交通環境の改善（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）続き

（%）

			総数	朝・夕の交通渋滞の解消に努める	老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する	公共交通を利用しやすくするため、乗継案内や運行状況などの情報が適切に利用者に提供されるよう交通事業者に働き掛ける	放置自転車・バイクの撤去や駐輪場整備を推進する	ユニバーサルデザインによる公共交通の整備を行うなど、全ての人にやさしい交通環境づくりを進める	交通機関相互の乗り継ぎ時間や移動距離の短縮、車内混雑の解消について交通事業者に働き掛ける	既存バス路線の維持や乗合タクシーなどの地域公共交通の導入に取り組む	都市内高速道路や幹線道路の整備を推進する	自動車交通を抑制するため、「マイカー乗るまぁデー」や「パーク＆ライド」などの取組を推進する	自動車の通行を制限したり、歩行者や自転車を優先する取組を推進する	その他	無回答
	全市		3,685	48.8	43.4	35.4	30.3	30.1	29.7	25.0	21.0	16.1	15.2	6.2	4.4
通勤手段・勤務場所別	広電（市内線）	中区	37	43.2	54.1	48.6	35.1	40.5	40.5	13.5	16.2	16.2	24.3	5.4	-
		東区	2	-	50.0	-	50.0	100.0	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-
		南区	9	-	55.6	66.7	33.3	55.6	44.4	11.1	-	22.2	22.2	-	-
		西区	5	60.0	20.0	60.0	20.0	20.0	60.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0	-
		安佐南区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		安佐北区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		安芸区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		佐伯区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		府中町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		海田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		熊野町、坂町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		廿日市市	1	100.0	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-
		東広島市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		呉市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
	広電（宮島線）	中区	12	66.7	83.3	50.0	58.3	41.7	75.0	16.7	25.0	16.7	25.0	8.3	-
		東区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		南区	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
		西区	12	41.7	66.7	58.3	66.7	33.3	50.0	25.0	8.3	16.7	16.7	8.3	-
		安佐南区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		安佐北区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		安芸区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		佐伯区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		府中町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		海田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		熊野町、坂町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		廿日市市	4	75.0	50.0	25.0	25.0	-	75.0	-	-	25.0	-	-	-
		東広島市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		呉市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アストラムライン	中区	46	32.6	41.3	41.3	37.0	26.1	39.1	21.7	19.6	21.7	17.4	2.2	-
		東区	3	66.7	-	66.7	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-
		南区	3	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	100.0	33.3	33.3	-	-	-
		西区	3	100.0	-	33.3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	33.3	-
		安佐南区	13	38.5	38.5	23.1	15.4	30.8	38.5	30.8	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7
		安佐北区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		安芸区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		佐伯区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		府中町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		海田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		熊野町、坂町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		廿日市市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		東広島市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		呉市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（表ＴＰ６－１－１）交通環境の改善（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）続き

（%）

		総数	朝・夕の交通渋滞の解消に努める	老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する	公共交通を利用しやすくするため、乗継案内や運行状況などの情報が適切に利用者に提供されるよう交通事業者に働き掛ける	放置自転車・バイクの撤去や駐輪場整備を推進する	ユニバーサルデザインによる公共交通の整備を行うなど、全ての人にやさしい交通環境づくりを進める	交通機関相互の乗り継ぎ時間や移動距離の短縮、車内混雑の解消について交通事業者に働き掛ける	既存バス路線の維持や乗合タクシーなどの地域公共交通の導入に取り組む	都市内高速道路や幹線道路の整備を推進する	自動車交通を抑制するため、「マイカー乗るまぁデー」や「パーク&ライド」などの取組を推進する	自動車の通行を制限したり、歩行者や自転車を優先する取組を推進する	その他	無回答
全市		3,685	48.8	43.4	35.4	30.3	30.1	29.7	25.0	21.0	16.1	15.2	6.2	4.4
通勤手段・勤務場所別	中区	3	33.3	66.7	66.7	100.0	33.3	66.7	66.7	33.3	－	33.3	－	－
	東区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	南区	2	50.0	－	50.0	50.0	－	50.0	－	－	－	－	－	－
	西区	3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	－
	安佐南区	5	60.0	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	－	20.0	20.0	20.0	－	－
	安佐北区	2	100.0	－	50.0	100.0	－	50.0	50.0	－	50.0	50.0	－	－
	安芸区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	佐伯区	2	100.0	50.0	－	－	－	－	－	50.0	－	－	－	－
	府中町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	海田町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東広島市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	呉市	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	その他	9	44.4	44.4	33.3	22.2	55.6	44.4	33.3	11.1	33.3	33.3	22.2	11.1

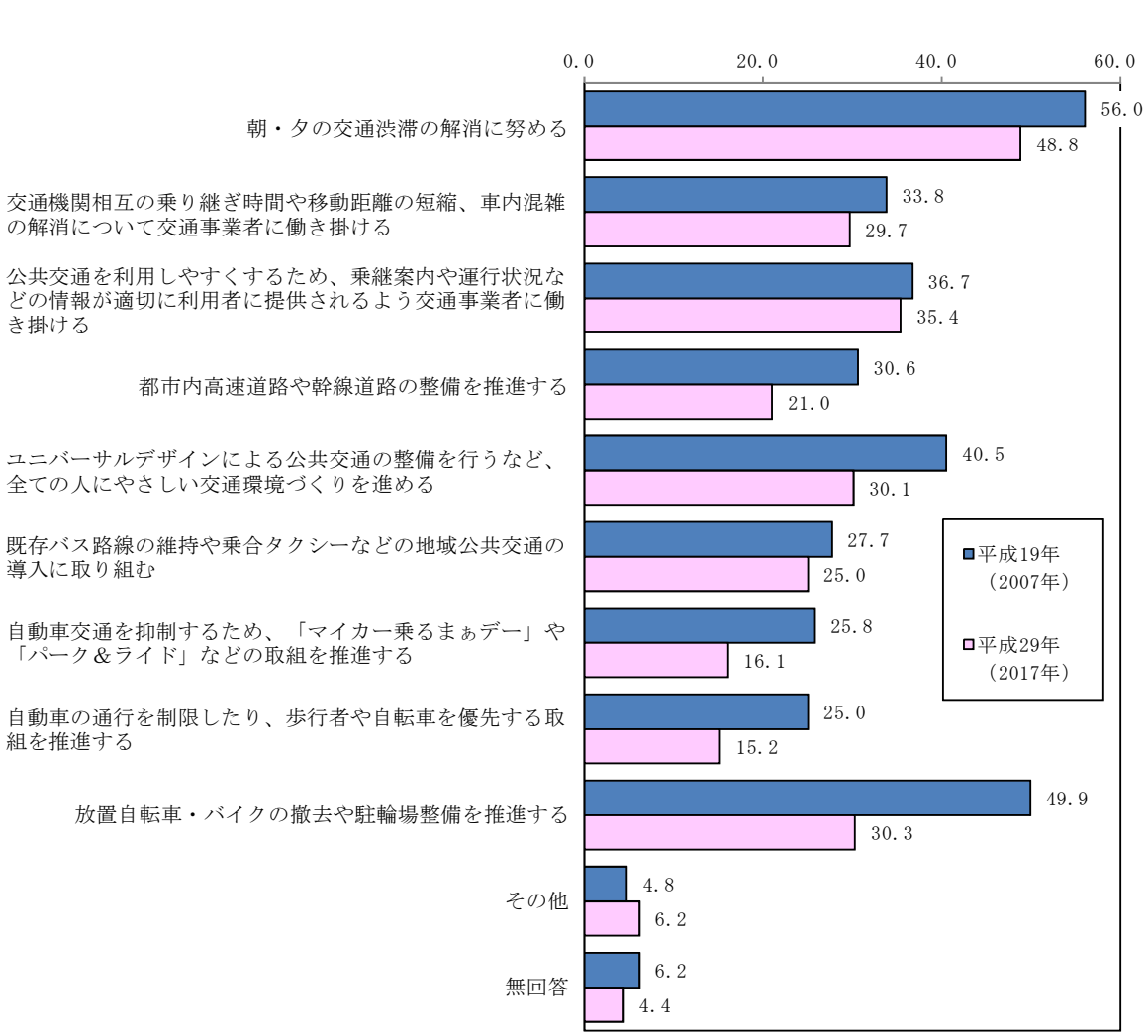
※　主な通勤手段として「船舶」を利用していると答えた人がいないため、「船舶」の掲載は省略している。

【時系列比較】

交通環境の改善を時系列に見たのが（図Ｔ Ｐ ６－１－１）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「その他」以外の項目で減少しており、中でも「放置自転車・バイクの撤去や駐輪場整備を推進する」は 19.6 ポイントと最も差が大きくなっており、次いで「ユニバーサルデザインによる公共交通の整備を行うなど、全ての人にやさしい交通環境づくりを進める」（10.4 ポイント）、「自動車の通行を制限したり、歩行者や自転車を優先する取組を推進する」（9.8 ポイント）の順に差が大きくなっている。

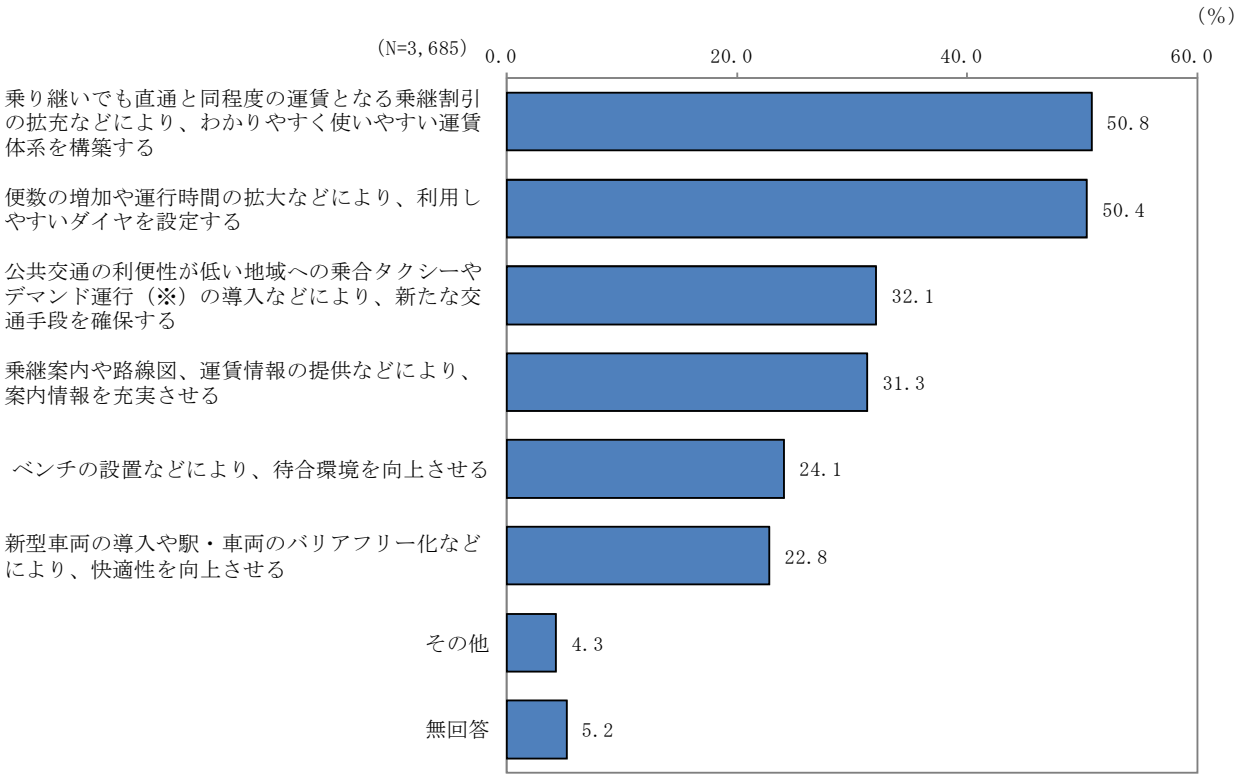
（図Ｔ Ｐ ６－１－１）交通環境の改善（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。
　　また、「老朽化した道路や橋りょうなどの点検を行い、これらの効果的・効率的な維持保全を推進する」は、平成29年のみの選択肢であるため、掲載は省略している。

⑵ 公共交通を使いやすくしていくために重要だと思う取組

問19　あなたは、公共交通を使いやすくしていくために、どのような取組が重要だと思いますか。
次のうちから選び、番号に3つまで○を付けてください。



※　「デマンド運行」とは、利用者のニーズに応じた予約型の運行形態のことをいう。予約に応じてルート・ダイヤを設定するフルデマンド型や、ルートや時間帯がある程度決まっているセミデマンド型など、地域特性に合わせた柔軟な運行が可能である。

公共交通を使いやすくしていくために、どのような取組が重要だと思うかを尋ねたところ、「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」が50.8%と最も多く、次いで「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」(50.4%)、「公共交通の利便性が低い地域への乗合タクシーやデマンド運行(※)の導入などにより、新たな交通手段を確保する」(32.1%)の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ６－２－１)、

〔地域別〕

- 安佐北区、安芸区及び佐伯区は「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」、それ以外の地域は「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」が最も多くなっている。
- 中区は「乗継案内や路線図、運賃情報の提供などにより、案内情報を充実させる」、安佐北区は「公共交通の利便性が低い地域への乗合タクシーやデマンド運行の導入などにより、新たな交通手段を確保する」の比率が他の地域と比べて高くなっている。

〔職業別〕

・　「農業、林業、水産業」は「公共交通の利便性が低い地域への乗合タクシーやデマンド運行の導入などにより、新たな交通手段を確保する」、「商業、サービス業、工業」、「管理職」、「専門・技術職」、「事務職」及び「学生」は「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」、それ以外は「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男性は「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」が最も多く、次いで「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」の順になっている。

・　女性は「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」が最も多く、次いで「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」の順になっている。

・　男性では、10 歳代から 50 歳代までは「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」、60 歳代以上は「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代及び 20 歳代は「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」、30 歳代以上は「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」が最も多くなっている。

〔性・家族構成別〕

・　男性では、「夫婦のみ」及び「あなた（又はあなた夫婦）と親」世帯は「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」、それ以外の世帯は「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」が最も多くなっている。

・　女性では、「あなた（又はあなた夫婦）と親」及び「その他」世帯は「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」、それ以外の世帯は「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」が最も多くなっている。

〔通勤手段・勤務場所別〕

・　通勤手段として最も多い「自動車」で「東区」に通勤する人は、「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」及び「公共交通の利便性が低い地域への乗合タクシーやデマンド運行の導入などにより、新たな交通手段を確保する」（同率）、「西区」及び「府中町」に通勤する人は、「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」及び「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」（同率）、「安佐南区」、「佐伯区」、「海田町」及び「その他」に通勤する人は、「乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する」、それ以外の地域に通勤する人は「便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する」が最も多くなっている。

(表ＴＰ６－２－１) 公共交通を使いやすくしていくために重要だと思う取組 (地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別)

(%)

		総数	乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する	便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する	公共交通の利便性が低い地域への乗合タクシーやデマンド運行の導入などにより、新たな交通手段を確保する	乗継案内や路線図、運賃情報の提供などにより、案内情報を充実させる	ベンチの設置などにより、待合環境を向上させる	新型車両の導入や駅・車両のバリアフリー化などにより、快適性を向上させる	その他	無回答
	全市	3,685	50.8	50.4	32.1	31.3	24.1	22.8	4.3	5.2
地域別	中区	376	52.7	44.7	26.6	40.7	23.9	28.7	4.5	4.8
	東区	380	52.4	51.1	26.6	37.4	24.2	23.7	3.2	4.2
	南区	448	48.9	48.4	28.1	33.0	25.7	26.6	3.8	6.3
	西区	584	53.3	50.5	28.9	30.0	25.0	24.8	3.8	5.1
	安佐南区	714	54.6	49.3	33.5	29.6	24.2	20.0	4.9	5.0
	安佐北区	465	45.6	53.8	41.3	28.2	23.7	18.1	4.3	5.4
	安芸区	254	43.3	50.8	37.4	29.9	23.6	24.0	4.3	5.9
	佐伯区	441	51.2	55.1	34.5	24.7	21.1	20.4	5.4	3.9
職業別	農業、林業、水産業	52	44.2	42.3	48.1	30.8	15.4	17.3	1.9	13.5
	商業、サービス業、工業	208	45.2	49.0	29.3	31.7	25.5	20.7	3.8	6.3
	自由業	70	42.9	40.0	27.1	37.1	22.9	22.9	12.9	7.1
	管理職	205	47.8	52.7	32.7	33.2	21.5	25.9	3.9	1.5
	専門・技術職	395	53.4	55.7	30.4	30.1	20.5	20.3	4.8	1.0
	事務職	355	51.5	64.8	26.2	30.7	21.7	25.9	3.7	2.8
	販売・サービス職	257	52.1	51.4	29.2	32.7	22.6	21.4	4.3	2.3
	技能・労務職	201	61.2	56.2	29.9	26.4	16.4	19.9	6.0	3.5
	パートタイマー、臨時・非常勤雇用者	421	58.7	56.3	39.9	32.8	20.4	18.8	4.0	2.1
	専業主婦、専業主夫	602	53.0	47.3	33.7	30.9	28.4	28.6	3.7	5.1
	学生	84	50.0	67.9	26.2	33.3	23.8	31.0	4.8	－
	無職	630	46.0	40.0	34.9	31.1	28.7	22.2	4.8	8.1
性・年齢別	男性	1,497	51.2	51.3	31.6	30.5	21.4	20.8	5.2	4.1
	10歳代	17	47.1	70.6	23.5	35.3	17.6	17.6	5.9	－
	20歳代	99	50.5	61.6	24.2	27.3	22.2	28.3	7.1	3.0
	30歳代	207	51.2	53.6	30.4	28.0	19.8	19.8	5.3	1.0
	40歳代	266	54.5	55.3	23.7	38.3	21.4	22.2	8.6	1.5
	50歳代	226	50.9	55.8	29.6	27.4	17.3	23.0	5.3	1.8
	60歳代	308	54.2	48.1	38.6	32.8	19.5	20.1	2.6	3.9
	70歳以上	371	47.2	43.7	35.6	27.0	26.4	17.5	3.8	9.7
	女性	1,926	51.5	49.5	33.0	32.3	25.9	24.9	3.6	5.4
	10歳代	28	53.6	71.4	28.6	28.6	32.1	46.4	－	－
	20歳代	157	51.6	66.9	22.9	37.6	26.8	28.0	3.8	1.9
	30歳代	283	54.8	49.8	26.9	32.2	24.7	25.8	7.4	3.5
	40歳代	361	58.7	52.6	33.2	35.7	20.8	19.4	3.6	1.4
	50歳代	308	54.5	52.3	39.9	34.7	21.8	25.6	2.6	1.9
	60歳代	354	46.6	45.8	41.8	32.5	28.2	28.2	2.8	6.8
	70歳以上	434	44.9	40.3	28.8	26.0	31.3	23.3	2.8	12.9

（表ＴＰ６－２－１）公共交通を使いやすくしていくために重要だと思う取組（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）続き

（%）

		総数	乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する	便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する	公共交通の利便性が低い地域への乗合タクシーやデマンド運行の導入などにより、新たな交通手段を確保する	乗継案内や路線図、運賃情報の提供などにより、案内情報を充実させる	ベンチの設置などにより、待合環境を向上させる	新型車両の導入や駅・車両のバリアフリー化などにより、快適性を向上させる	その他	無回答
全市		3,685	50.8	50.4	32.1	31.3	24.1	22.8	4.3	5.2
性・家族構成別	男性 一人暮らし	171	48.0	53.8	26.3	31.0	22.8	25.7	7.6	4.1
	夫婦のみ	467	51.8	47.8	32.8	29.6	20.3	18.6	5.4	5.8
	あなた（又はあなた夫婦）と親	140	55.7	52.9	35.0	28.6	18.6	26.4	7.1	3.6
	あなた（又はあなた夫婦）と子	500	51.6	52.8	29.0	30.8	21.4	20.4	5.0	2.2
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	90	52.2	55.6	41.1	31.1	27.8	18.9	1.1	1.1
	その他	47	46.8	59.6	31.9	40.4	23.4	21.3	6.4	2.1
	女性 一人暮らし	235	51.1	44.7	27.7	32.3	31.1	26.0	4.3	7.7
	夫婦のみ	475	51.2	47.6	36.0	31.2	27.2	25.9	2.5	6.3
	あなた（又はあなた夫婦）と親	178	53.4	60.7	30.3	38.2	24.7	27.5	6.2	1.7
	あなた（又はあなた夫婦）と子	703	53.1	51.2	34.7	32.6	23.5	24.8	3.8	2.6
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	126	54.0	50.0	34.1	26.2	22.2	20.6	0.8	7.1
	その他	87	47.1	48.3	27.6	33.3	31.0	18.4	5.7	12.6

（表ＴＰ６－２－１）公共交通を使いやすくしていくために重要だと思う取組（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）続き

（%）

			総数	乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する	便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する	公共交通の利便性が低い地域への乗合タクシーやデマンド運行の導入などにより、新たな交通手段を確保する	乗継案内や路線図、運賃情報の提供などにより、案内情報を充実させる	ベンチの設置などにより、待合環境を向上させる	新型車両の導入や駅・車両のバリアフリー化などにより、快適性を向上させる	その他	無回答
		全市	3,685	50.8	50.4	32.1	31.3	24.1	22.8	4.3	5.2
通勤手段・勤務場所別	徒歩	中区	61	55.7	49.2	29.5	36.1	23.0	27.9	6.6	3.3
		東区	12	50.0	66.7	25.0	50.0	41.7	16.7	8.3	－
		南区	25	64.0	64.0	16.0	28.0	20.0	28.0	4.0	8.0
		西区	35	48.6	45.7	34.3	45.7	17.1	25.7	8.6	2.9
		安佐南区	28	50.0	50.0	39.3	28.6	3.6	3.6	－	7.1
		安佐北区	23	56.5	43.5	60.9	26.1	4.3	26.1	4.3	－
		安芸区	12	41.7	50.0	33.3	33.3	8.3	41.7	－	8.3
		佐伯区	13	46.2	92.3	15.4	15.4	－	23.1	7.7	－
		府中町	9	88.9	66.7	22.2	44.4	11.1	－	－	－
		海田町	1	100.0	－	－	100.0	－	100.0	－	－
		熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		東広島市	1	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－
		呉市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	7	57.1	42.9	14.3	28.6	14.3	42.9	－	－
	自転車	中区	96	51.0	47.9	26.0	38.5	18.8	22.9	5.2	1.0
		東区	24	54.2	41.7	33.3	16.7	25.0	25.0	12.5	4.2
		南区	59	50.8	55.9	39.0	44.1	32.2	22.0	1.7	1.7
		西区	52	50.0	55.8	21.2	32.7	21.2	28.8	5.8	3.8
		安佐南区	40	62.5	52.5	32.5	47.5	20.0	12.5	5.0	－
		安佐北区	7	14.3	57.1	57.1	14.3	28.6	－	14.3	－
		安芸区	8	75.0	50.0	50.0	25.0	37.5	－	－	－
		佐伯区	23	52.2	56.5	8.7	17.4	13.0	13.0	13.0	8.7
		府中町	6	66.7	33.3	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	－
		海田町	4	75.0	50.0	75.0	75.0	－	25.0	－	－
		熊野町、坂町	1	100.0	100.0	－	100.0	－	－	－	－
		廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		東広島市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		呉市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	3	66.7	66.7	33.3	33.3	－	33.3	－	－
	バイク	中区	27	55.6	74.1	37.0	14.8	22.2	18.5	－	3.7
		東区	7	57.1	42.9	28.6	14.3	42.9	－	－	－
		南区	21	47.6	57.1	23.8	52.4	14.3	9.5	9.5	4.8
		西区	10	50.0	80.0	10.0	50.0	40.0	－	10.0	－
		安佐南区	19	68.4	52.6	36.8	31.6	21.1	15.8	5.3	－
		安佐北区	10	50.0	70.0	30.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0
		安芸区	6	16.7	16.7	50.0	16.7	50.0	16.7	－	－
		佐伯区	8	50.0	37.5	62.5	12.5	12.5	－	－	25.0
		府中町	2	100.0	－	－	100.0	－	50.0	－	－
		海田町	3	－	100.0	33.3	－	－	－	33.3	－
		熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		東広島市	1	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－
		呉市	3	33.3	66.7	－	－	33.3	66.7	－	－
		その他	2	－	50.0	50.0	50.0	－	－	50.0	－

（表ＴＰ６－２－１）公共交通を使いやすくしていくために重要だと思う取組（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）続き

（%）

			総数	乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する	便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する	公共交通の利便性が低い地域への乗合タクシーやデマンド運行の導入などにより、新たな交通手段を確保する	乗継案内や路線図、運賃情報の提供などにより、案内情報を充実させる	ベンチの設置などにより、待合環境を向上させる	新型車両の導入や駅・車両のバリアフリー化などにより、快適性を向上させる	その他	無回答
		全市	3,685	50.8	50.4	32.1	31.3	24.1	22.8	4.3	5.2
通勤手段・勤務場所別	自動車	中区	80	50.0	53.8	33.8	25.0	36.3	23.8	1.3	－
		東区	45	46.7	51.1	51.1	26.7	15.6	20.0	－	2.2
		南区	65	43.1	58.5	24.6	36.9	24.6	23.1	6.2	4.6
		西区	117	48.7	48.7	23.9	31.6	22.2	12.0	5.1	6.0
		安佐南区	128	66.4	54.7	37.5	23.4	18.0	23.4	1.6	4.7
		安佐北区	100	53.0	59.0	40.0	29.0	14.0	17.0	2.0	2.0
		安芸区	28	46.4	67.9	42.9	21.4	21.4	17.9	－	－
		佐伯区	68	52.9	38.2	32.4	29.4	25.0	22.1	4.4	－
		府中町	19	52.6	52.6	31.6	31.6	26.3	10.5	5.3	－
		海田町	13	76.9	30.8	53.8	46.2	15.4	7.7	15.4	－
		熊野町、坂町	13	46.2	61.5	30.8	46.2	23.1	30.8	－	－
		廿日市市	30	60.0	63.3	36.7	36.7	16.7	26.7	3.3	－
		東広島市	22	50.0	59.1	40.9	22.7	13.6	9.1	4.5	4.5
		呉市	12	41.7	75.0	16.7	8.3	16.7	16.7	－	－
		その他	48	62.5	56.3	39.6	37.5	8.3	12.5	4.2	－
	バス	中区	112	49.1	67.0	29.5	28.6	22.3	26.8	5.4	4.5
		東区	7	57.1	71.4	42.9	42.9	14.3	－	－	－
		南区	38	52.6	63.2	26.3	42.1	15.8	23.7	5.3	－
		西区	27	63.0	66.7	25.9	29.6	18.5	25.9	3.7	3.7
		安佐南区	11	63.6	54.5	36.4	63.6	27.3	27.3	－	－
		安佐北区	4	75.0	50.0	75.0	50.0	－	25.0	－	－
		安芸区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		佐伯区	4	50.0	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	－
		府中町	5	40.0	40.0	40.0	20.0	－	－	20.0	－
		海田町	1	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－
		熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		東広島市	1	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－
		呉市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	3	33.3	66.7	66.7	－	66.7	33.3	－	－
	鉄道（ＪＲ）	中区	19	36.8	73.7	36.8	36.8	26.3	26.3	－	－
		東区	13	38.5	76.9	15.4	30.8	23.1	38.5	7.7	7.7
		南区	17	47.1	76.5	29.4	17.6	23.5	17.6	－	－
		西区	29	58.6	65.5	41.4	24.1	24.1	17.2	3.4	3.4
		安佐南区	12	25.0	41.7	16.7	25.0	33.3	8.3	16.7	－
		安佐北区	4	50.0	50.0	25.0	－	50.0	－	－	－
		安芸区	5	40.0	60.0	80.0	60.0	20.0	－	－	－
		佐伯区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		府中町	19	36.8	73.7	36.8	15.8	10.5	31.6	5.3	－
		海田町	2	50.0	50.0	－	－	－	－	50.0	－
		熊野町、坂町	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	2	100.0	50.0	－	50.0	50.0	50.0	－	－
		東広島市	6	33.3	66.7	50.0	50.0	16.7	－	－	16.7
		呉市	2	100.0	50.0	－	50.0	－	50.0	－	－
		その他	11	54.5	54.5	9.1	9.1	36.4	45.5	9.1	－

（表ＴＰ６－２－１）公共交通を使いやすくしていくために重要だと思う取組（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）続き

（%）

			総数	乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する	便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する	公共交通の利便性が低い地域への乗合タクシーやデマンド運行の導入などにより、新たな交通手段を確保する	乗継案内や路線図、運賃情報の提供などにより、案内情報を充実させる	ベンチの設置などにより、待合環境を向上させる	新型車両の導入や駅・車両のバリアフリー化などにより、快適性を向上させる	その他	無回答
		全市	3,685	50.8	50.4	32.1	31.3	24.1	22.8	4.3	5.2
通勤手段・勤務場所別	広電（市内線）	中区	37	59.5	45.9	29.7	35.1	18.9	40.5	2.7	2.7
		東区	2	50.0	50.0	－	－	－	100.0	－	－
		南区	9	33.3	44.4	22.2	55.6	11.1	11.1	11.1	－
		西区	5	100.0	80.0	60.0	40.0	－	20.0	－	－
		安佐南区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		安佐北区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		安芸区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		佐伯区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		府中町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		海田町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	1	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	－
		東広島市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		呉市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	1	－	－	100.0	－	100.0	－	－	－
	広電（宮島線）	中区	12	75.0	75.0	25.0	16.7	16.7	33.3	－	－
		東区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		南区	1	100.0	100.0	－	－	100.0	－	－	－
		西区	12	66.7	50.0	33.3	33.3	16.7	58.3	－	－
		安佐南区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		安佐北区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		安芸区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		佐伯区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		府中町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		海田町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	4	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	－	－	－
		東広島市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		呉市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	アストラムライン	中区	46	60.9	56.5	21.7	34.8	21.7	34.8	2.2	－
		東区	3	33.3	－	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	－
		南区	3	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	－	－
		西区	3	33.3	66.7	－	33.3	－	66.7	－	－
		安佐南区	13	53.8	46.2	38.5	23.1	23.1	15.4	7.7	－
		安佐北区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		安芸区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		佐伯区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		府中町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		海田町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		東広島市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		呉市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（表ＴＰ６－２－１）公共交通を使いやすくしていくために重要だと思う取組（地域別、職業別、性・年齢別、性・家族構成別、通勤手段・勤務場所別）続き

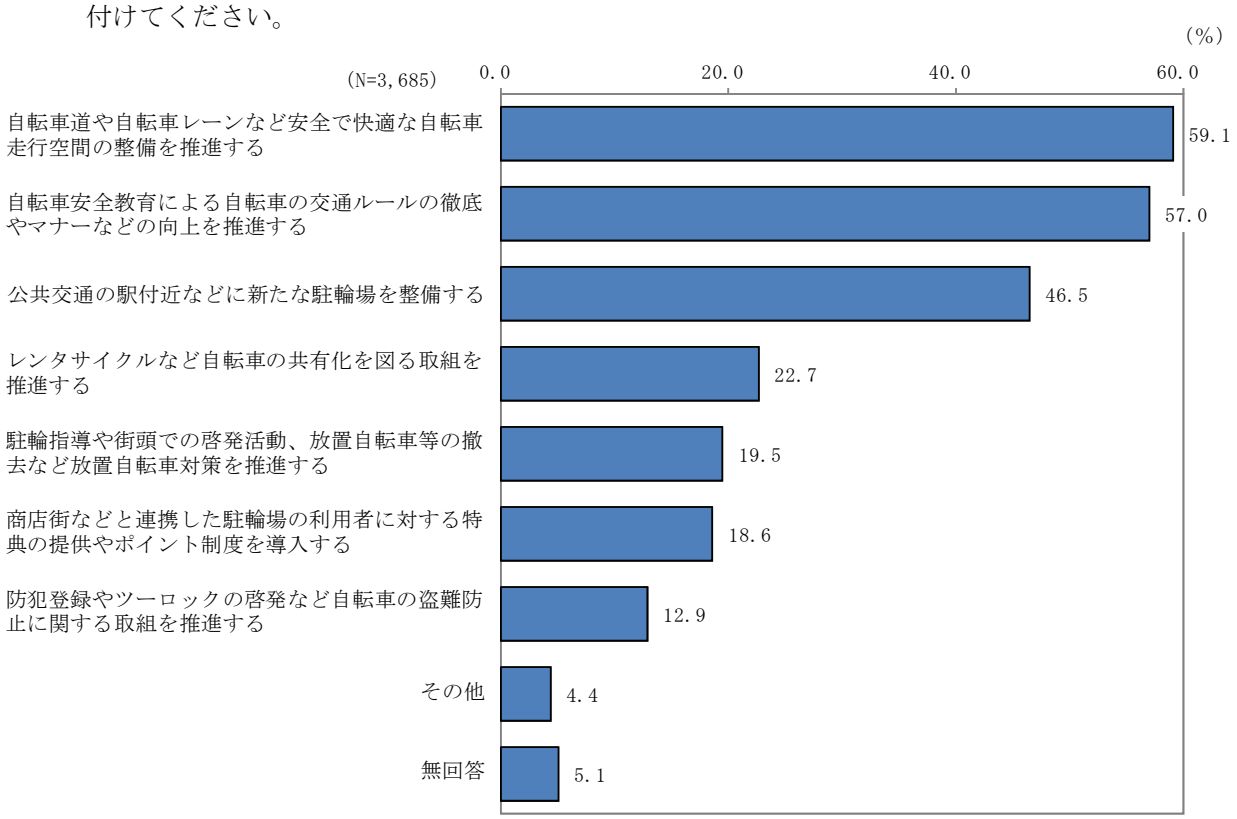
（%）

			総数	乗り継いでも直通と同程度の運賃となる乗継割引の拡充などにより、わかりやすく使いやすい運賃体系を構築する	便数の増加や運行時間の拡大などにより、利用しやすいダイヤを設定する	公共交通の利便性が低い地域への乗合タクシーやデマンド運行の導入などにより、新たな交通手段を確保する	乗継案内や路線図、運賃情報の提供などにより、案内情報を充実させる	ベンチの設置などにより、待合環境を向上させる	新型車両の導入や駅・車両のバリアフリー化などにより、快適性を向上させる	その他	無回答
全市			3,685	50.8	50.4	32.1	31.3	24.1	22.8	4.3	5.2
通勤手段・勤務場所別	その他	中区	3	66.7	33.3	－	66.7	66.7	33.3	－	－
		東区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		南区	2	100.0	50.0	－	50.0	－	50.0	－	－
		西区	3	33.3	－	66.7	33.3	－	－	66.7	－
		安佐南区	5	80.0	80.0	－	20.0	－	20.0	－	20.0
		安佐北区	2	100.0	50.0	50.0	100.0	－	－	－	－
		安芸区	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		佐伯区	2	50.0	50.0	50.0	50.0	－	50.0	－	－
		府中町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		海田町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		熊野町、坂町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		廿日市市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		東広島市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		呉市	1	－	－	－	－	－	－	－	100.0
		その他	9	44.4	66.7	22.2	22.2	33.3	22.2	33.3	11.1

※　主な通勤手段として「船舶」を利用していると答えた人がいないため、「船舶」の掲載は省略している。

⑶　より一層自転車が活用されるために必要だと思うこと

問20　今後、通勤や、通学、買物、観光など様々な場面でより一層自転車が活用されるために、あなたは、どのようなことが必要だと思いますか。次のうちから選び、番号に3つまで○を付けてください。



今後、通勤や、通学、買物、観光など様々な場面でより一層自転車が活用されるために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「自転車道や自転車レーンなど安全で快適な自転車走行空間の整備を推進する」が 59.1%と最も多く、次いで「自転車安全教育による自転車の交通ルールの徹底やマナーなどの向上を推進する」(57.0%)、「公共交通の駅付近などに新たな駐輪場を整備する」(46.5%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ６－３－１)、

〔地域別〕

・　中区、南区、安佐北区及び安芸区は「自転車安全教育による自転車の交通ルールの徹底やマナーなどの向上を推進する」、それ以外の地域は「自転車道や自転車レーンなど安全で快適な自転車走行空間の整備を推進する」が最も高くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男女とも「自転車道や自転車レーンなど安全で快適な自転車走行空間の整備を推進する」が最も多く、次いで「自転車安全教育による自転車の交通ルールの徹底やマナーなどの向上を推進する」の順になっている。

・　男性では、10 歳代及び 30 歳代は「公共交通の駅付近などに新たな駐輪場を整備する」、60 歳代以上は「自転車安全教育による自転車の交通ルールの徹底やマナーなどの向上を推進する」、それ以外の年代は「自転車道や自転車レーンなど安全で快適な自転車走行空間の整備を推進する」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代から 50 歳代までは「自転車道や自転車レーンなど安全で快適な自転車走行空間の整備を推進する」、60 歳代以上は「自転車安全教育による自転車の交通ルールの徹底やマナーなどの向上を推進する」が最も多くなっている。

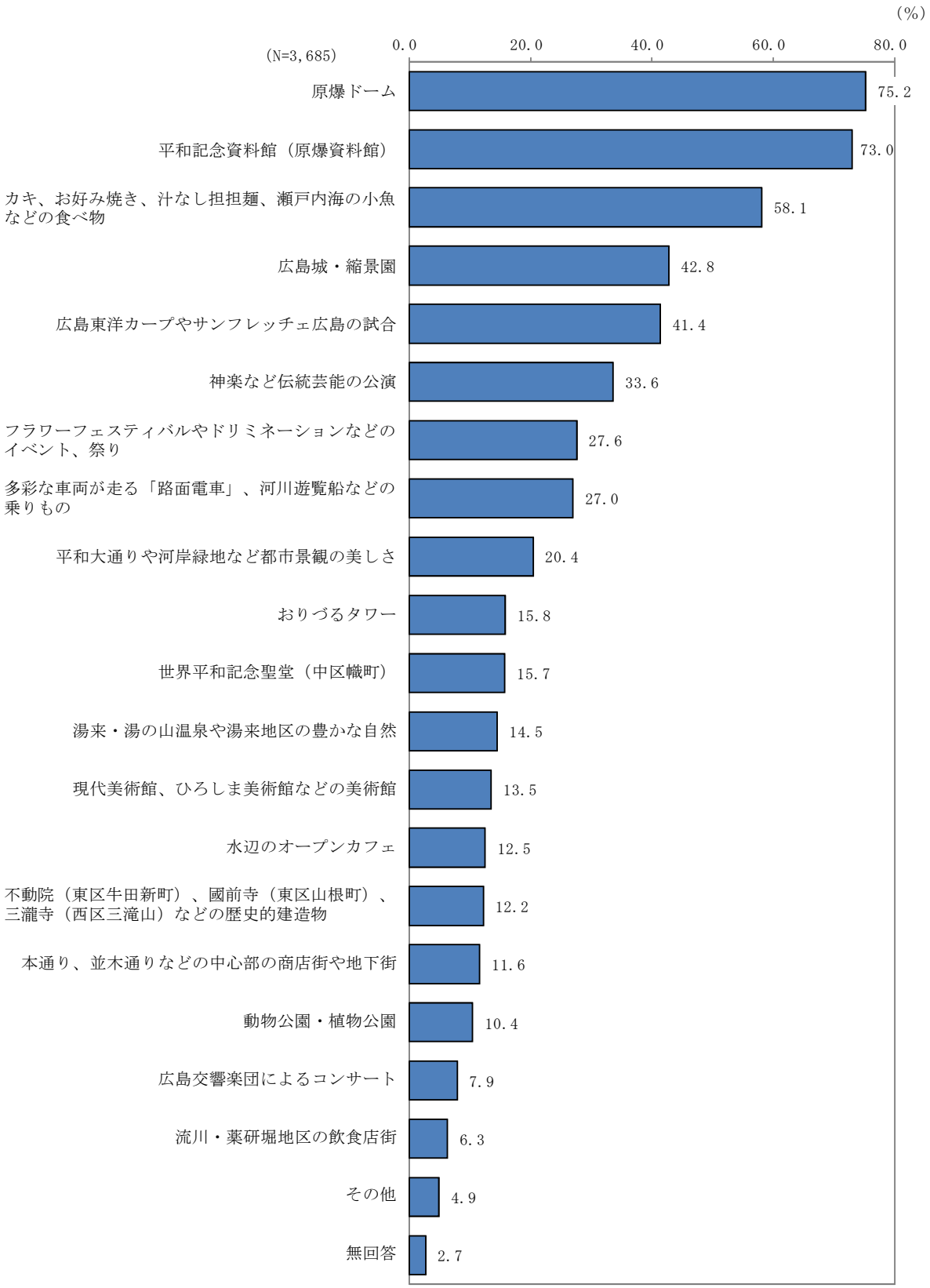
（表ＴＰ６－３－１）より一層自転車が活用されるために必要だと思うこと（地域別、性・年齢別）

（%）

		総数	自転車道や自転車レーンなど安全で快適な自転車走行空間の整備を推進する	自転車安全教育による自転車の交通ルールの徹底やマナーなどの向上を推進する	公共交通の駅付近などに新たな駐輪場を整備する	レンタサイクルなど自転車の共有化を図る取組を推進する	駐輪指導や街頭での啓発活動、放置自転車等の撤去など放置自転車対策を推進する	商店街などと連携した駐輪場の利用者に対する特典の提供やポイント制度を導入する	防犯登録やツーロックの啓発など自転車の盗難防止に関する取組を推進する	その他	無回答
全市		3,685	59.1	57.0	46.5	22.7	19.5	18.6	12.9	4.4	5.1
地域別	中区	376	55.3	56.4	52.9	26.1	21.5	25.8	9.0	7.2	3.7
	東区	380	63.7	52.6	50.0	20.3	17.6	23.4	13.7	4.2	4.7
	南区	448	57.8	60.7	51.1	15.2	17.4	24.1	9.2	4.9	5.4
	西区	584	58.4	56.8	50.5	23.8	21.4	18.8	12.3	5.3	3.8
	安佐南区	714	59.9	54.1	45.5	25.1	20.6	16.4	14.1	2.5	4.9
	安佐北区	465	58.5	60.6	35.5	22.8	21.1	13.3	17.2	4.3	6.0
	安芸区	254	57.9	61.0	39.8	22.4	18.1	14.6	15.4	3.5	6.3
	佐伯区	441	61.7	57.4	45.6	24.7	16.6	14.7	12.5	4.1	5.4
性・年齢別	男性	1,497	59.9	57.9	48.8	22.6	20.2	19.2	11.6	5.1	4.0
	10歳代	17	41.2	52.9	64.7	23.5	5.9	29.4	23.5	5.9	－
	20歳代	99	69.7	45.5	57.6	25.3	16.2	24.2	16.2	5.1	3.0
	30歳代	207	58.5	49.8	58.9	28.5	11.6	24.6	12.1	6.8	0.5
	40歳代	266	57.1	46.6	52.6	32.0	12.8	23.7	9.4	7.1	3.0
	50歳代	226	61.1	58.0	55.8	19.0	22.6	20.4	11.1	4.4	1.8
	60歳代	308	63.3	69.5	43.2	21.4	26.9	16.9	9.4	3.9	2.9
	70歳以上	371	57.1	64.4	38.0	15.1	25.3	12.4	13.2	3.8	9.4
	女性	1,926	60.2	56.0	45.5	23.3	17.9	18.8	13.7	4.0	5.3
	10歳代	28	60.7	39.3	53.6	21.4	10.7	17.9	25.0	3.6	－
	20歳代	157	56.7	49.7	54.1	33.1	15.9	28.7	14.0	4.5	3.2
	30歳代	283	59.4	46.6	56.2	30.4	13.1	23.7	14.1	3.5	1.8
	40歳代	361	64.3	48.5	50.1	28.0	15.2	21.1	10.0	4.4	0.6
	50歳代	308	65.6	54.9	51.0	26.6	15.9	22.4	9.4	7.8	1.9
	60歳代	354	66.1	66.4	36.7	19.8	22.6	13.8	17.5	1.7	4.8
	70歳以上	434	50.0	63.8	34.3	12.0	21.9	12.0	15.7	3.0	15.4

7　観光・交流

問21　あなたは、広島を訪れる人々に対し、広島をより知ってもらうため、どのようなところを紹介したいと思いますか。次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



広島を訪れる人々に対し、広島をより知ってもらうため、どのようなところを紹介したいと思うかを尋ねたところ、「原爆ドーム」が 75.2%と最も多く、次いで「平和記念資料館(原爆資料館)」(73.0%)、「カキ、お好み焼き、汁なし担担麺、瀬戸内海の小魚などの食べ物」(58.1%)、「広島城・縮景園」(42.8%)、「広島東洋カープやサンフレッチェ広島の試合」(41.4%)の順になっている。

この結果を属性別に見ると(表ＴＰ７－１－１)、

〔地域別〕

・　全ての区で「原爆ドーム」が最も多く、次いで「平和記念資料館(原爆資料館)」の順になっている。

〔性・年齢別〕

・　男女とも「原爆ドーム」が最も多く、次いで「平和記念資料館(原爆資料館)」の順になっている。

・　男性では、20 歳代は「原爆ドーム」及び「カキ、お好み焼き、汁なし担担麺、瀬戸内海の小魚などの食べ物」(同率)、30 歳代は「カキ、お好み焼き、汁なし担担麺、瀬戸内海の小魚などの食べ物」、60 歳代は「平和記念資料館(原爆資料館)」、70 歳以上は「原爆ドーム」及び「平和記念資料館(原爆資料館)」(同率)、それ以外の年代は「原爆ドーム」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代は「カキ、お好み焼き、汁なし担担麺、瀬戸内海の小魚などの食べ物」、60 歳代は「原爆ドーム」及び「平和記念資料館(原爆資料館)」(同率)、それ以外の年代は「原爆ドーム」が最も多くなっている。

【時系列比較】

観光・交流を時系列に見たのが(図ＴＰ７－１－１)である。

平成 29 年(2017 年)は、平成 19 年(2007 年)と比べて「動物公園・植物公園」は 15.8%から 10.4%へと 5.4 ポイント減少している。一方で「広島東洋カープやサンフレッチェ広島の試合」は 24.1%から 41.4%へと 17.3 ポイント、「広島城・縮景園」は 29.2%から 42.8%へと 13.6 ポイント増加している。

（表ＴＰ７－１－１）観光・交流（地域別、性・年齢別）

（%）

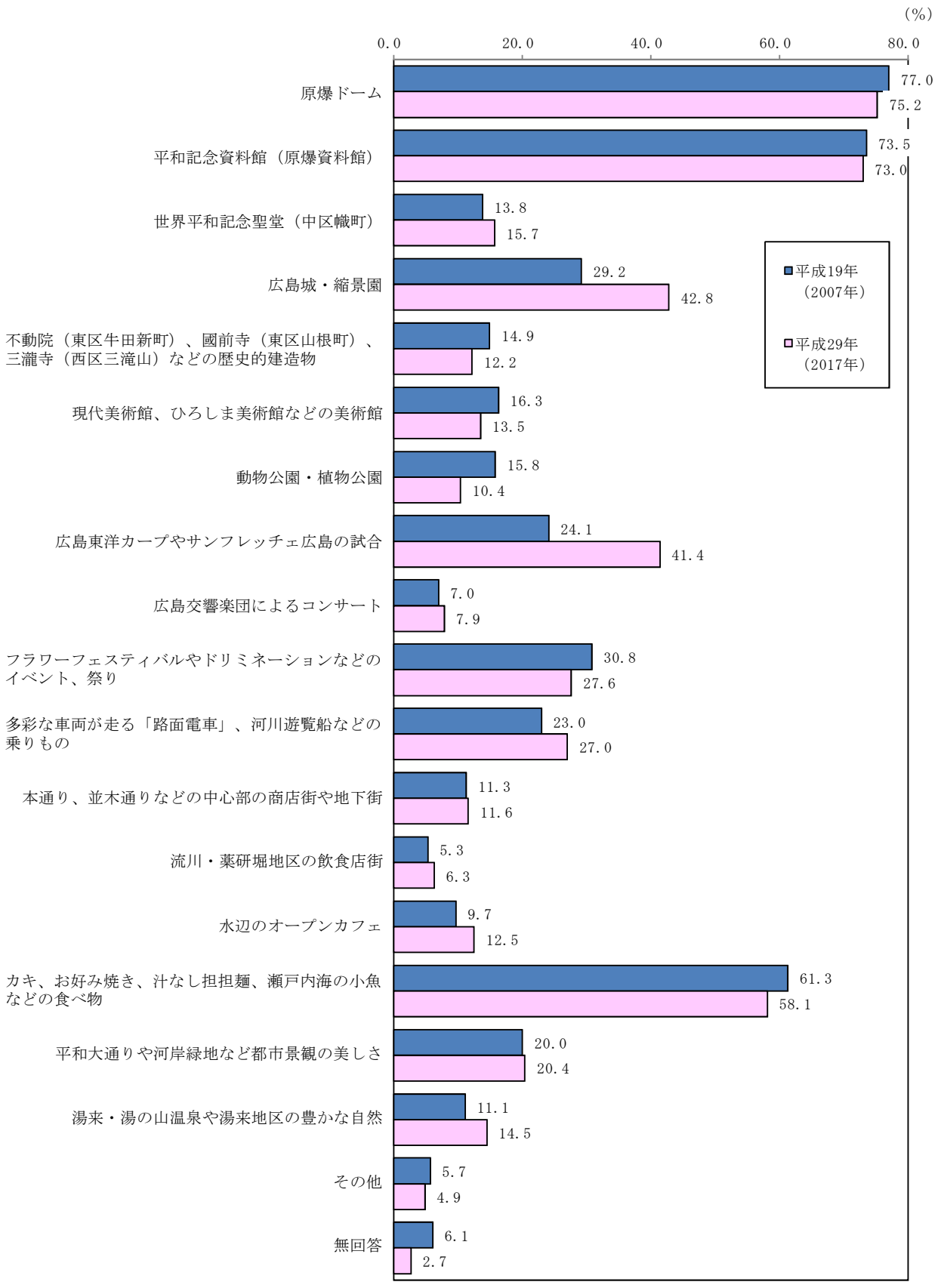
		総数	原爆ドーム	平和記念資料館（原爆資料館）	カキ、お好み焼き、汁なし担担麺、瀬戸内海の小魚などの食べ物	広島城・縮景園	広島東洋カープやサンフレッチェ広島の試合	神楽など伝統芸能の公演	フラワーフェスティバルやドリミネーションなどのイベント、祭り	多彩な車両が走る「路面電車」、河川遊覧船などの乗りもの	平和大通りや河岸緑地など都市景観の美しさ	おりづるタワー	世界平和記念聖堂（中区幟町）
全市		3,685	75.2	73.0	58.1	42.8	41.4	33.6	27.6	27.0	20.4	15.8	15.7
地域別	中区	376	74.2	73.7	57.2	48.9	36.4	28.5	26.1	30.6	26.3	15.7	14.1
	東区	380	74.5	72.4	63.4	42.9	45.8	34.7	30.8	31.8	23.9	22.1	16.3
	南区	448	76.3	75.9	58.0	40.8	46.0	30.1	30.8	27.9	23.0	14.3	16.7
	西区	584	75.9	74.1	61.8	40.6	40.1	31.8	27.9	28.1	19.9	15.4	18.3
	安佐南区	714	73.5	70.3	57.1	41.5	41.5	33.5	25.6	24.4	16.0	15.8	15.3
	安佐北区	465	74.0	69.7	53.8	46.9	40.4	41.1	28.0	24.5	19.4	16.6	13.8
	安芸区	254	78.3	78.0	62.6	45.7	47.2	34.6	28.7	26.0	20.5	12.6	17.3
	佐伯区	441	77.6	74.4	54.0	38.8	37.9	34.7	26.3	25.9	18.1	13.4	14.3
性・年齢別	男性	1,497	71.3	70.5	56.4	39.7	43.4	29.6	27.5	24.0	20.2	13.0	15.2
	10歳代	17	76.5	64.7	64.7	47.1	70.6	29.4	52.9	23.5	17.6	35.3	5.9
	20歳代	99	71.7	65.7	71.7	36.4	59.6	19.2	36.4	24.2	18.2	21.2	15.2
	30歳代	207	65.7	64.7	66.7	29.5	53.6	23.7	26.1	23.7	13.5	12.6	15.0
	40歳代	266	69.5	67.3	60.2	27.8	53.4	25.2	24.1	24.4	16.9	10.9	13.9
	50歳代	226	73.9	71.2	57.1	39.4	50.0	30.5	27.0	26.1	13.7	12.4	11.1
	60歳代	308	72.4	75.6	52.6	46.4	33.4	34.7	26.0	23.1	26.0	13.0	16.6
	70歳以上	371	73.3	73.3	46.6	49.3	29.1	34.0	28.8	23.5	26.4	12.1	18.1
	女性	1,926	78.8	75.3	61.0	44.8	41.2	37.1	28.0	29.9	20.1	18.0	15.7
	10歳代	28	75.0	64.3	89.3	28.6	75.0	28.6	53.6	32.1	7.1	25.0	14.3
	20歳代	157	78.3	68.2	69.4	31.2	52.9	22.3	40.8	28.0	13.4	25.5	10.8
	30歳代	283	76.3	68.2	67.1	36.0	51.9	32.5	23.7	26.1	9.5	16.3	14.1
	40歳代	361	78.9	74.5	68.7	37.1	46.0	34.6	27.7	33.8	19.1	18.6	11.6
	50歳代	308	74.4	73.7	67.2	42.2	49.0	36.7	26.3	27.6	16.6	16.9	15.6
	60歳代	354	80.2	80.2	52.5	54.2	28.5	42.1	23.7	28.8	25.4	15.3	16.9
	70歳以上	434	82.7	80.9	48.2	56.9	28.6	44.5	29.5	32.3	29.3	18.4	21.2

（表ＴＰ７－１－１）観光・交流（地域別、性・年齢別）続き

(%)

		総数	湯来・湯の山温泉や湯来地区の豊かな自然	現代美術館、ひろしま美術館などの美術館	水辺のオープンカフェ	不動院（東区牛田新町）、國前寺（東区山根町）、三瀧寺（西区三滝山）などの歴史的建造物	本通り、並木通りなどの中心部の商店街や地下街	動物公園・植物公園	広島交響楽団によるコンサート	流川・薬研堀地区の飲食店街	その他	無回答
全市		3,685	14.5	13.5	12.5	12.2	11.6	10.4	7.9	6.3	4.9	2.7
地域別	中区	376	13.0	14.1	15.4	11.4	14.9	6.9	6.4	6.9	4.3	2.1
	東区	380	13.7	15.0	18.4	17.6	12.9	9.5	7.1	6.6	5.0	1.3
	南区	448	9.4	12.9	12.1	10.0	13.2	9.4	8.9	7.1	4.9	3.3
	西区	584	15.1	16.8	11.5	13.0	11.3	8.7	9.2	7.4	5.3	2.4
	安佐南区	714	13.4	10.9	10.5	10.6	9.9	12.3	7.7	6.4	4.9	2.4
	安佐北区	465	14.2	12.0	11.4	13.3	11.6	15.1	8.6	4.5	4.9	3.2
	安芸区	254	11.8	16.1	11.0	11.8	11.4	7.5	10.2	6.3	2.8	2.0
	佐伯区	441	24.9	11.6	12.5	10.9	10.0	11.8	5.4	4.8	5.9	4.3
性・年齢別	男性	1,497	13.2	13.8	12.0	12.0	13.0	10.3	7.6	9.0	4.5	2.5
	10歳代	17	－	5.9	17.6	11.8	35.3	5.9	5.9	－	11.8	－
	20歳代	99	14.1	10.1	13.1	8.1	21.2	12.1	7.1	18.2	9.1	3.0
	30歳代	207	16.4	8.7	9.2	6.8	15.0	9.2	6.3	15.0	5.8	1.4
	40歳代	266	14.3	10.2	11.7	7.9	14.7	7.1	5.3	10.9	5.6	1.9
	50歳代	226	12.8	10.2	12.4	9.7	8.0	8.4	7.5	8.8	3.1	1.8
	60歳代	308	12.7	15.9	14.3	14.6	11.4	11.4	9.1	6.2	3.6	3.6
	70歳以上	371	11.9	21.3	11.3	18.1	11.9	12.7	9.2	4.6	3.0	3.2
	女性	1,926	15.8	12.7	12.6	12.0	10.9	10.4	7.7	4.5	5.1	2.5
	10歳代	28	17.9	－	7.1	3.6	28.6	7.1	3.6	3.6	3.6	－
	20歳代	157	15.9	6.4	11.5	4.5	27.4	8.9	7.0	10.2	7.6	1.3
	30歳代	283	16.3	8.5	9.2	7.8	9.5	7.4	6.7	4.6	6.4	2.1
	40歳代	361	14.1	6.9	13.0	11.1	8.9	6.4	5.0	6.4	6.1	0.8
	50歳代	308	14.3	16.2	14.0	9.7	9.4	8.4	7.5	4.9	6.5	1.0
	60歳代	354	16.7	13.6	14.4	14.7	6.2	15.8	8.8	1.1	2.3	2.8
	70歳以上	434	17.1	20.3	12.7	18.2	11.1	13.6	10.4	3.2	3.9	5.5

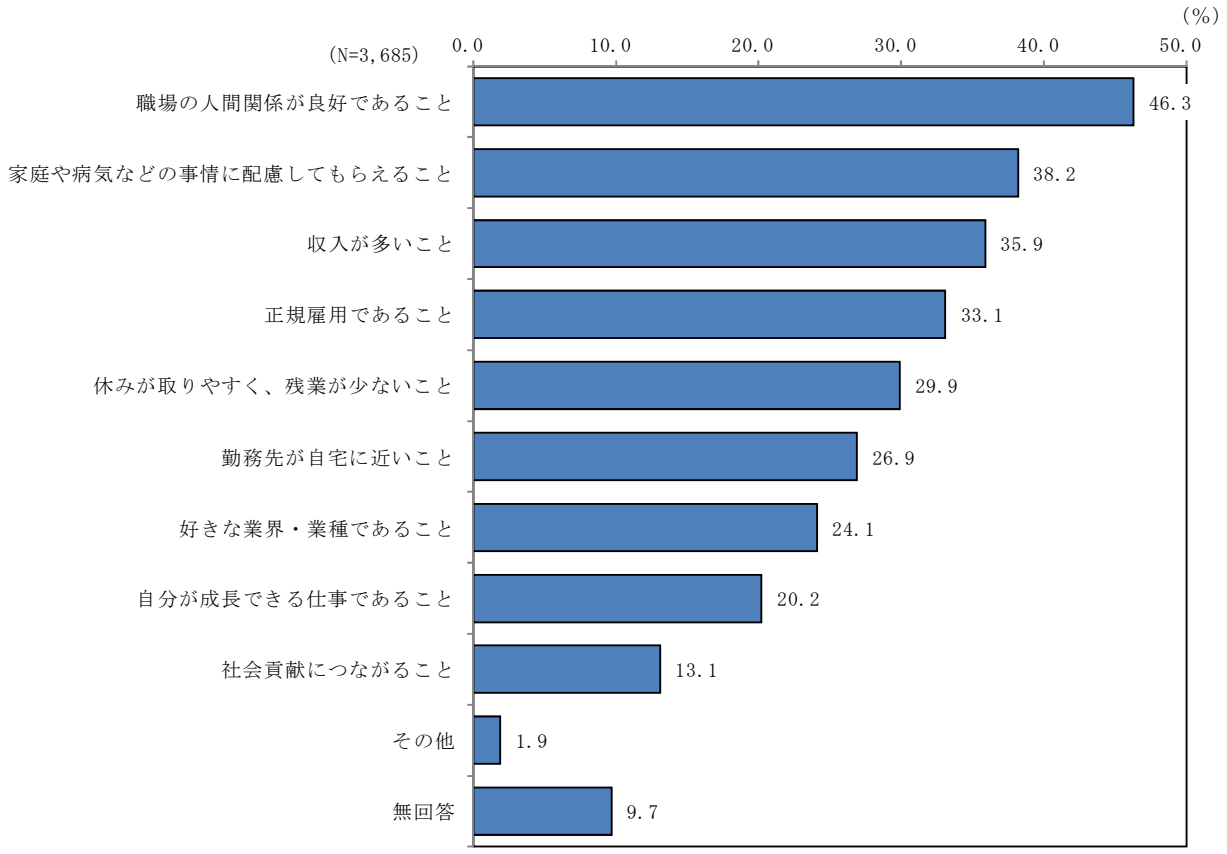
（図ＴＰ７－１－１）観光・交流（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。
　　また、「おりづるタワー」と「神楽など伝統芸能の公演」は、平成29年のみの選択肢であるため、掲載は省略している。

８　求める就労条件

問 22　あなたが仕事を選ぶに当たって、重視することは何ですか。次のうちから選び、番号に３つまで○を付けてください。



仕事を選ぶに当たって重視することを尋ねたところ、「職場の人間関係が良好であること」が 46.3%と最も多く、次いで「家庭や病気などの事情に配慮してもらえること」(38.2%)、「収入が多いこと」(35.9%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ８－１－１)、

〔職業別〕

・　「農業、林業、水産業」及び「専業主婦、専業主夫」は「家庭や病気などの事情に配慮してもらえること」、「自由業」は「好きな業界・業種であること」、「管理職」、「技能・労務職」及び「学生」は「収入が多いこと」、それ以外は「職場の人間関係が良好であること」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男性は「収入が多いこと」が最も多く、次いで「正規雇用であること」の順になっており、女性は「職場の人間関係が良好であること」が最も多く、次いで「家庭や病気などの事情に配慮してもらえること」の順になっている。

・　男性では、10 歳代から 50 歳代までは「収入が多いこと」、60 歳代以上は「職場の人間関係が良好であること」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代は「収入が多いこと」、30 歳代は「家庭や病気などの事情に配慮してもらえること」、それ以外の年代は「職場の人間関係が良好であること」が最も多くなっている。

〔性・家族構成別〕

・　男性では、「一人暮らし」世帯は「収入が多いこと」及び「正規雇用であること」(同率)、「その他」世帯は「正規雇用であること」、それ以外の世帯は「収入が多いこと」が最も多くなっている。

・　女性では、「あなた（又はあなた夫婦）と子」世帯は「家庭や病気などの事情に配慮してもらえること」、「あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代」世帯は「職場の人間関係が良好であること」及び「家庭や病気などの事情に配慮してもらえること」(同率)、それ以外の世帯は「職場の人間関係が良好であること」が最も多くなっている。

（表ＴＰ８－１－１）（職業別、性・年齢別、性・家族構成別）

(%)

		総数	職場の人間関係が良好であること	家庭や病気などの事情に配慮してもらえること	収入が多いこと	正規雇用であること	休みが取りやすく、残業が少ないこと	勤務先が自宅に近いこと	好きな業界・業種であること	自分が成長できる仕事であること	社会貢献につながること	その他	無回答
全市		3,685	46.3	38.2	35.9	33.1	29.9	26.9	24.1	20.2	13.1	1.9	9.7
職業別	農業、林業、水産業	52	30.8	40.4	32.7	36.5	17.3	23.1	17.3	13.5	9.6	－	25.0
	商業、サービス業、工業	208	43.8	34.1	38.0	21.6	21.2	23.1	34.1	28.4	14.4	1.9	6.3
	自由業	70	35.7	32.9	31.4	21.4	20.0	18.6	47.1	32.9	24.3	11.4	2.9
	管理職	205	42.4	22.9	53.7	47.3	21.5	18.5	29.8	32.7	24.4	1.0	0.5
	専門・技術職	395	48.6	31.6	45.8	44.3	33.4	21.3	37.0	27.3	14.7	1.3	0.5
	事務職	355	56.1	36.3	41.4	47.9	46.2	24.8	15.5	19.4	7.6	1.1	0.8
	販売・サービス職	257	59.9	34.6	45.9	35.8	34.6	29.2	25.7	27.2	10.1	0.8	2.7
	技能・労務職	201	40.8	37.3	55.2	48.3	33.3	26.4	27.9	20.9	12.4	2.5	1.0
	パートタイマー、臨時・非常勤雇用者	421	56.8	54.4	31.1	13.3	40.6	50.1	20.4	14.5	10.5	0.7	1.0
	専業主婦、専業主夫	602	49.3	51.8	23.4	25.4	28.4	31.1	21.6	17.3	10.1	2.0	14.6
	学生	84	47.6	29.8	57.1	48.8	42.9	14.3	28.6	27.4	14.3	1.2	－
	無職	630	35.9	30.0	27.0	33.2	19.5	20.6	20.0	13.7	15.4	3.2	23.7
性・年齢別	男性	1,497	39.3	27.5	44.6	39.9	27.8	21.4	27.1	22.1	17.8	2.5	8.0
	10歳代	17	58.8	29.4	64.7	41.2	29.4	5.9	47.1	17.6	5.9	－	－
	20歳代	99	46.5	27.3	56.6	52.5	46.5	12.1	24.2	23.2	7.1	3.0	2.0
	30歳代	207	39.6	32.4	56.5	44.4	40.1	18.8	28.0	34.8	12.6	1.9	0.5
	40歳代	266	42.9	27.8	54.5	44.7	25.9	19.9	31.2	26.7	16.9	2.6	－
	50歳代	226	37.6	29.6	57.1	44.7	28.8	21.7	30.5	23.0	20.8	1.8	1.3
	60歳代	308	42.9	26.3	38.6	35.4	28.2	26.9	26.6	19.2	19.2	1.3	6.5
	70歳以上	371	31.5	24.5	24.3	31.0	16.4	22.6	21.3	13.7	21.6	4.0	25.3
	女性	1,926	52.5	46.9	29.5	27.7	32.2	32.0	22.1	19.2	10.3	1.5	10.0
	10歳代	28	35.7	32.1	67.9	42.9	35.7	10.7	21.4	28.6	21.4	3.6	3.6
	20歳代	157	66.9	38.9	45.2	33.8	56.7	22.9	21.7	21.0	7.6	1.3	1.9
	30歳代	283	49.8	60.4	33.6	27.6	45.6	31.1	27.9	24.4	6.7	1.8	0.7
	40歳代	361	57.6	57.1	33.0	22.7	42.7	39.6	19.7	18.8	7.2	1.4	0.6
	50歳代	308	61.0	50.6	31.8	23.7	34.4	42.5	24.4	17.9	9.4	1.3	2.3
	60歳代	354	58.5	41.8	21.5	26.8	22.0	36.4	24.9	16.9	15.8	1.4	10.2
	70歳以上	434	35.3	35.0	20.7	32.3	12.2	19.8	16.8	17.7	11.5	1.6	32.5

（表ＴＰ８－１－１）（職業別、性・年齢別、性・家族構成別）続き

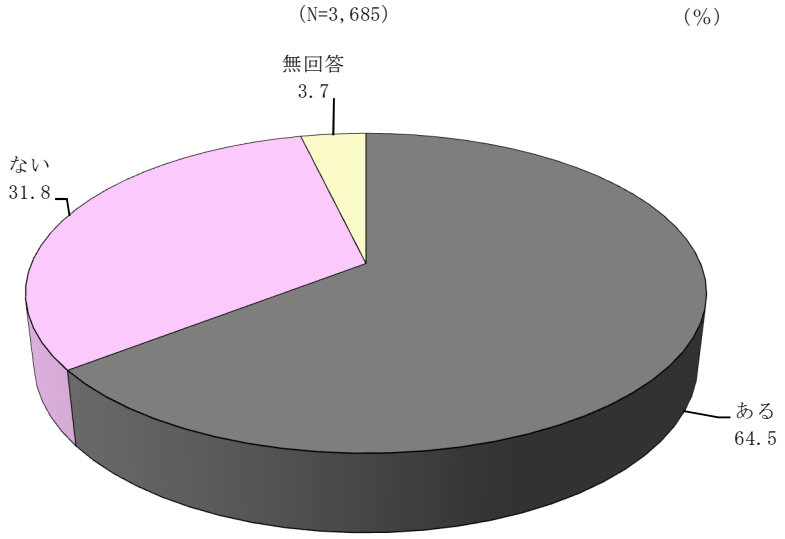
(%)

		総数	職場の人間関係が良好であること	家庭や病気などの事情に配慮してもらえること	収入が多いこと	正規雇用であること	休みが取りやすく、残業が少ないこと	勤務先が自宅に近いこと	好きな業界・業種であること	自分が成長できる仕事であること	社会貢献につながること	その他	無回答
全市		3,685	46.3	38.2	35.9	33.1	29.9	26.9	24.1	20.2	13.1	1.9	9.7
性・家族構成別	男性 一人暮らし	171	37.4	19.3	38.6	38.6	33.9	20.5	23.4	19.3	13.5	1.8	12.3
	男性 夫婦のみ	467	38.3	25.3	39.6	33.8	23.1	23.6	27.6	17.1	19.7	3.2	12.6
	男性 あなた（又はあなた夫婦）と親	140	45.0	24.3	51.4	43.6	40.7	22.9	30.0	18.6	15.7	5.7	1.4
	男性 あなた（又はあなた夫婦）と子	500	37.4	31.8	48.4	46.6	25.6	19.8	28.4	27.8	18.6	1.4	4.2
	男性 あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	90	40.0	33.3	51.1	37.8	38.9	20.0	25.6	30.0	17.8	－	4.4
	男性 その他	47	40.4	38.3	40.4	48.9	27.7	23.4	23.4	14.9	12.8	4.3	4.3
	女性 一人暮らし	235	53.2	28.1	24.7	31.9	26.4	24.3	28.9	21.7	14.5	1.7	15.7
	女性 夫婦のみ	475	51.8	38.1	24.6	26.7	19.4	29.9	22.1	21.1	10.9	1.7	15.2
	女性 あなた（又はあなた夫婦）と親	178	55.6	34.8	37.1	47.2	43.8	28.7	24.2	18.5	14.0	2.2	－
	女性 あなた（又はあなた夫婦）と子	703	53.9	64.0	32.4	23.2	41.0	38.8	20.8	18.5	7.4	1.0	3.3
	女性 あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	126	52.4	52.4	26.2	27.8	30.2	33.3	19.8	16.7	9.5	0.8	13.5
	女性 その他	87	50.6	35.6	40.2	24.1	32.2	24.1	16.1	17.2	13.8	2.3	13.8

９　メンタルヘルス

(1)　日常生活での悩みやストレスの有無

問23　あなたは現在、日常生活の中で悩みやストレスがありますか。



日常生活の中で悩みやストレスがあるかを尋ねたところ、「ある」が 64.5%、「ない」が 31.8%となっている。

この結果を属性別に見ると（図ＴＰ９－１－１）（表ＴＰ９－１－１）、

〔職業別〕

・　職業別では、「ある」が最も多くなっている。

・　「ある」の比率は、「専門・技術職」、「事務職」及び「販売・サービス職」が 7 割を超えており、それ以外と比べて高くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男女とも全ての年代で「ある」が最も多くなっている。

・　男性の 60 歳代以上及び女性の 70 歳以上の「ある」の比率は、他の年代と比べて低くなっている。

・　男性では、10 歳代が 76.5%と最も高く、次いで 50 歳代（73.9%）、30 歳代（72.5%）の順になっており、女性では、20 歳代が 77.1%と最も高く、次いで 30 歳代(76.0%)、40 歳代(73.7%)の順になっている。

〔性・家族構成別〕

・　男女とも全ての世帯で「ある」が最も高くなっている。

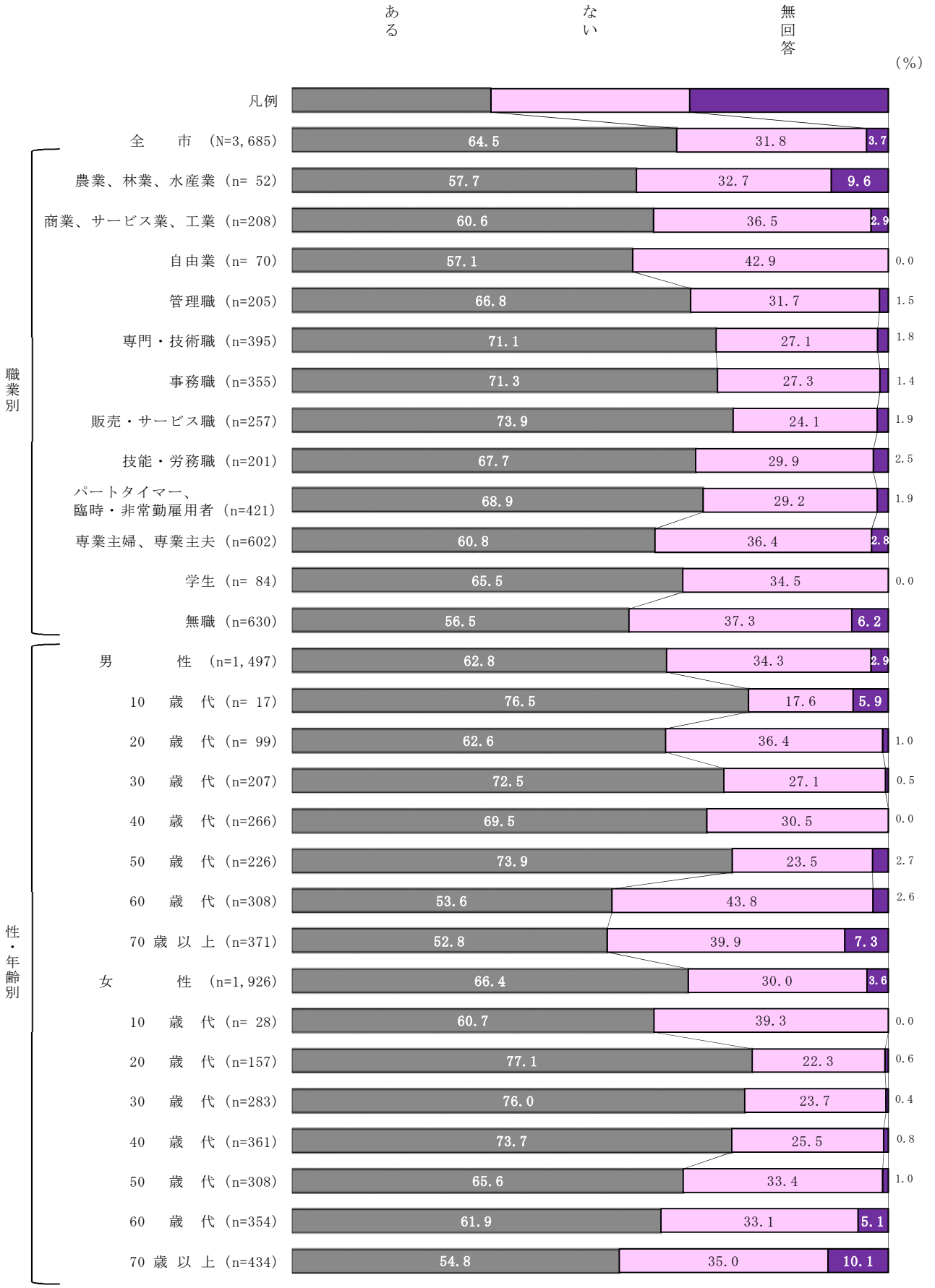
・　男女とも「夫婦のみ」世帯は「ある」の比率が最も低くなっている。

・　女性の「あなた（又はあなた夫婦）と親」及び「あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代」世帯は「ある」が 7 割を超えており、それ以外の世帯より高くなっている。

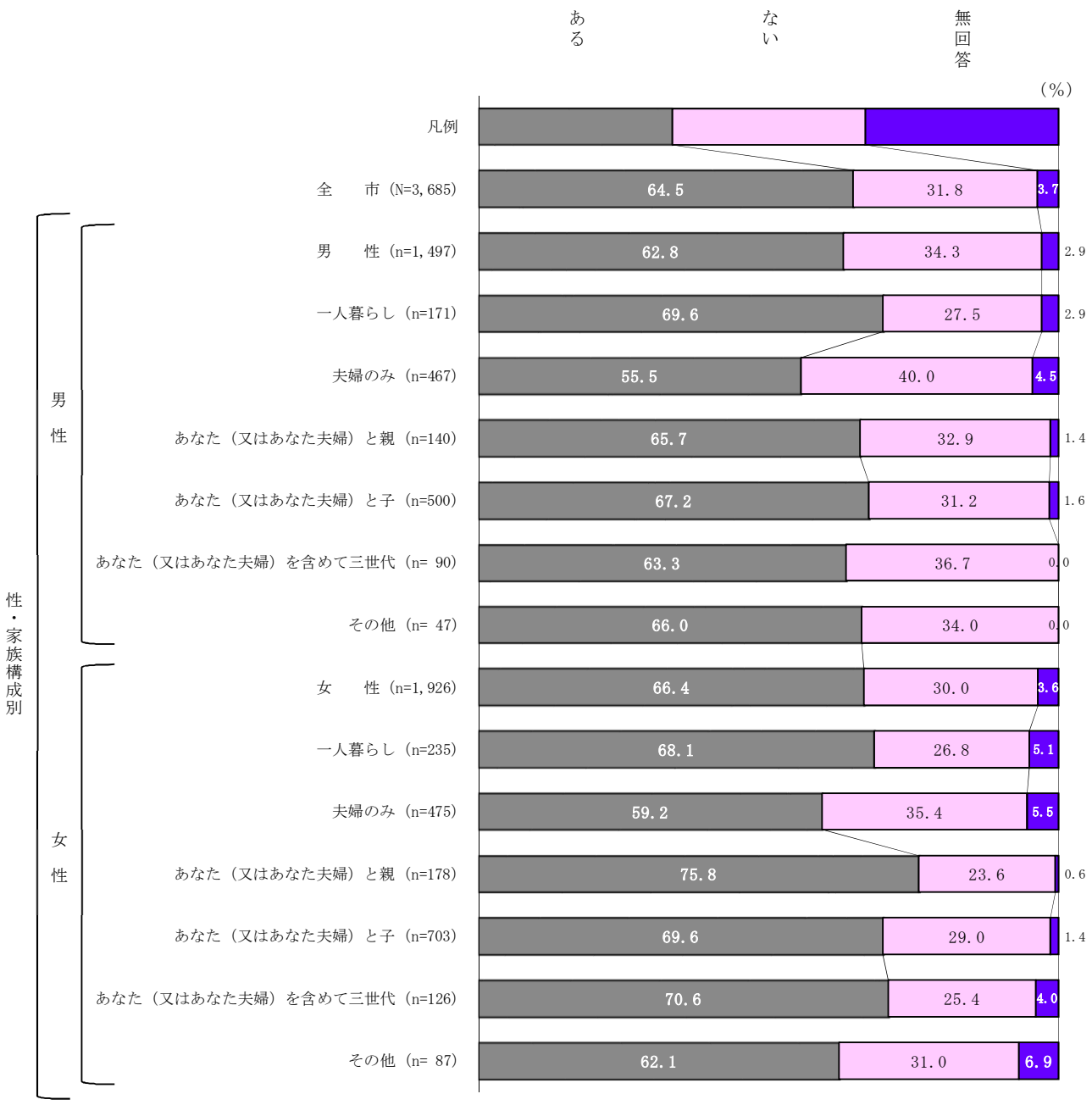
〔自由時間・就業時間別〕

・　自由時間が増えるほど「ある」の比率は低くなっている。

（図ＴＰ９－１－１）日常生活での悩みやストレスの有無（職業別、性・年齢別、性・家族構成別、自由時間・就業時間別）



（図ＴＰ９－１－１）日常生活での悩みやストレスの有無（職業別、性・年齢別、性・家族構成別、自由時間・就業時間別）続き



（表ＴＰ９－１－１）日常生活での悩みやストレスの有無（職業別、性・年齢別、性・家族構成別、自由時間・就業時間別）続き

（%）

			総数	ある	ない	無回答
全市			3,685	64.5	31.8	3.7
自由時間・就業時間別	1時間未満	総数	216	80.1	19.4	0.5
		20時間未満	5	40.0	60.0	－
		20～29時間	16	81.3	18.8	－
		30～39時間	28	85.7	14.3	－
		40～48時間	46	84.8	15.2	－
		49～59時間	42	81.0	19.0	－
		60～79時間	30	73.3	26.7	－
		80時間以上	13	92.3	7.7	－
		決まっていない	2	100.0	－	－
	1～2時間	総数	494	74.3	23.7	2.0
		20時間未満	31	74.2	25.8	－
		20～29時間	29	72.4	27.6	－
		30～39時間	43	81.4	14.0	4.7
		40～48時間	132	72.0	26.5	1.5
		49～59時間	92	73.9	25.0	1.1
		60～79時間	64	76.6	21.9	1.6
		80時間以上	18	77.8	22.2	－
		決まっていない	9	88.9	－	11.1
	2～3時間	総数	542	72.9	25.5	1.7
		20時間未満	37	67.6	27.0	5.4
		20～29時間	52	78.8	19.2	1.9
		30～39時間	47	59.6	40.4	－
		40～48時間	150	70.7	27.3	2.0
		49～59時間	91	74.7	24.2	1.1
		60～79時間	49	83.7	14.3	2.0
		80時間以上	8	87.5	12.5	－
		決まっていない	15	73.3	26.7	－
	3～4時間	総数	435	66.4	30.8	2.8
		20時間未満	25	60.0	36.0	4.0
		20～29時間	40	67.5	32.5	－
		30～39時間	40	62.5	35.0	2.5
		40～48時間	127	66.9	31.5	1.6
		49～59時間	53	66.0	30.2	3.8
		60～79時間	22	68.2	31.8	－
		80時間以上	2	50.0	50.0	－
		決まっていない	12	58.3	41.7	－

（%）

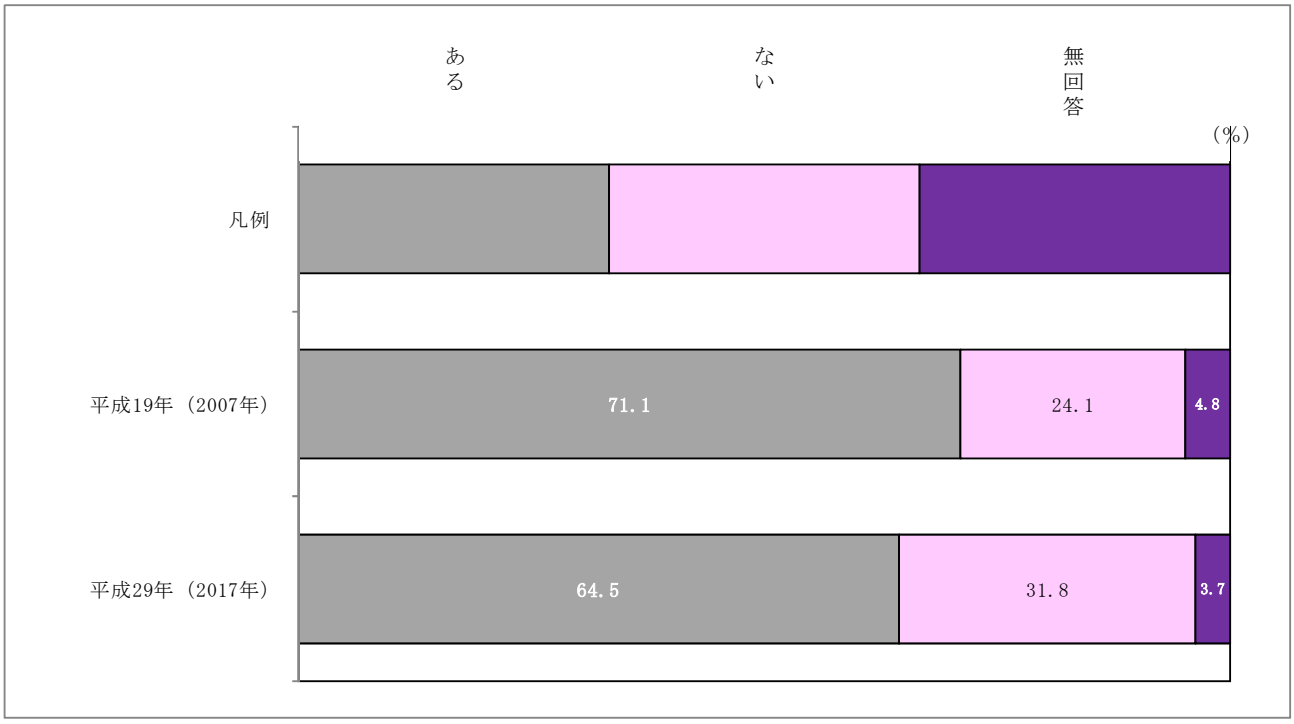
			総数	ある	ない	無回答
全市			3,685	64.5	31.8	3.7
自由時間・就業時間別	4～5時間	総数	445	63.6	33.5	2.9
		20時間未満	53	52.8	41.5	5.7
		20～29時間	37	62.2	35.1	2.7
		30～39時間	35	68.6	25.7	5.7
		40～48時間	102	60.8	39.2	－
		49～59時間	37	67.6	32.4	－
		60～79時間	15	86.7	13.3	－
		80時間以上	5	80.0	20.0	－
		決まっていない	12	41.7	58.3	－
	5～6時間	総数	280	62.9	34.3	2.9
		20時間未満	21	81.0	14.3	4.8
		20～29時間	18	66.7	33.3	－
		30～39時間	20	70.0	30.0	－
		40～48時間	38	63.2	34.2	2.6
		49～59時間	11	72.7	27.3	－
		60～79時間	4	100.0	－	－
		80時間以上	－	－	－	－
		決まっていない	8	50.0	50.0	－
	6時間以上	総数	1,125	54.0	40.1	5.9
		20時間未満	80	50.0	43.8	6.3
		20～29時間	28	53.6	42.9	3.6
		30～39時間	42	64.3	33.3	2.4
		40～48時間	57	54.4	42.1	3.5
		49～59時間	24	75.0	25.0	－
		60～79時間	7	71.4	28.6	－
		80時間以上	1	100.0	－	－
		決まっていない	28	46.4	50.0	3.6

【時系列比較】

日常生活での悩みやストレスの有無を時系列に見たのが（図ＴＰ９－１－２）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「ある」の比率は 6.6 ポイント減少し、「ない」の比率は 7.7 ポイント増加している。

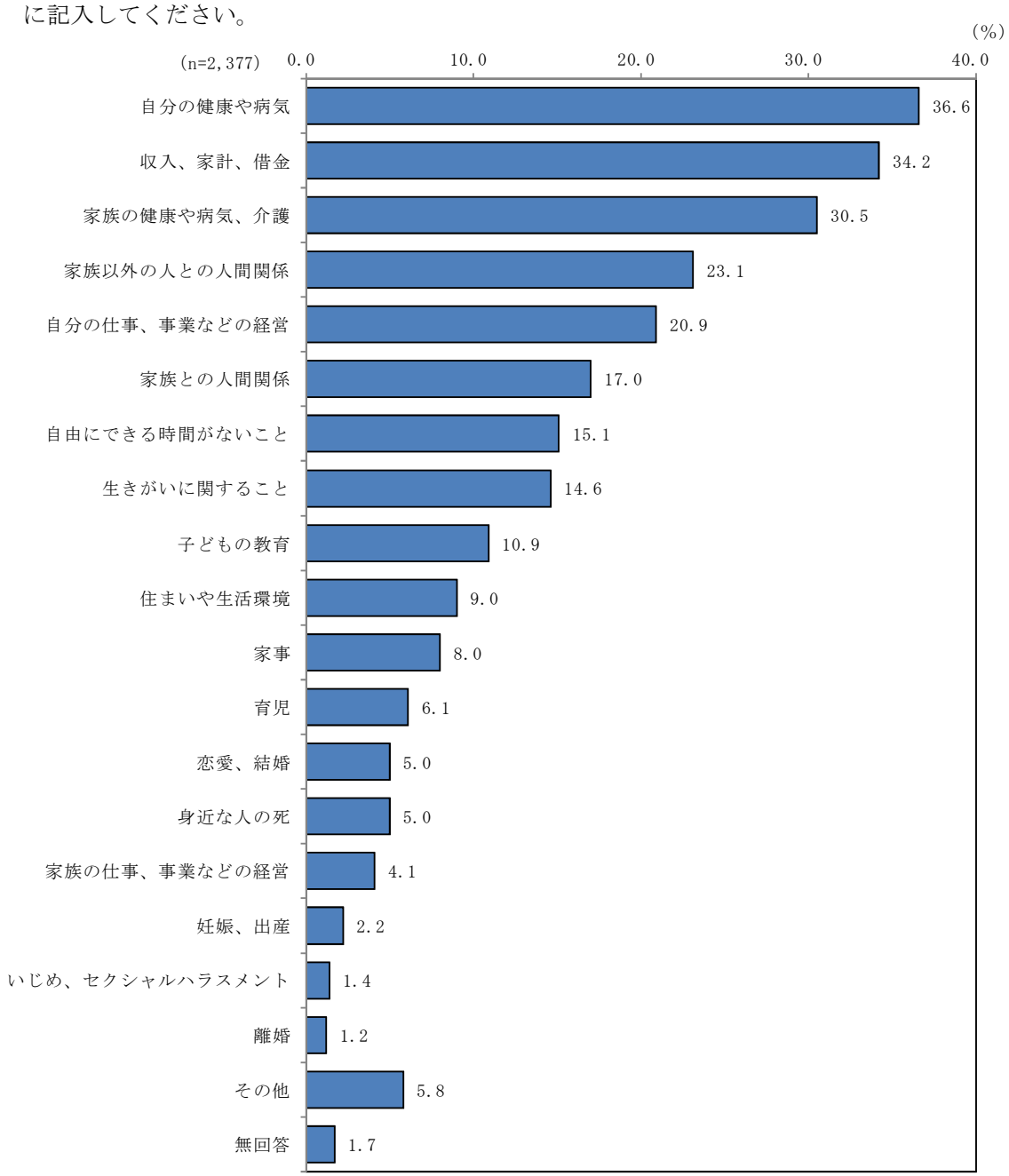
（図ＴＰ９－１－２）日常生活での悩みやストレスの有無（時系列）



⑵ 悩みやストレスの原因

〔問23で、「ある」と答えた人に〕

付問1　その悩みやストレスの原因はどのようなものですか。次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。また、その中で最も大きな原因の番号を1つだけ選び、（　　）の中に記入してください。



日常生活の中で悩みやストレスが「ある」と答えた人にその原因を尋ねたところ、「自分の健康や病気」が 36.6%と最も多く、次いで「収入、家計、借金」(34.2%)、「家族の健康や病気、介護」(30.5%)、「家族以外の人との人間関係」(23.1%)、「自分の仕事、事業などの経営」(20.9%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ９－２－１）、

〔職業別〕

・　「農業、林業、水産業」、「専業主婦、専業主夫」及び「無職」は「自分の健康や病気」、「商業、サービス業、工業」、「自由業」、「管理職」及び「専門・技術職」は「自分の仕事、事業などの経営」、「学生」は「収入、家計、借金」及び「家族以外の人との人間関係」（同率）、それ以外では「収入、家計、借金」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男女とも「自分の健康や病気」が最も多く、次いで「収入、家計、借金」の順になっている。

・　男性では、20 歳代及び 40 歳代は「収入、家計、借金」、30 歳代及び 50 歳代は「自分の仕事、事業などの経営」、60 歳代以上は「自分の健康や病気」が最も多くなっている。

・　女性では、20 歳代から 40 歳代までは「収入、家計、借金」、50 歳代は「家族の健康や病気、介護」、60 歳代以上は「自分の健康や病気」が最も多くなっている。

〔性・家族構成別〕

・　男性では、「一人暮らし」及び「夫婦のみ」世帯は「自分の健康や病気」、それ以外の世帯は「収入、家計、借金」が最も多くなっている。

・　女性では、「あなた（又はあなた夫婦）と親」及び「あなた（又はあなた夫婦）と子」世帯は「収入、家計、借金」、「あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代」世帯は「家族の健康や病気、介護」、それ以外の世帯は「自分の健康や病気」が最も多くなっている。

（表ＴＰ９－２－１）悩みやストレスの原因（職業別、性・年齢別、性・家族構成別）

（%）

		該当者数	自分の健康や病気	収入、家計、借金	家族の健康や病気、介護	家族以外の人との人間関係	自分の仕事、事業などの経営	家族との人間関係	自由にできる時間がないこと	生きがいに関すること	子どもの教育	住まいや生活環境
全市		2,377	36.6	34.2	30.5	23.1	20.9	17.0	15.1	14.6	10.9	9.0
職業別	農業、林業、水産業	30	36.7	6.7	30.0	6.7	10.0	30.0	13.3	10.0	3.3	6.7
	商業、サービス業、工業	126	30.2	37.3	31.7	11.9	49.2	16.7	11.9	8.7	7.1	7.1
	自由業	40	37.5	25.0	30.0	30.0	50.0	25.0	10.0	20.0	22.5	10.0
	管理職	137	24.1	31.4	24.1	20.4	49.6	16.1	21.2	11.7	10.2	5.8
	専門・技術職	281	22.8	34.2	19.9	32.0	34.9	14.6	24.9	11.4	16.0	8.2
	事務職	253	22.9	37.2	22.1	28.1	33.6	18.6	19.4	15.4	11.1	9.9
	販売・サービス職	190	22.1	49.5	23.2	28.4	26.8	13.2	24.2	14.7	11.6	8.4
	技能・労務職	136	35.3	59.6	25.0	26.5	29.4	11.0	21.3	16.2	15.4	10.3
	パートタイマー、臨時・非常勤雇用者	290	36.9	48.6	32.8	28.6	13.4	20.3	16.2	14.5	18.3	10.3
	専業主婦、専業主夫	366	44.8	24.6	41.0	16.9	1.9	21.6	11.2	13.9	13.9	10.1
	学生	55	14.5	38.2	10.9	38.2	9.1	20.0	25.5	20.0	－	9.1
	無職	356	64.3	20.8	40.7	15.2	2.5	14.6	1.4	18.5	0.6	9.3
性・年齢別	男性	940	36.7	36.0	29.9	21.0	30.4	13.4	14.7	15.7	8.5	8.0
	10歳代	13	30.8	30.8	15.4	38.5	7.7	23.1	38.5	23.1	－	－
	20歳代	62	12.9	48.4	6.5	22.6	38.7	14.5	19.4	22.6	3.2	9.7
	30歳代	150	17.3	44.7	13.3	28.0	49.3	7.3	30.0	18.7	12.0	4.0
	40歳代	185	21.1	46.5	23.2	24.3	42.7	13.5	17.3	10.8	22.2	8.6
	50歳代	167	34.7	38.9	31.1	19.2	41.9	18.6	17.4	18.0	10.2	10.8
	60歳代	165	55.2	35.2	41.8	19.4	18.2	14.5	7.3	12.1	1.2	7.9
	70歳以上	196	60.7	13.8	45.9	13.8	3.6	11.7	1.5	16.8	－	8.2
	女性	1,279	35.7	33.7	30.3	24.7	15.0	20.1	16.3	14.2	13.6	9.5
	10歳代	17	17.6	23.5	5.9	41.2	5.9	35.3	23.5	29.4	－	5.9
	20歳代	121	15.7	52.9	15.7	32.2	23.1	9.9	22.3	15.7	8.3	9.9
	30歳代	215	20.9	45.1	19.1	25.6	21.4	15.8	29.3	14.0	27.4	8.8
	40歳代	266	28.9	41.0	25.2	30.5	24.8	22.2	22.9	12.4	30.5	12.4
	50歳代	202	34.7	35.1	41.6	24.8	14.9	26.2	11.9	11.4	9.4	8.4
	60歳代	219	44.7	26.0	39.3	22.8	9.1	26.5	6.8	18.3	1.4	10.5
	70歳以上	238	60.5	11.8	37.8	14.3	0.4	14.7	5.9	13.0	0.4	6.7
性・家族構成別	男性 一人暮らし	119	52.1	36.1	18.5	26.9	24.4	12.6	16.0	25.2	1.7	12.6
	夫婦のみ	259	45.2	28.2	41.3	15.8	22.0	9.7	11.2	14.7	1.2	8.1
	あなた（又はあなた夫婦）と親	92	28.3	42.4	27.2	21.7	38.0	18.5	12.0	26.1	3.3	8.7
	あなた（又はあなた夫婦）と子	336	30.4	37.5	26.8	21.7	37.2	13.7	19.0	10.4	17.6	6.8
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	57	22.8	43.9	24.6	29.8	33.3	21.1	15.8	7.0	12.3	7.0
	その他	31	35.5	38.7	32.3	16.1	16.1	12.9	12.9	16.1	6.5	－
	女性 一人暮らし	160	42.5	30.0	11.3	32.5	15.0	10.0	10.6	20.6	－	12.5
	夫婦のみ	281	43.1	24.2	42.0	19.9	9.3	21.4	12.1	13.9	1.8	6.4
	あなた（又はあなた夫婦）と親	135	28.9	36.3	27.4	35.6	23.0	21.5	14.8	17.8	2.2	6.7
	あなた（又はあなた夫婦）と子	489	28.8	39.7	29.4	23.5	16.4	20.2	21.5	9.8	29.7	11.2
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	89	33.7	30.3	38.2	15.7	14.6	31.5	20.2	16.9	14.6	4.5
	その他	54	46.3	42.6	31.5	25.9	18.5	18.5	13.0	16.7	5.6	13.0

（表ＴＰ９－２－１）悩みやストレスの原因（職業別、性・年齢別、性・家族構成別）続き

（%）

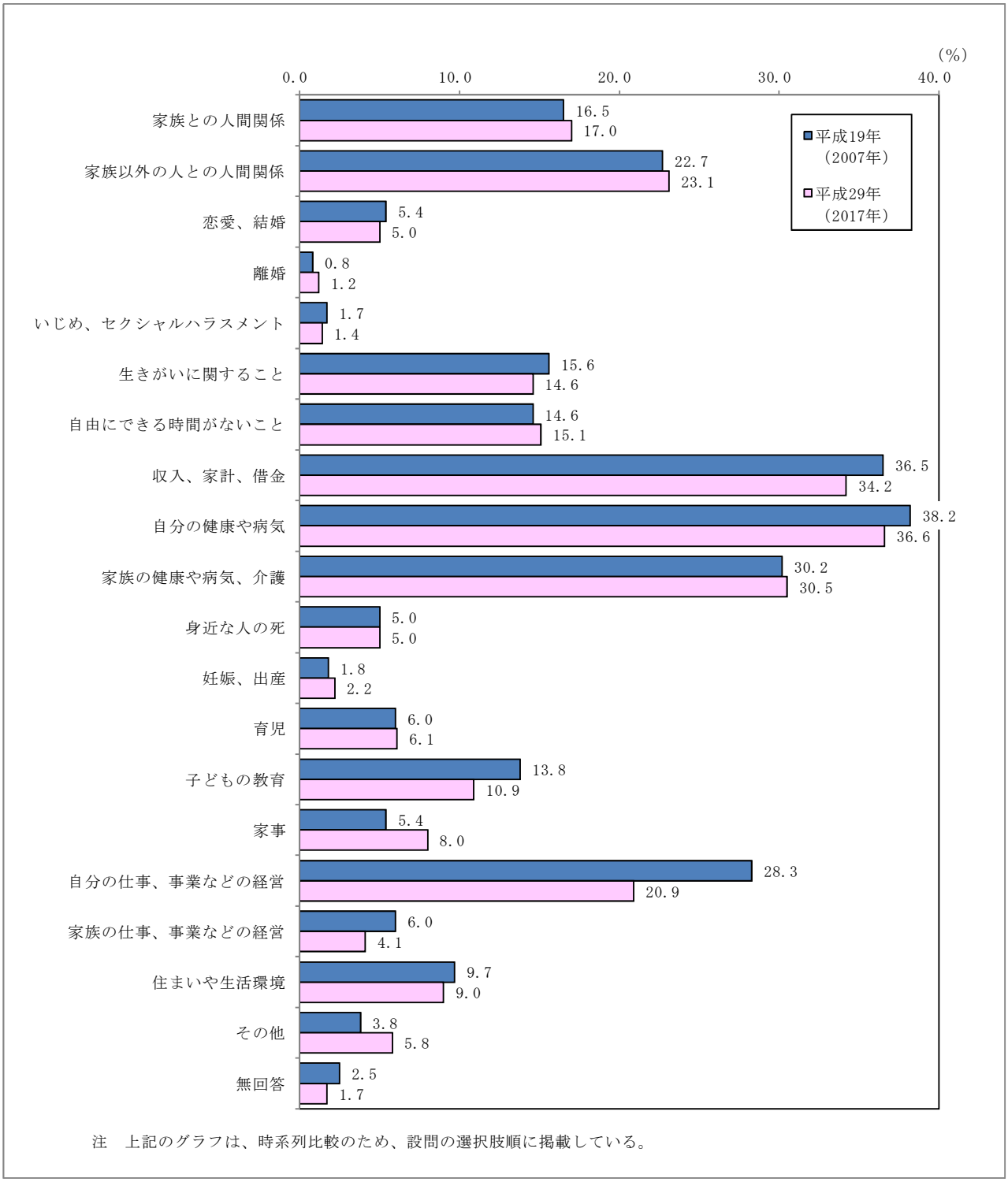
		該当者数	家事	育児	恋愛、結婚	身近な人の死	家族の仕事、事業などの経営	妊娠、出産	いじめ、セクシャルハラスメント	離婚	その他	無回答
全市		2,377	8.0	6.1	5.0	5.0	4.1	2.2	1.4	1.2	5.8	1.7
職業別	農業、林業、水産業	30	－	－	－	6.7	13.3	3.3	－	－	3.3	10.0
	商業、サービス業、工業	126	3.2	0.8	0.8	6.3	11.1	－	－	－	6.3	0.8
	自由業	40	7.5	5.0	7.5	15.0	15.0	2.5	2.5	2.5	5.0	2.5
	管理職	137	2.9	2.9	0.7	1.5	4.4	0.7	－	0.7	5.1	0.7
	専門・技術職	281	10.3	7.8	12.1	1.4	2.8	3.9	0.7	1.8	7.8	0.7
	事務職	253	9.5	8.3	11.5	2.0	3.2	3.6	2.4	0.8	5.1	－
	販売・サービス職	190	5.8	6.8	6.3	1.6	1.6	3.2	1.6	1.6	3.2	1.6
	技能・労務職	136	6.6	5.9	5.1	1.5	2.9	0.7	3.7	2.2	4.4	－
	パートタイマー、臨時・非常勤雇用者	290	12.1	6.2	2.4	7.2	5.2	2.1	1.7	1.7	3.4	1.7
	専業主婦、専業主夫	366	13.9	14.8	1.1	7.4	4.4	2.7	1.1	0.5	6.6	1.9
	学生	55	1.8	－	18.2	1.8	3.6	－	3.6	－	21.8	－
	無職	356	3.4	0.6	2.2	6.2	2.0	1.1	1.1	0.8	6.2	3.4
性・年齢別	男性	940	3.3	3.0	4.8	2.8	3.6	0.5	1.2	1.0	5.9	1.9
	10歳代	13	7.7	－	15.4	15.4	－	－	－	－	46.2	－
	20歳代	62	1.6	1.6	16.1	－	1.6	－	1.6	－	11.3	－
	30歳代	150	5.3	8.7	10.7	1.3	4.0	3.3	2.0	1.3	4.0	0.7
	40歳代	185	4.9	7.0	4.9	1.6	3.2	－	1.6	0.5	3.8	0.5
	50歳代	167	1.8	－	3.0	1.2	2.4	－	1.2	1.2	6.6	1.2
	60歳代	165	4.2	－	1.8	2.4	4.2	－	0.6	1.2	4.8	1.8
	70歳以上	196	1.0	0.5	－	6.6	5.1	－	0.5	1.0	5.1	5.1
	女性	1,279	11.5	9.1	5.5	6.7	4.8	3.8	1.7	1.3	5.9	1.4
	10歳代	17	－	5.9	17.6	5.9	－	－	5.9	－	17.6	－
	20歳代	121	14.9	14.9	21.5	4.1	5.0	12.4	2.5	0.8	5.0	0.8
	30歳代	215	21.9	28.4	12.6	3.7	6.5	11.6	0.9	1.4	6.0	0.5
	40歳代	266	15.8	12.8	3.0	4.5	6.4	2.3	1.9	1.9	3.4	0.8
	50歳代	202	6.4	0.5	2.0	3.5	5.9	－	1.5	1.0	8.9	－
	60歳代	219	3.7	－	0.5	12.8	3.2	0.5	2.3	1.8	5.9	0.9
	70歳以上	238	8.0	0.4	0.4	10.5	2.1	0.4	1.3	0.4	5.5	5.0
性・家族構成別	男性 一人暮らし	119	5.0	1.7	14.3	5.9	2.5	－	3.4	3.4	5.0	3.4
	夫婦のみ	259	1.5	0.8	－	2.3	3.5	1.5	0.4	－	5.4	2.3
	あなた（又はあなた夫婦）と親	92	2.2	－	16.3	4.3	4.3	－	3.3	－	8.7	1.1
	あなた（又はあなた夫婦）と子	336	5.1	6.0	0.6	1.2	5.1	0.3	0.9	0.6	4.2	0.9
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	57	－	3.5	5.3	1.8	1.8	－	－	－	8.8	－
	その他	31	3.2	3.2	12.9	9.7	－	－	－	6.5	22.6	－
	女性 一人暮らし	160	3.8	－	13.8	11.9	1.9	3.1	1.9	1.3	7.5	1.9
	夫婦のみ	281	11.0	1.1	1.1	5.7	4.6	6.4	1.1	0.4	5.0	2.1
	あなた（又はあなた夫婦）と親	135	0.7	0.7	20.7	4.4	3.0	3.7	1.5	0.7	3.7	1.5
	あなた（又はあなた夫婦）と子	489	18.4	20.9	1.0	5.1	6.5	3.3	1.2	1.8	5.5	0.2
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	89	12.4	3.4	2.2	5.6	4.5	－	1.1	1.1	5.6	3.4
	その他	54	7.4	3.7	14.8	9.3	3.7	3.7	9.3	1.9	11.1	1.9

【時系列比較】

悩みやストレスの原因を時系列に見たのが（図ＴＰ９－２－１）である。

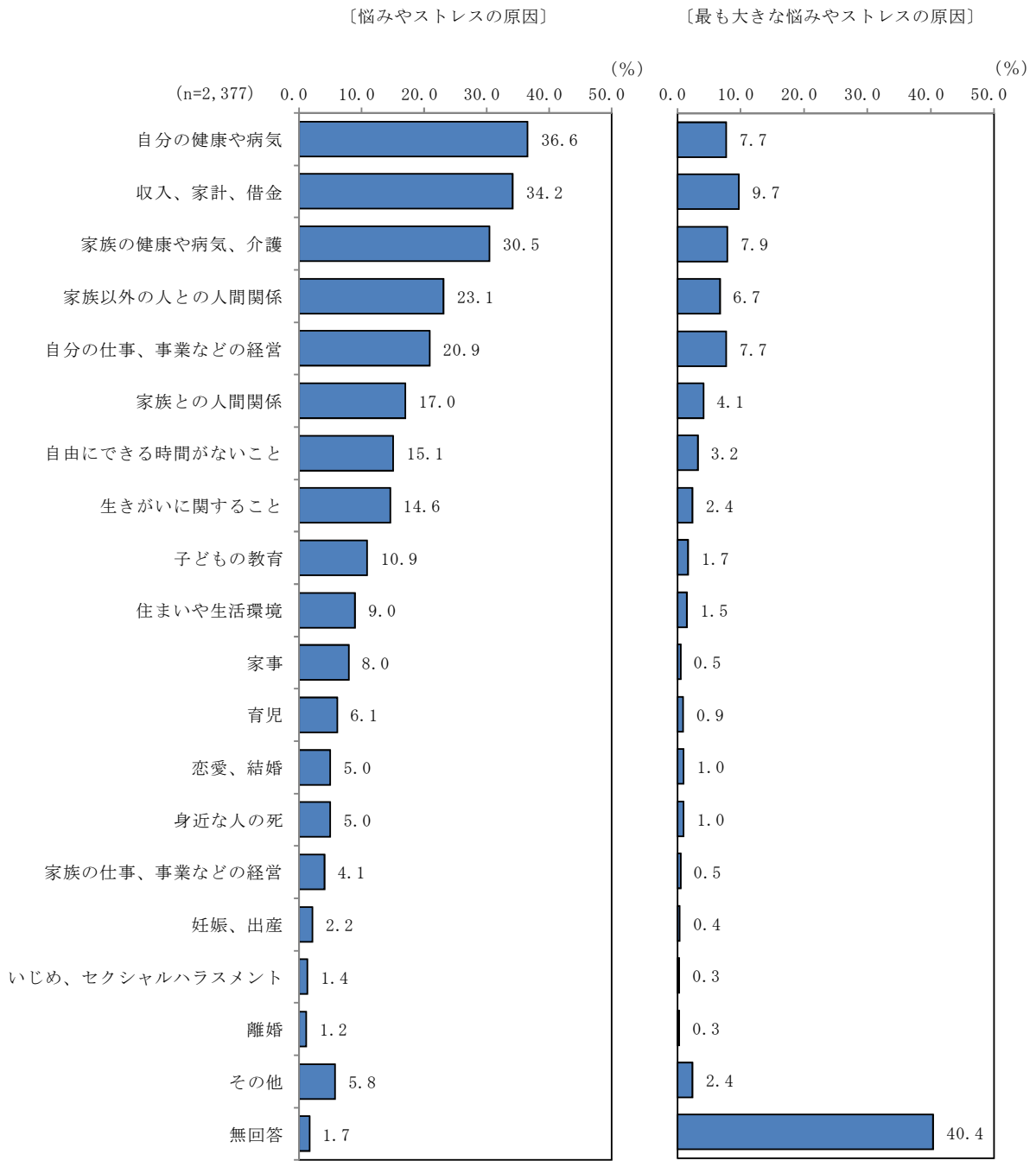
平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「自分の仕事、事業などの経営」は 7.4 ポイント減少しているが、その他に大きな変化は見られない。

（図ＴＰ９－２－１）悩みやストレスの原因（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

⑶　最も大きな悩みやストレスの原因



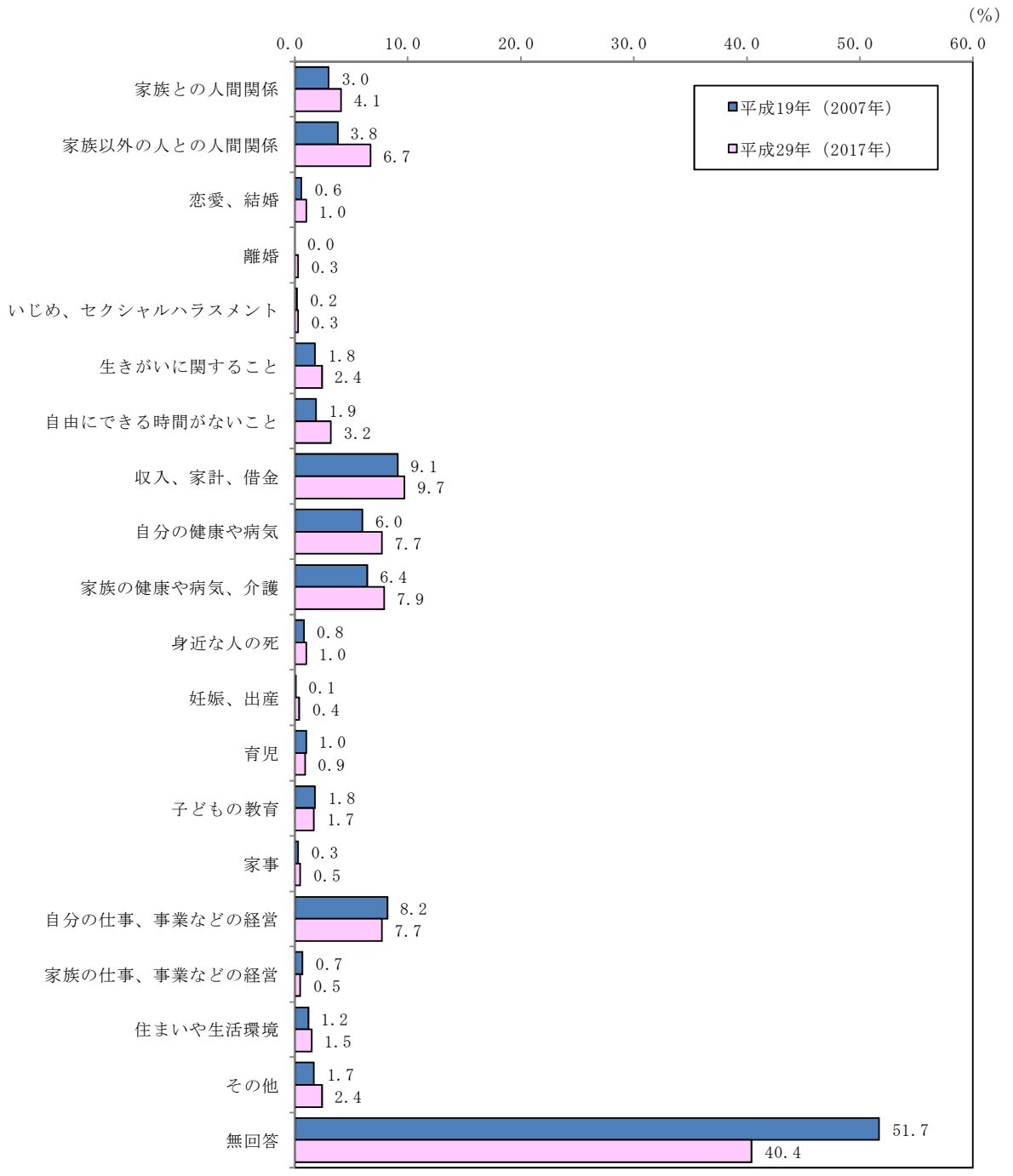
最も大きな悩みやストレスの原因は、「収入、家計、借金」(9.7%)、「家族の健康や病気、介護」(7.9%)、「自分の健康や病気」及び「自分の仕事、事業などの経営」(7.7%で同率)、「家族以外の人との人間関係」(6.7%)の順になっている。また、無回答が約4割(40.4%)となっている。

【時系列比較】

最も大きな悩みやストレスの原因を時系列に見たのが（図ＴＰ９－３－１）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて無回答は 11.3 ポイント減少しているが、その他に大きな変化は見られない。

（表ＴＰ９－３－１）最も大きな悩みやストレスの原因（時系列）

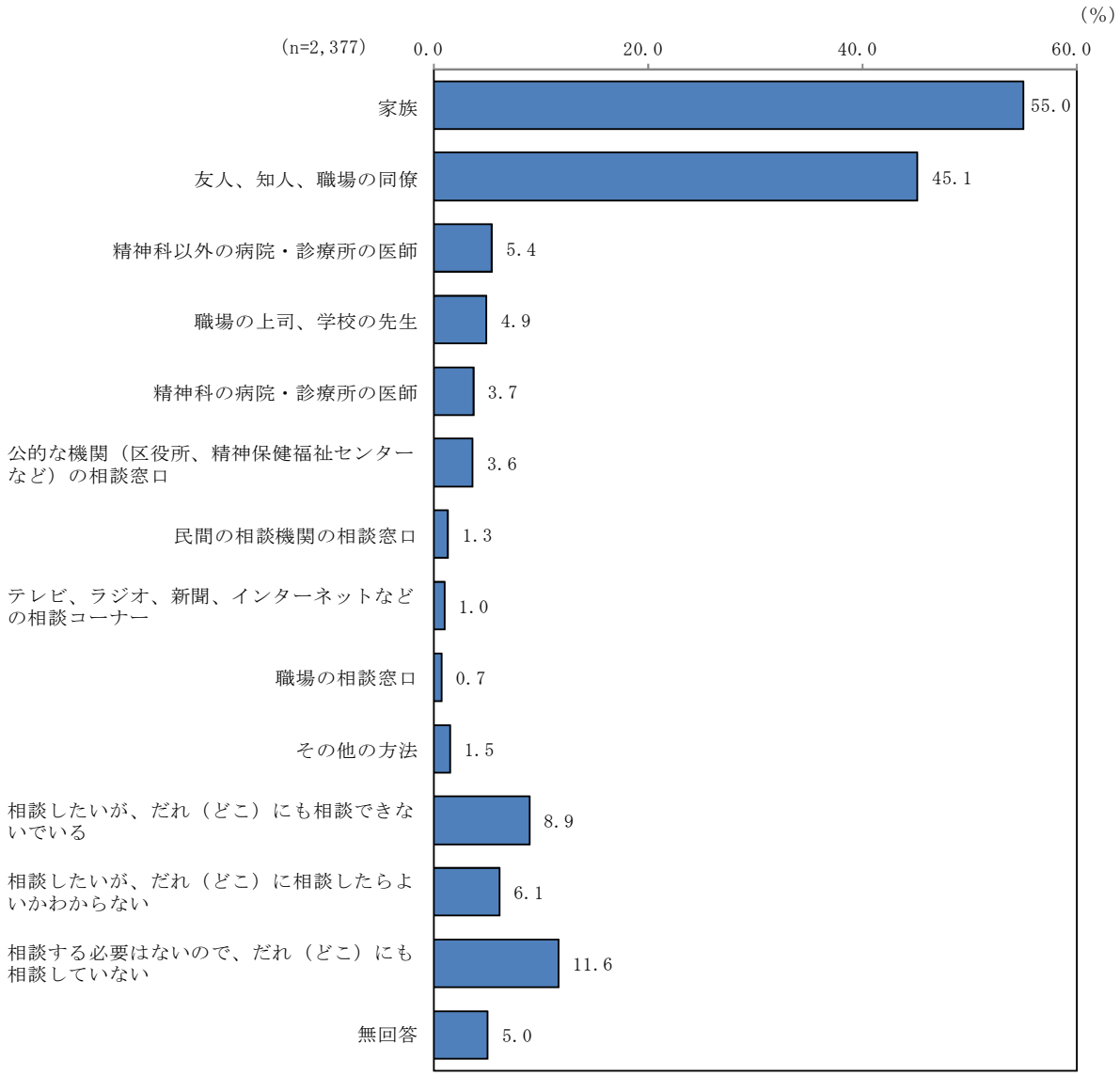


注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

⑷ 悩みやストレスの相談先

〔問23で、「ある」と答えた人に〕

付問2　あなたは、悩みやストレスをだれ（どこ）に相談していますか。次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。また、その中で特に気になる悩みやストレスについて、だれ（どこ）に相談していますか、あてはまる番号を1つだけ選び、（　　）の中に記入してください。



日常生活の中で悩みやストレスが「ある」と答えた人にその相談先を尋ねたところ、「家族」が55.0%と最も多く、次いで「友人、知人、職場の同僚」が45.1%であり、この二つが特に多くなっている。一方で「相談したいが、だれ（どこ）にも相談できないでいる」が8.9%、「相談したいが、だれ（どこ）に相談したらよいかわからない」が6.1%、「相談する必要はないので、だれ（どこ）にも相談していない」が11.6%となっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ９−４−１）、

〔職業別〕

・　「学生」は「友人、知人、職場の同僚」、それ以外は「家族」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男女ともに「家族」が最も多く、次いで「友人、知人、職場の同僚」の順になっている。

・　男性では、10 歳代は「友人、知人、職場の同僚」、20 歳代以上は「家族」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代、50 歳代及び 60 歳代は「友人、知人、職場の同僚」、それ以外の年代は「家族」が最も多くなっている。

〔性・家族構成別〕

・　男性では、「一人暮らし」及び「その他」世帯は「友人、知人、職場の同僚」、それ以外の世帯は「家族」が最も多くなっている。

・　女性では、「一人暮らし」、「あなた（又はあなた夫婦）と親」及び「その他」世帯は「友人、知人、職場の同僚」、それ以外の世帯は「家族」が最も多くなっている。

〔悩みやストレスの原因別〕

・　「家族との人間関係」、「恋愛、結婚」、「離婚」、「いじめ、セクシャルハラスメント」及び「自由にできる時間がないこと」の相談先は「友人、知人、職場の同僚」、「家事」の相談先は「家族」及び「友人、知人、職場の同僚」（同率）、それ以外の悩みやストレスの相談先は「家族」が最も多くなっている。

（表ＴＰ９－４－１）悩みやストレスの相談先（職業別、性・年齢別、性・家族構成別、悩みやストレスの原因別）

（%）

		該当者数	家族	友人、知人、職場の同僚	精神科以外の病院・診療所の医師	職場の上司、学校の先生	精神科の病院・診療所の医師	公的な機関（区役所、精神保健福祉センターなど）の相談窓口	民間の相談機関の相談窓口	テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなどの相談コーナー	職場の相談窓口	その他の方法	相談したいが、だれ（どこ）にも相談できないでいる	相談したいが、だれ（どこ）に相談したらよいかわからない	相談する必要はないので、だれ（どこ）にも相談していない	無回答
全市		2,377	55.0	45.1	5.4	4.9	3.7	3.6	1.3	1.0	0.7	1.5	8.9	6.1	11.6	5.0
職業別	農業、林業、水産業	30	56.7	26.7	3.3	－	－	3.3	－	－	－	－	13.3	3.3	10.0	13.3
	商業、サービス業、工業	126	62.7	42.1	4.0	3.2	3.2	－	－	0.8	－	－	9.5	5.6	12.7	6.3
	自由業	40	52.5	47.5	12.5	5.0	－	7.5	5.0	2.5	－	5.0	7.5	10.0	17.5	2.5
	管理職	137	55.5	38.7	3.6	9.5	2.2	3.6	－	－	2.2	－	8.0	4.4	18.2	3.6
	専門・技術職	281	57.3	55.5	0.7	8.2	2.1	1.4	0.7	0.4	1.1	0.7	8.2	4.6	12.1	3.6
	事務職	253	57.7	56.9	4.3	7.9	2.8	0.4	1.2	－	2.4	0.8	9.5	7.5	9.1	2.4
	販売・サービス職	190	55.3	54.7	1.6	9.5	1.6	2.1	0.5	0.5	0.5	1.1	8.4	4.7	8.4	5.3
	技能・労務職	136	51.5	41.2	4.4	10.3	5.9	1.5	0.7	0.7	1.5	－	13.2	7.4	14.7	3.7
	パートタイマー、臨時・非常勤雇用者	290	57.6	53.1	2.4	4.1	3.1	2.4	0.7	1.0	－	2.1	11.7	7.6	11.4	2.4
	専業主婦、専業主夫	366	63.7	46.7	6.0	1.4	4.6	5.5	1.9	1.6	－	3.0	5.5	3.6	6.6	6.0
	学生	55	47.3	61.8	－	5.5	1.8	3.6	－	－	－	－	18.2	7.3	10.9	5.5
	無職	356	45.5	23.9	15.2	0.3	6.7	8.1	2.8	1.7	0.3	2.5	8.7	7.9	15.7	7.0
性・年齢別	男性	940	52.3	34.9	7.0	6.5	3.7	3.8	0.6	0.7	1.3	1.1	9.1	7.0	16.7	5.9
	10歳代	13	46.2	61.5	－	15.4	7.7	－	－	－	－	－	15.4	7.7	15.4	7.7
	20歳代	62	58.1	45.2	1.6	6.5	3.2	－	－	－	－	－	11.3	4.8	16.1	3.2
	30歳代	150	57.3	47.3	1.3	12.0	3.3	1.3	0.7	－	2.0	0.7	7.3	6.7	14.0	2.7
	40歳代	185	56.8	41.6	1.6	11.9	2.7	－	－	1.1	1.1	1.1	10.8	9.2	14.6	4.3
	50歳代	167	52.7	35.9	5.4	7.2	5.4	3.6	1.2	1.2	3.6	0.6	15.0	6.6	17.4	4.2
	60歳代	165	45.5	24.8	9.1	1.2	2.4	4.2	0.6	0.6	0.6	0.6	9.1	6.1	24.2	6.1
	70歳以上	196	48.5	21.9	18.4	0.5	4.6	10.7	1.0	1.0	－	2.6	3.1	7.1	14.3	11.2
	女性	1,279	58.1	54.4	4.5	4.1	3.4	3.4	1.6	1.2	0.4	1.7	8.6	5.2	7.7	4.0
	10歳代	17	47.1	64.7	－	－	5.9	－	－	－	－	－	17.6	－	5.9	5.9
	20歳代	121	70.2	63.6	2.5	8.3	2.5	1.7	－	1.7	0.8	－	9.1	6.6	6.6	2.5
	30歳代	215	69.8	68.8	1.9	6.5	2.3	2.3	1.4	0.5	－	1.9	8.8	3.7	5.1	1.4
	40歳代	266	62.4	59.8	4.5	5.6	3.4	3.4	0.8	1.9	0.8	1.1	12.0	5.6	6.4	1.9
	50歳代	202	49.0	55.9	2.5	3.5	5.9	4.0	2.0	0.5	0.5	3.0	8.9	8.4	8.4	4.5
	60歳代	219	49.8	53.9	3.2	1.8	3.7	5.9	4.1	0.5	0.5	1.8	5.5	4.6	9.1	5.5
	70歳以上	238	52.5	29.0	11.3	0.8	2.5	2.5	0.8	2.1	－	2.1	6.3	3.4	10.1	7.6

（表ＴＰ９－４－１）悩みやストレスの相談先（職業別、性・年齢別、性・家族構成別、悩みやストレスの原因別）続き

（%）

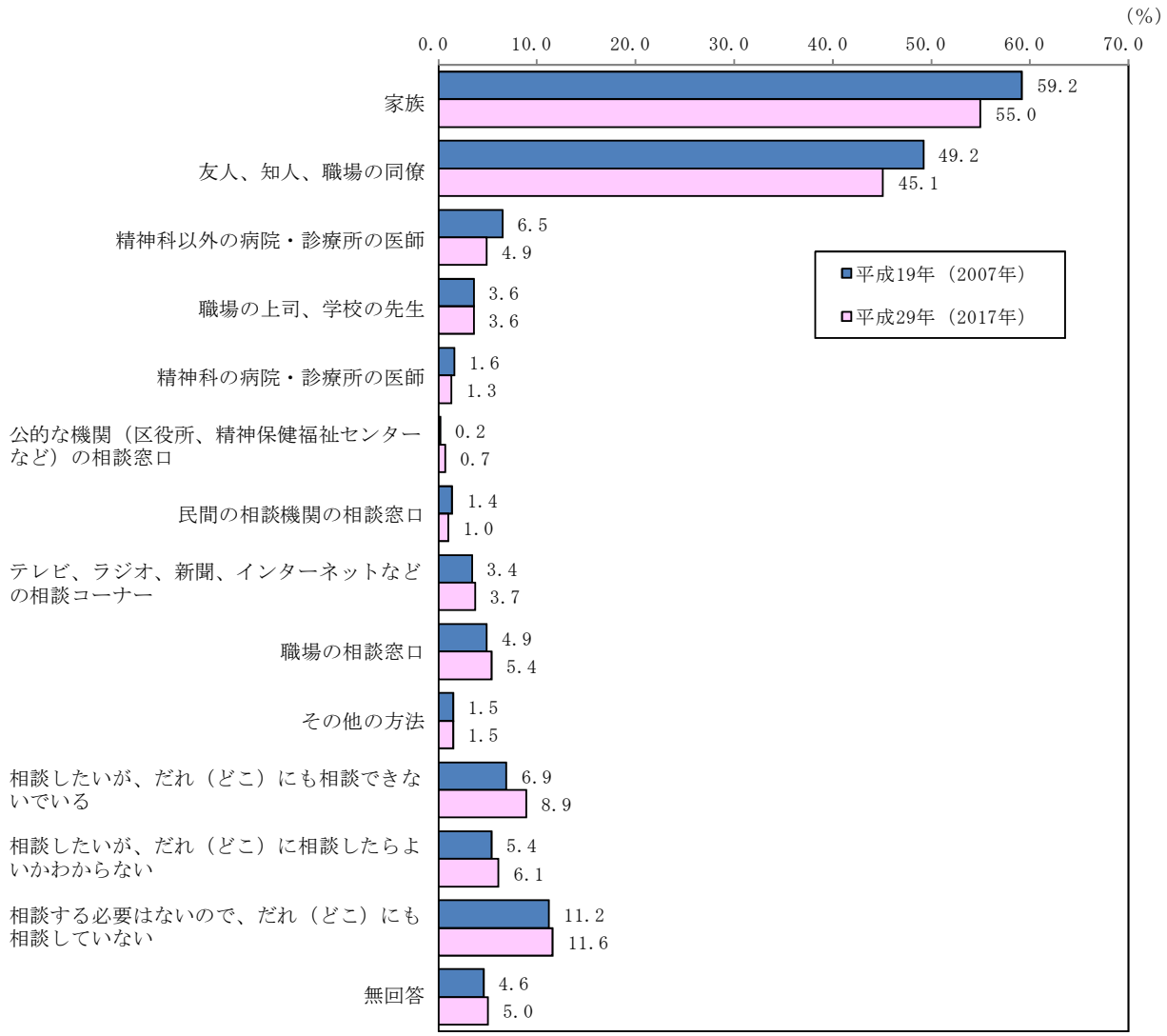
		該当者数	家族	友人、知人、職場の同僚	精神科以外の病院・診療所の医師	職場の上司、学校の先生	精神科の病院・診療所の医師	公的な機関（区役所、精神保健福祉センターなど）の相談窓口	民間の相談機関の相談窓口	テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなどの相談コーナー	職場の相談窓口	その他の方法	相談したいが、だれ（どこ）にも相談できないでいる	相談したいが、だれ（どこ）に相談したらよいかわからない	相談する必要はないので、だれ（どこ）にも相談していない	無回答
	全市	2,377	55.0	45.1	5.4	4.9	3.7	3.6	1.3	1.0	0.7	1.5	8.9	6.1	11.6	5.0
性・家族構成別	男性 一人暮らし	119	33.6	45.4	10.9	5.0	8.4	3.4	－	1.7	1.7	－	15.1	7.6	15.1	5.0
	夫婦のみ	259	57.9	27.0	11.2	3.1	1.5	6.9	0.4	－	0.8	0.8	3.1	6.9	18.5	6.9
	あなた（又はあなた夫婦）と親	92	43.5	33.7	2.2	4.3	－	－	－	1.1	－	1.1	13.0	10.9	21.7	8.7
	あなた（又はあなた夫婦）と子	336	60.4	37.2	4.2	9.2	4.5	2.4	0.6	0.6	1.8	1.5	8.6	5.7	14.9	6.0
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	57	43.9	33.3	1.8	8.8	3.5	7.0	－	3.5	3.5	1.8	8.8	3.5	21.1	3.5
	その他	31	41.9	48.4	6.5	12.9	6.5	－	3.2	－	－	－	25.8	3.2	12.9	－
	女性 一人暮らし	160	42.5	57.5	6.3	3.8	4.4	5.6	5.0	－	－	3.1	8.1	6.3	10.6	2.5
	夫婦のみ	281	55.5	44.8	6.0	2.1	2.1	3.2	1.1	2.1	0.7	1.1	7.8	4.3	8.5	6.4
	あなた（又はあなた夫婦）と親	135	49.6	57.0	5.2	4.4	4.4	2.2	－	－	0.7	1.5	10.4	5.2	10.4	5.9
	あなた（又はあなた夫婦）と子	489	69.5	60.1	2.5	4.7	2.7	3.7	1.2	1.2	0.2	1.0	8.0	4.7	5.7	2.2
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	89	61.8	56.2	1.1	9.0	3.4	1.1	－	1.1	－	4.5	5.6	5.6	5.6	4.5
	その他	54	42.6	55.6	5.6	1.9	11.1	1.9	3.7	3.7	1.9	1.9	14.8	14.8	11.1	1.9
悩みやストレスの原因別	家族との人間関係	403	46.9	51.9	2.0	3.5	6.5	3.7	1.2	1.7	0.5	2.0	14.6	9.7	12.2	4.7
	家族以外の人との人間関係	548	57.1	55.8	3.6	6.2	4.6	2.6	0.7	0.9	0.7	1.1	12.2	8.8	9.5	3.3
	恋愛、結婚	120	45.8	61.7	4.2	4.2	4.2	2.5	1.7	1.7	0.8	0.8	20.0	10.8	9.2	1.7
	離婚	29	37.9	51.7	－	6.9	6.9	－	10.3	－	－	6.9	13.8	10.3	6.9	6.9
	いじめ、セクシャルハラスメント	34	47.1	50.0	5.9	2.9	8.8	8.8	－	－	8.8	5.9	26.5	14.7	2.9	2.9
	生きがいに関すること	348	52.0	46.6	7.5	5.2	7.8	4.3	2.0	1.4	1.4	1.4	17.0	13.5	12.1	2.3
	自由にできる時間がないこと	358	57.8	59.5	1.7	8.1	0.8	2.5	0.8	0.6	0.8	2.0	9.5	5.6	10.6	3.4
	収入、家計、借金	814	57.4	48.3	3.9	5.4	4.2	3.7	1.2	0.7	1.1	1.2	12.8	10.3	11.2	3.6
	自分の健康や病気	870	56.1	39.1	11.8	2.9	5.4	4.5	1.7	1.4	0.8	1.5	10.9	6.8	10.3	6.9
	家族の健康や病気、介護	724	56.5	43.0	7.7	3.6	5.0	5.8	1.2	1.4	0.3	2.1	9.9	8.3	10.5	6.4
	身近な人の死	120	54.2	47.5	8.3	1.7	10.0	5.0	4.2	3.3	0.8	3.3	13.3	6.7	10.0	4.2
	妊娠、出産	53	81.1	69.8	3.8	5.7	－	－	－	1.9	－	－	3.8	5.7	9.4	3.8
	育児	146	81.5	66.4	1.4	11.0	2.7	4.1	2.1	1.4	－	2.7	8.2	2.7	1.4	2.1
	子どもの教育	258	72.5	60.1	2.3	12.0	1.9	4.7	1.6	1.9	0.4	1.2	11.2	6.2	5.8	3.1
	家事	189	64.6	64.6	2.1	9.5	2.1	2.1	2.1	2.1	0.5	2.1	10.6	5.3	10.6	4.2
	自分の仕事、事業などの経営	496	60.5	54.4	2.0	9.9	2.4	0.6	0.8	0.4	1.2	0.2	10.7	7.7	13.1	3.0
	家族の仕事、事業などの経営	97	58.8	48.5	3.1	5.2	－	4.1	1.0	－	－	4.1	20.6	8.2	11.3	3.1
	住まいや生活環境	214	56.5	54.7	7.0	5.6	5.6	7.0	3.3	1.9	0.9	1.9	13.1	8.4	8.9	3.3
	その他	138	51.4	43.5	8.0	3.6	3.6	5.1	2.9	1.4	1.4	4.3	11.6	8.0	10.1	5.8

【時系列比較】

悩みやストレスの相談先を時系列に見たのが（図ＴＰ９－４－１）である。

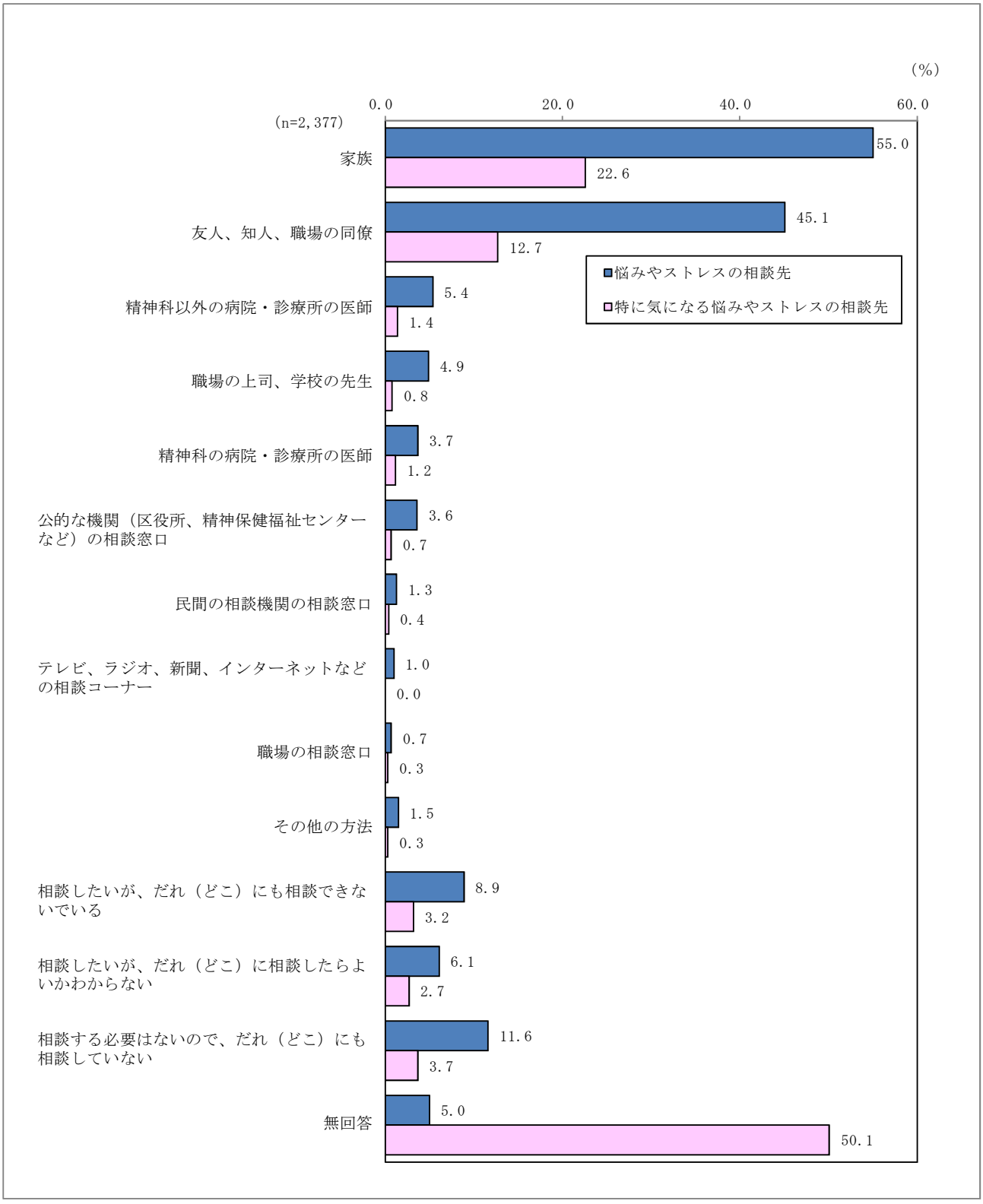
平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「家族」は 4.2 ポイント、「友人、知人、職場の同僚」は 4.1 ポイント減少しているが、全体的に大きな変化は見られない。

（図ＴＰ９－４－１）悩みやストレスの相談先（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

⑸　特に気になる悩みやストレスの相談先



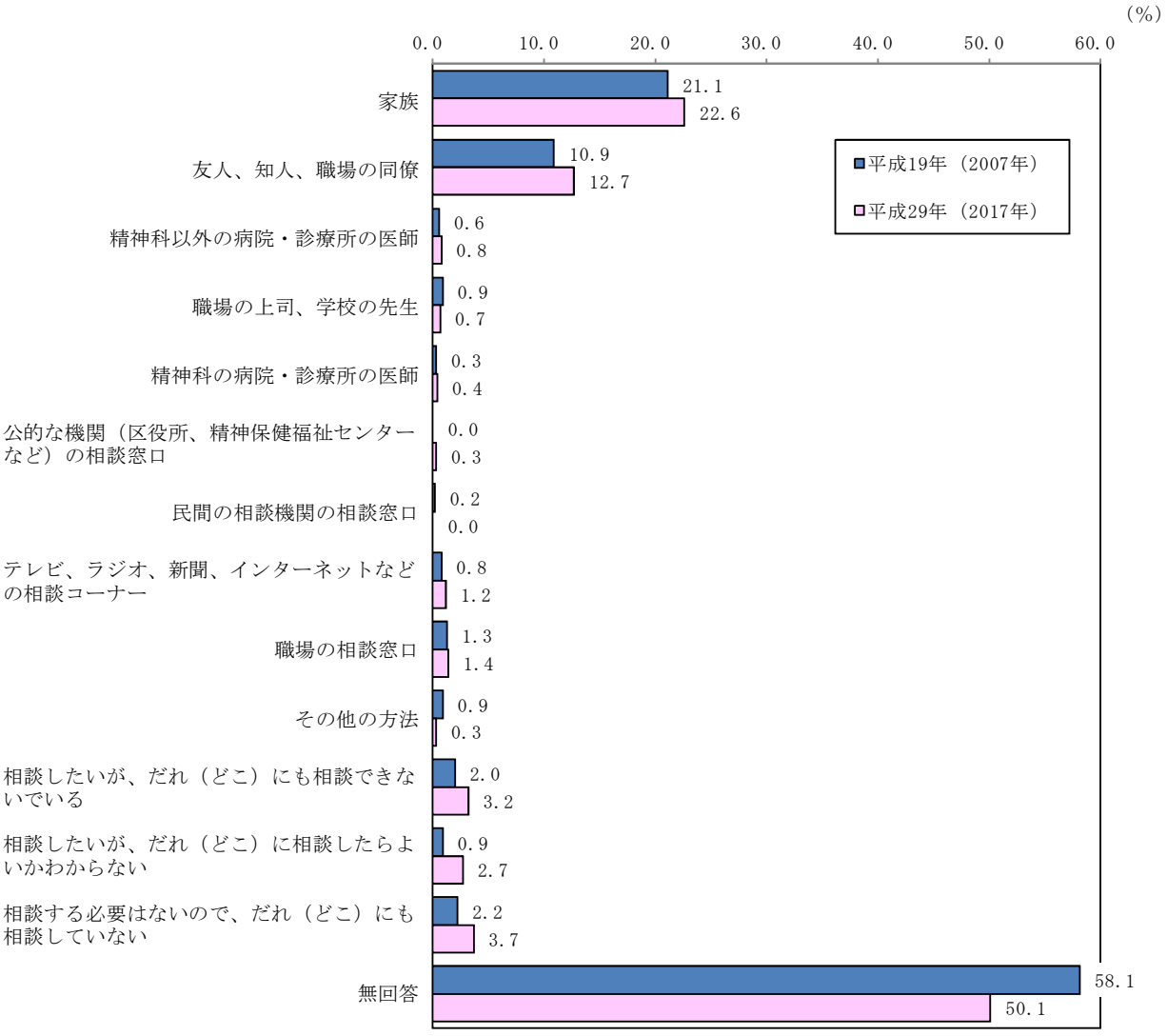
特に気になる悩みやストレスの相談先は「家族」が 22.6%と最も多く、次いで「友人、知人、職場の同僚」（12.7%）の順になっている。また、無回答が約半数（50.1%）となっている。

【時系列比較】

特に気になる悩みやストレスの相談先を時系列に見たのが（図ＴＰ９－５－１）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて無回答が 8.0 ポイント減少しているが、その他に大きな変化は見られない。

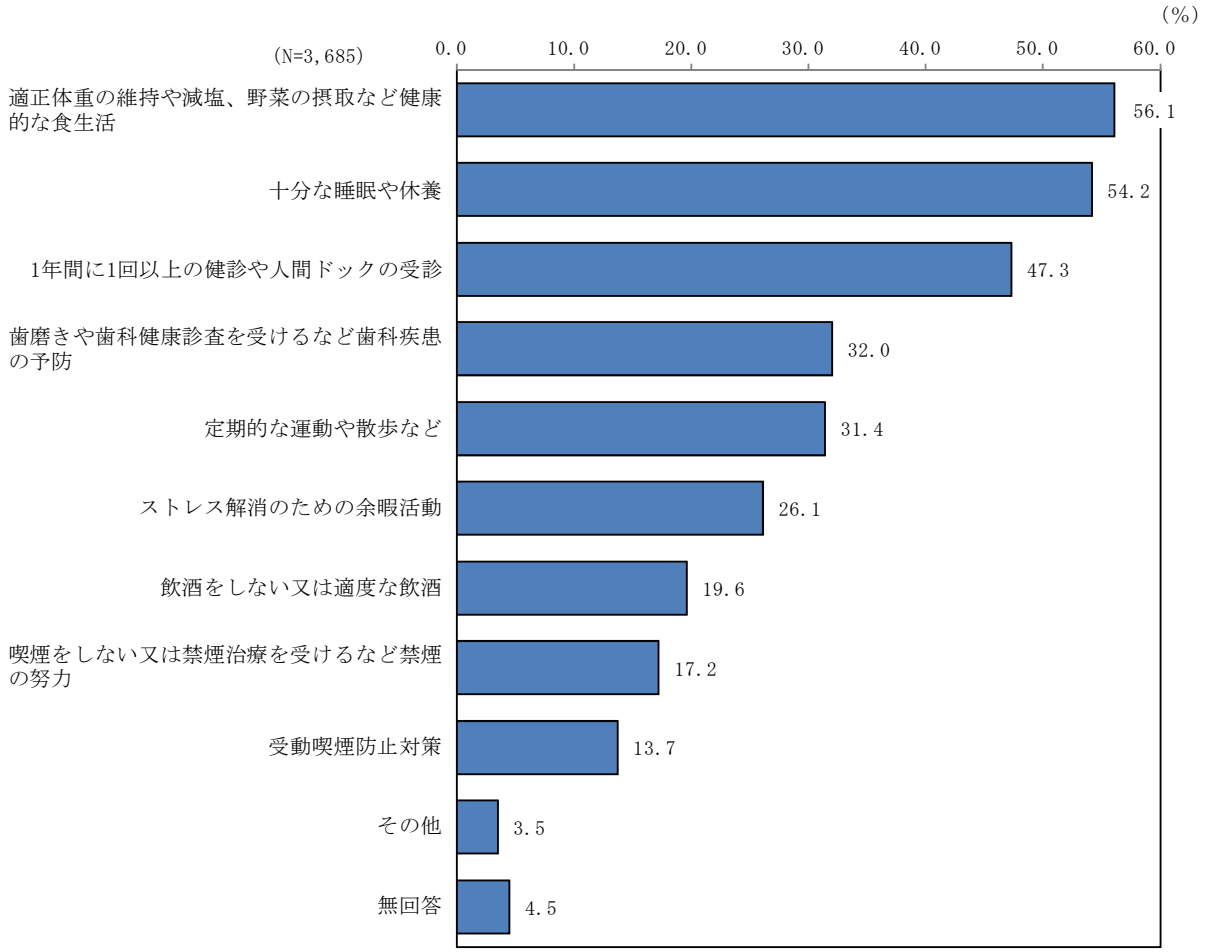
（図ＴＰ９－５－１）特に気になる悩みやストレスの相談先（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

１０　健康づくり

問24　あなたは、健康づくりのために普段どのようなことに気を付けていますか。次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



健康づくりのために普段どのようなことに気を付けているかを尋ねたところ、「適正体重の維持や減塩、野菜の摂取など健康的な食生活」が 56.1%と最も多く、次いで「十分な睡眠や休養」(54.2%)、「1 年間に 1 回以上の健診や人間ドックの受診」(47.3%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１０−１−１)、

〔性・年齢別〕

- 男性は「十分な睡眠や休養」が最も多く、次いで「適正体重の維持や減塩、野菜の摂取など健康的な食生活」の順になっており、女性は「適正体重の維持や減塩、野菜の摂取など健康的な食生活」が最も多く、次いで「十分な睡眠や休養」の順になっている。
- 男性では、40 歳代及び 50 歳代は「1 年間に 1 回以上の健診や人間ドックの受診」、70 歳以上は「適正体重の維持や減塩、野菜の摂取など健康的な食生活」、それ以外の年代は「十分な睡眠や休養」が最も多くなっている。
- 女性では、10 歳代から 40 歳代までは「十分な睡眠や休養」、50 歳代以上は「適正体重の維持や減塩、野菜の摂取など健康的な食生活」が最も多くなっている。

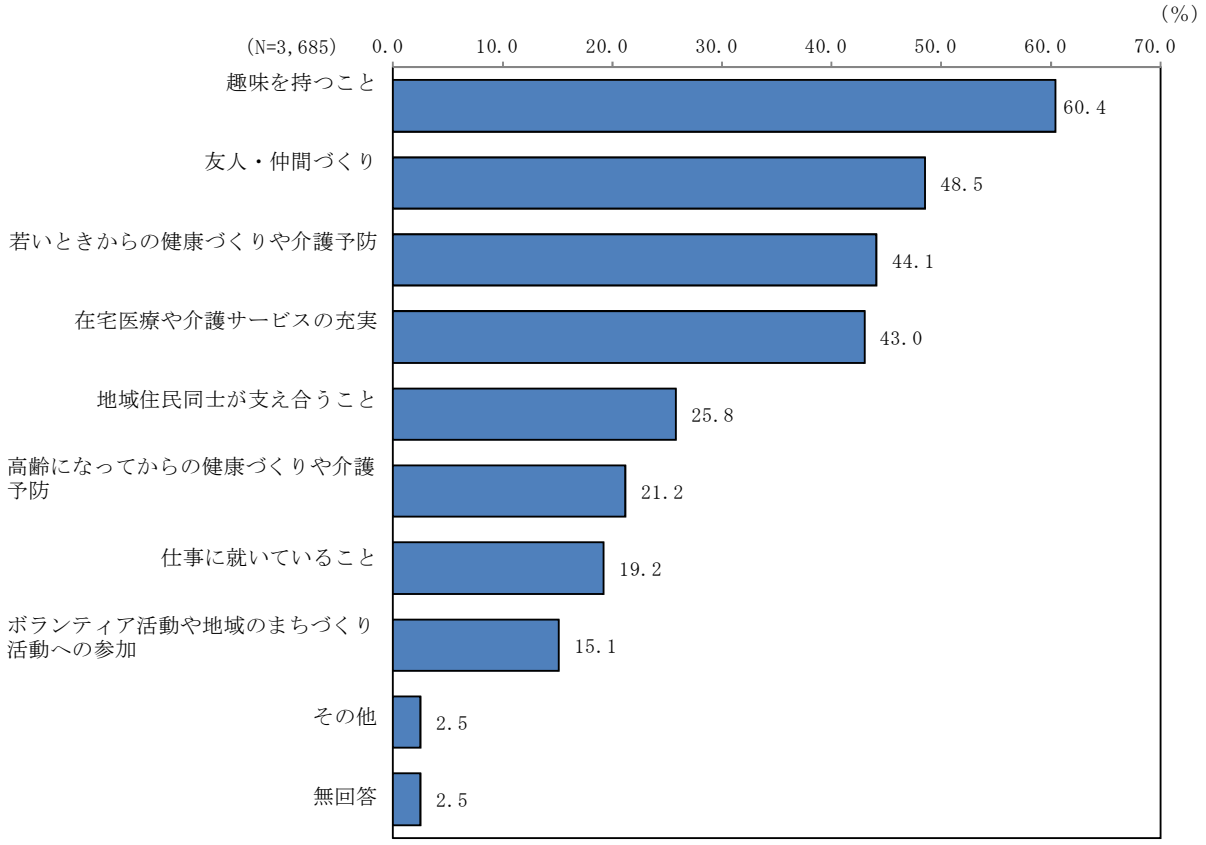
（表ＴＰ１０－１－１）健康づくり（性・年齢別）

（%）

		総数	適正体重の維持や減塩、野菜の摂取など健康的な食生活	十分な睡眠や休養	1年間に1回以上の健診や人間ドックの受診	歯磨きや歯科健康診査を受けるなど歯科疾患の予防	定期的な運動や散歩など	ストレス解消のための余暇活動	飲酒をしない又は適度な飲酒	喫煙をしない又は禁煙治療を受けるなど禁煙の努力	受動喫煙防止対策	その他	無回答
全市		3,685	56.1	54.2	47.3	32.0	31.4	26.1	19.6	17.2	13.7	3.5	4.5
性・年齢別	男性	1,497	52.4	53.2	51.0	26.5	34.8	24.2	23.6	20.4	11.8	3.2	4.2
	10歳代	17	47.1	52.9	11.8	17.6	35.3	29.4	5.9	11.8	11.8	－	5.9
	20歳代	99	39.4	65.7	20.2	24.2	23.2	36.4	24.2	30.3	10.1	2.0	3.0
	30歳代	207	39.6	48.8	40.6	15.5	18.4	27.1	20.3	19.8	10.6	4.8	3.9
	40歳代	266	43.6	49.2	52.6	22.6	25.9	26.7	18.8	17.7	13.2	4.5	2.6
	50歳代	226	57.1	50.0	63.7	25.7	30.1	27.0	21.7	19.9	12.4	3.5	2.2
	60歳代	308	55.2	55.5	52.6	28.6	41.2	19.2	26.0	19.2	11.7	1.9	4.9
	70歳以上	371	64.7	55.5	56.1	35.6	51.2	20.2	28.8	21.3	11.3	2.7	6.5
	女性	1,926	59.0	55.5	45.4	37.3	28.0	27.8	17.0	15.0	15.6	3.6	4.4
	10歳代	28	39.3	53.6	7.1	25.0	17.9	21.4	17.9	14.3	17.9	3.6	10.7
	20歳代	157	42.0	58.0	22.9	27.4	20.4	40.8	24.2	26.8	17.8	1.9	2.5
	30歳代	283	48.4	62.9	36.0	34.3	12.4	31.1	21.2	20.1	18.4	2.8	3.5
	40歳代	361	54.0	56.5	48.2	32.4	18.6	23.0	21.6	18.6	15.8	3.3	2.8
	50歳代	308	59.1	49.0	55.8	34.1	21.8	29.2	20.1	17.2	17.2	3.9	5.2
	60歳代	354	70.6	53.7	49.2	41.0	40.7	27.1	12.4	10.2	13.6	3.7	3.7
	70歳以上	434	68.2	55.1	49.1	47.2	43.8	24.9	9.4	6.7	13.4	4.8	6.7

１１　地域包括ケアの推進

問25　あなたは、高齢者ができる限り住み慣れた地域で、在宅のまま人生の最期まで安心して暮らし続けるためには、どのようなことが重要だと思いますか。次のうちから選び、番号に3つまで○を付けてください。



高齢者ができる限り住み慣れた地域で、在宅のまま人生の最期まで安心して暮らし続けるために重要だと思うことを尋ねたところ、「趣味を持つこと」が 60.4%と最も多く、次いで「友人・仲間づくり」(48.5%)、「若いときからの健康づくりや介護予防」(44.1%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１１-１-１)、

〔地域別〕

・　全ての区で「趣味を持つこと」が最も多く、次いで東区及び南区は「若いときからの健康づくりや介護予防」、それ以外の地域は「友人・仲間づくり」の順になっている。

〔性・年齢別〕

・　男女とも「趣味を持つこと」が最も多く、次いで「友人・仲間づくり」の順になっている。

・　男性では、10 歳代は「友人・仲間づくり」、それ以外の年代は「趣味を持つこと」が最も多くなっており、女性では、40 歳代は「友人・仲間づくり」、それ以外の年代は「趣味を持つこと」が最も多くなっている。

〔世帯の家族類型別〕

・　高齢者との同居の有無に関わらず、「趣味を持つこと」が最も多く、次いで高齢者と同居している世帯は「在宅医療や介護サービスの充実」、高齢者と同居していない世帯は「友人・仲間づくり」の順になっている。

（表ＴＰ１１－１－１）地域包括ケアの推進（地域別、性・年齢別、世帯の家族類型別）

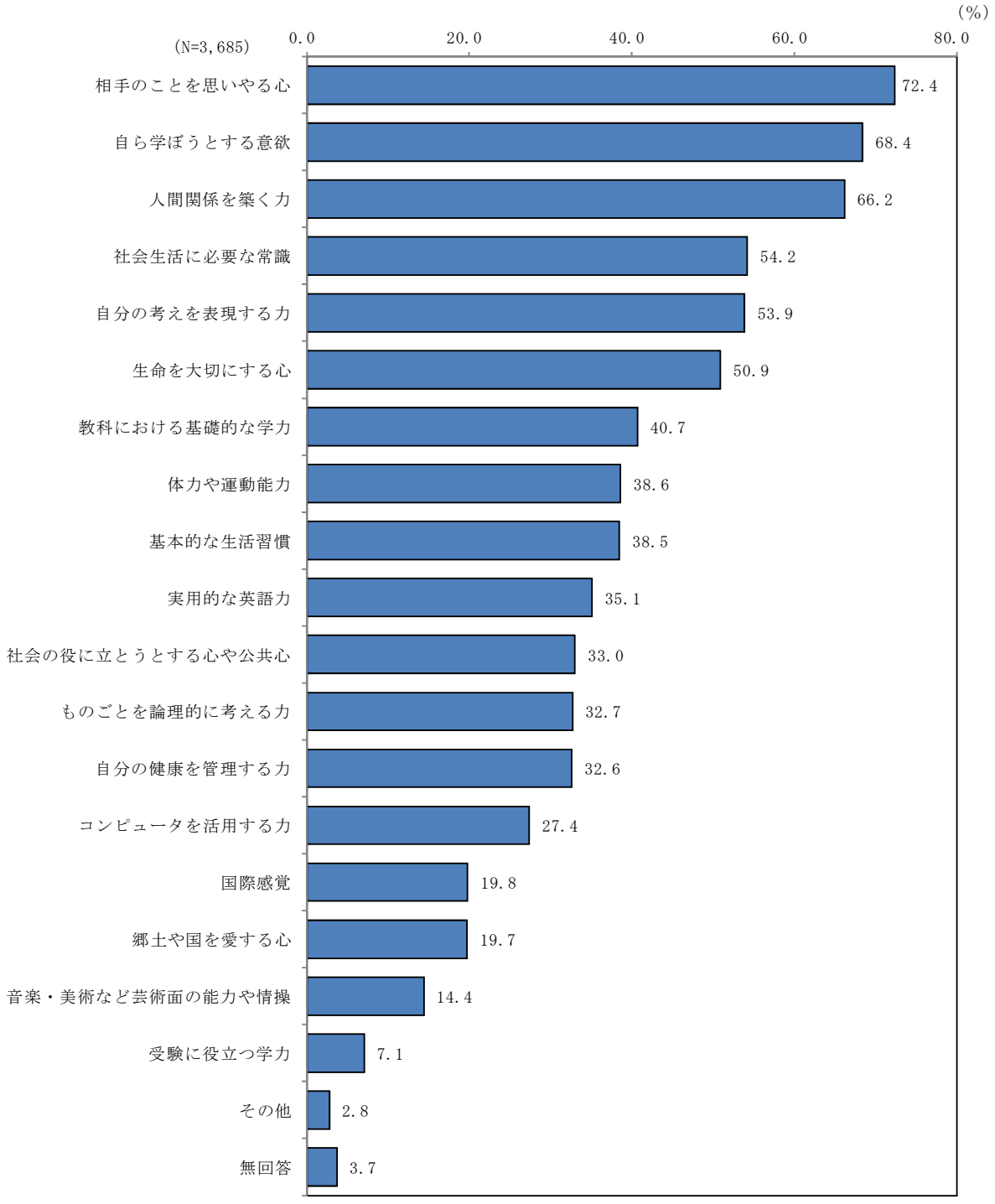
（%）

		総数	趣味を持つこと	友人・仲間づくり	若いときからの健康づくりや介護予防	在宅医療や介護サービスの充実	地域住民同士が支え合うこと	高齢になってからの健康づくりや介護予防	仕事に就いていること	ボランティア活動や地域のまちづくり活動への参加	その他	無回答
全市		3,685	60.4	48.5	44.1	43.0	25.8	21.2	19.2	15.1	2.5	2.5
地域別	中区	376	59.0	47.6	45.7	44.9	23.1	19.7	20.5	15.4	3.5	1.9
	東区	380	60.3	44.7	48.4	43.4	22.1	19.7	20.8	17.4	2.4	1.8
	南区	448	56.7	44.6	44.9	39.7	19.2	20.1	21.9	15.4	2.5	3.6
	西区	584	56.8	52.1	45.9	42.0	23.6	20.5	21.2	15.2	3.8	2.1
	安佐南区	714	63.9	49.9	42.9	42.2	30.0	19.2	17.8	16.9	1.7	2.0
	安佐北区	465	63.9	48.8	41.3	46.7	32.3	24.5	15.1	13.5	1.9	3.0
	安芸区	254	60.6	48.0	40.9	40.9	29.5	24.0	20.5	11.4	2.0	3.5
	佐伯区	441	60.3	50.1	43.8	45.1	25.4	24.7	18.1	13.2	2.3	1.8
性・年齢別	男性	1,497	60.4	42.7	41.0	38.8	26.0	24.4	22.8	15.5	2.5	2.4
	10歳代	17	41.2	70.6	29.4	23.5	17.6	35.3	17.6	23.5	－	5.9
	20歳代	99	63.6	58.6	57.6	35.4	19.2	22.2	17.2	10.1	3.0	2.0
	30歳代	207	62.8	54.1	44.4	31.9	26.1	14.5	31.4	12.6	4.3	0.5
	40歳代	266	53.8	41.7	47.0	37.2	28.6	16.5	29.3	18.0	3.8	1.5
	50歳代	226	54.0	41.6	47.3	45.1	25.2	19.0	24.8	15.9	2.2	1.8
	60歳代	308	65.3	36.4	33.1	45.5	22.4	28.9	23.7	16.9	1.9	2.6
	70歳以上	371	63.6	37.5	34.0	36.1	29.9	35.3	12.9	15.1	1.1	4.3
	女性	1,926	60.3	54.1	47.2	47.4	25.9	18.3	16.1	14.7	2.3	2.3
	10歳代	28	64.3	42.9	32.1	42.9	42.9	7.1	10.7	25.0	－	－
	20歳代	157	68.8	67.5	45.2	42.7	26.1	17.2	13.4	14.6	1.3	1.9
	30歳代	283	60.8	57.6	50.9	44.9	25.4	11.3	19.8	13.8	5.7	1.1
	40歳代	361	55.4	57.3	52.6	52.6	25.2	13.6	21.1	15.2	3.0	1.1
	50歳代	308	57.1	51.9	54.2	53.9	20.1	12.3	21.4	14.3	3.2	1.6
	60歳代	354	63.0	49.4	44.1	46.9	27.4	22.9	15.5	14.7	0.6	2.0
	70歳以上	434	60.8	50.2	39.4	42.4	28.6	28.6	7.8	14.7	0.7	5.1
世帯の家族類型別	高齢者と同居している世帯	373	58.7	43.7	42.1	49.6	28.4	22.5	16.4	14.2	2.4	2.1
	高齢者と同居していない世帯	3,078	60.6	49.3	44.8	42.6	25.2	21.2	19.8	15.2	2.6	2.2

１２　教育

(1)　学校教育の中で特に身に付ける必要があると思うこと

問26　あなたは、学校教育の中で、特にどのようなことを身に付ける必要があると思いますか。
次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



学校教育の中で、特にどのようなことを身に付ける必要があると思うかを尋ねたところ、「相手のことを思いやる心」が 72.4%と最も多く、次いで「自ら学ぼうとする意欲」(68.4%)、「人間関係を築く力」(66.2%)、「社会生活に必要な常識」(54.2%)、「自分の考えを表現する力」(53.9%)の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１２-１-１)、

〔性・年齢別〕

- 男性は「相手のことを思いやる心」が最も多く、次いで「自ら学ぼうとする意欲」の順になっており、女性と比べて「ものごとを論理的に考える力」が 9.6 ポイント高くなっている。
- 女性は「相手のことを思いやる心」が最も多く、次いで「人間関係を築く力」の順になっており、男性と比べて「生命を大切にする心」が 10.4 ポイント、「自分の考えを表現する力」が 9.9 ポイント、「基本的な生活習慣」が 9.6 ポイント、「人間関係を築く力」が 8.9 ポイント高くなっている。
- 男性では、10 歳代及び 20 歳代は「自ら学ぼうとする意欲」、30 歳代以上は「相手のことを思いやる心」が最も多くなっている。
- 女性では、10 歳代から 50 歳代までは「人間関係を築く力」、60 歳代以上は「相手のことを思いやる心」が最も多くなっている。

〔世帯の家族類型別〕

- 子どものいる世帯、子どものいない世帯とも「相手のことを思いやる心」が最も多く、次いで「自ら学ぼうとする意欲」の順になっている。
- 子どものいる世帯は、子どものいない世帯と比べて「自分の考えを表現する力」が10.0 ポイント、「人間関係を築く力」が 8.3 ポイント、「生命を大切にする心」が 6.9 ポイント高くなっている。

【時系列比較】

学校教育の中で、特に身に付ける必要があると思うことを時系列に見たのが（図ＴＰ１２-１-１）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「実用的な英語力」は 7.1 ポイント、「コンピュータを活用する力」は 6.7 ポイント増加している。一方で「生命を大切にする心」は 17.2 ポイント、「教科における基礎的な学力」は 12.1 ポイント、「体力や運動能力」は 8.9 ポイント、「郷土や国を愛する心」は 8.8 ポイント、「音楽・美術など芸術面の能力や情操」は 8.4 ポイント減少している。

（表ＴＰ１２－１－１）学校教育の中で特に身に付ける必要があると思うこと（性・年齢別、世帯の家族類型別）

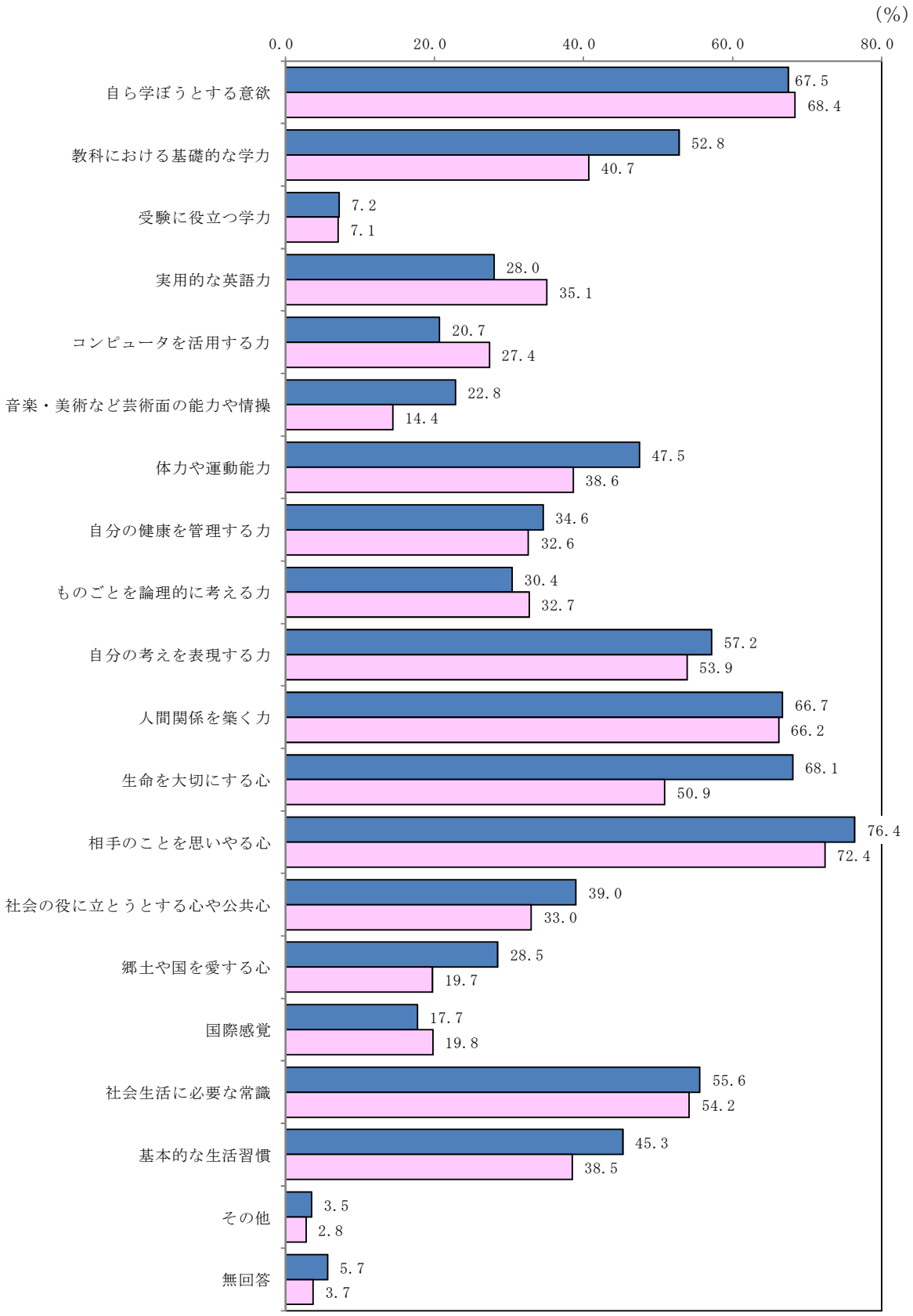
(%)

		総数	相手のことを思いやる心	自ら学ぼうとする意欲	人間関係を築く力	社会生活に必要な常識	自分の考えを表現する力	生命を大切にする心	教科における基礎的な学力	体力や運動能力	基本的な生活習慣	実用的な英語力
全市		3,685	72.4	68.4	66.2	54.2	53.9	50.9	40.7	38.6	38.5	35.1
性・年齢別	男性	1,497	71.3	68.5	62.1	54.8	49.1	45.6	39.5	39.7	33.5	33.7
	10歳代	17	58.8	76.5	58.8	52.9	41.2	29.4	52.9	17.6	23.5	41.2
	20歳代	99	66.7	76.8	71.7	55.6	64.6	40.4	42.4	42.4	33.3	40.4
	30歳代	207	75.8	72.0	67.6	58.5	57.5	50.7	49.8	46.4	35.3	38.2
	40歳代	266	72.9	72.2	72.2	48.9	56.8	45.1	37.6	38.0	33.5	29.3
	50歳代	226	74.8	69.5	70.4	59.7	51.8	51.8	38.1	41.6	42.0	35.4
	60歳代	308	74.7	66.2	56.5	57.5	45.1	46.1	38.6	35.4	32.5	35.4
	70歳以上	371	65.0	62.5	49.3	51.8	36.9	40.7	35.3	39.9	29.1	29.6
	女性	1,926	74.0	69.0	71.0	54.7	59.0	56.0	42.0	38.2	43.1	37.0
	10歳代	28	71.4	64.3	75.0	53.6	60.7	53.6	35.7	32.1	39.3	53.6
	20歳代	157	73.2	70.7	79.0	63.7	68.8	51.0	37.6	38.2	43.9	43.9
	30歳代	283	77.7	72.1	78.1	52.7	72.8	57.2	46.6	40.6	40.6	39.6
	40歳代	361	74.0	73.1	75.1	53.5	64.5	58.7	45.7	43.8	37.4	41.3
	50歳代	308	73.1	68.5	76.6	55.5	56.2	58.8	41.9	35.7	47.1	37.7
	60歳代	354	75.7	69.8	67.5	54.8	57.6	60.5	40.4	37.3	49.7	34.2
	70歳以上	434	71.4	62.9	58.8	53.2	44.7	49.5	39.2	34.6	41.5	30.0
世帯の家族類型別	子供のいる世帯	1,495	74.4	71.5	71.4	54.4	60.2	54.9	43.3	41.1	39.8	36.9
	子供のいない世帯	1,956	71.2	66.7	63.1	54.9	50.2	48.0	39.4	37.4	38.2	34.6

(%)

		総数	社会の役に立とうとする心や公共心	ものごとを論理的に考える力	自分の健康を管理する力	コンピュータを活用する力	国際感覚	郷土や国を愛する心	音楽・美術など芸術面の能力や情操	受験に役立つ学力	その他	無回答
全市		3,685	33.0	32.7	32.6	27.4	19.8	19.7	14.4	7.1	2.8	3.7
性・年齢別	男性	1,497	33.1	38.4	30.2	29.9	19.2	22.2	12.2	6.4	2.9	3.5
	10歳代	17	23.5	47.1	17.6	41.2	17.6	17.6	5.9	35.3	11.8	5.9
	20歳代	99	29.3	46.5	36.4	44.4	25.3	19.2	19.2	6.1	5.1	2.0
	30歳代	207	28.0	51.2	26.1	31.9	17.9	26.1	10.6	7.7	3.9	1.0
	40歳代	266	32.0	43.2	21.8	28.6	16.2	18.8	12.8	10.2	5.6	0.8
	50歳代	226	38.5	42.5	31.4	30.1	23.5	20.8	14.2	7.5	2.2	1.8
	60歳代	308	33.4	37.0	30.8	30.8	21.4	20.5	11.7	4.5	0.6	2.9
	70歳以上	371	34.8	24.0	36.4	24.5	16.4	25.9	10.5	2.7	1.6	8.9
	女性	1,926	33.5	28.8	34.4	25.5	20.1	17.7	15.6	7.4	2.8	3.2
	10歳代	28	32.1	14.3	25.0	32.1	32.1	17.9	－	17.9	－	－
	20歳代	157	30.6	40.1	36.9	39.5	15.9	14.6	15.3	10.8	5.1	0.6
	30歳代	283	29.0	35.3	30.4	29.3	22.3	15.2	16.3	10.6	4.6	0.4
	40歳代	361	36.3	32.7	30.5	26.9	17.5	14.1	12.5	9.4	2.8	0.8
	50歳代	308	37.0	29.9	35.7	25.0	21.4	12.0	14.9	4.9	2.9	1.6
	60歳代	354	33.6	22.9	33.6	24.3	22.9	21.8	16.7	4.8	1.4	2.5
	70歳以上	434	32.9	22.1	39.6	18.0	18.7	24.0	18.7	5.5	2.1	9.7
世帯の家族類型別	子供のいる世帯	1,495	34.1	35.1	30.0	28.8	19.3	18.7	12.8	7.9	2.7	1.7
	子供のいない世帯	1,956	32.1	31.7	34.7	26.8	20.3	20.6	15.8	6.2	2.8	4.5

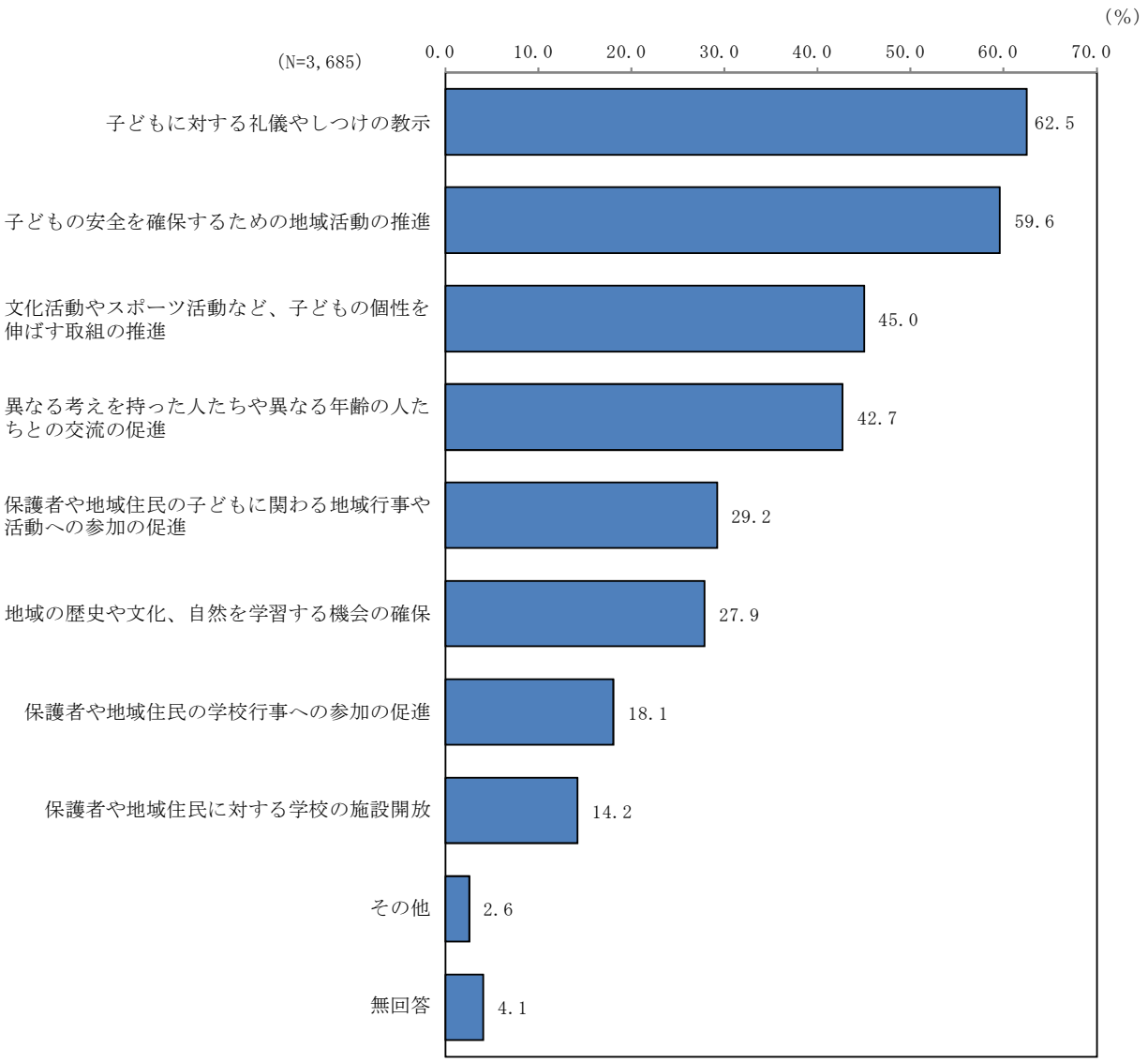
（図ＴＰ１２－１－１）学校教育の中で特に身に付ける必要があると思うこと（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

⑵　地域の中で子どもたちを育むために重要だと思う取組

問27　あなたは、地域の中で子どもたちを育むため、どのような取組が重要だと思いますか。
次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



地域の中で子どもたちを育むため、どのような取組が重要だと思うかを尋ねたところ、「子どもに対する礼儀やしつけの教示」が62.5%と最も高く、次いで「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」（59.6%）、「文化活動やスポーツ活動など、子どもの個性を伸ばす取組の推進」（45.0%）の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１２-２-１）、

〔地域別〕

・　安佐北区は「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」、それ以外の地域は「子どもに対する礼儀やしつけの教示」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男性は「子どもに対する礼儀やしつけの教示」が最も多く、次いで「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」の順になっており、女性は「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」が最も多く、次いで「子どもに対する礼儀やしつけの教示」の順になっている。

・　男性では、10 歳代は「子どもに対する礼儀やしつけの教示」及び「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」（同率）、20 歳代は「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」、30 歳代以上は「子どもに対する礼儀やしつけの教示」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代は「子どもに対する礼儀やしつけの教示」及び「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」（同率）、20 歳代から 60 歳代までは「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」、70 歳以上は「子どもに対する礼儀やしつけの教示」が最も多くなっている。

〔世帯の家族類型別〕

・　子どものいる世帯は「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」が最も多く、次いで「子どもに対する礼儀やしつけの教示」の順になっており、子どものいない世帯は「子どもに対する礼儀やしつけの教示」が最も多く、次いで「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」の順になっている。

・　子どものいる世帯は、子どものいない世帯と比べて「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」が 7.2 ポイント高く、「子どもに対する礼儀やしつけの教示」が 5.1 ポイント低くなっている。

【時系列比較】

地域の中で子どもたちを育むために重要だと思う取組を時系列に見たのが（図ＴＰ１２-２-１）である。

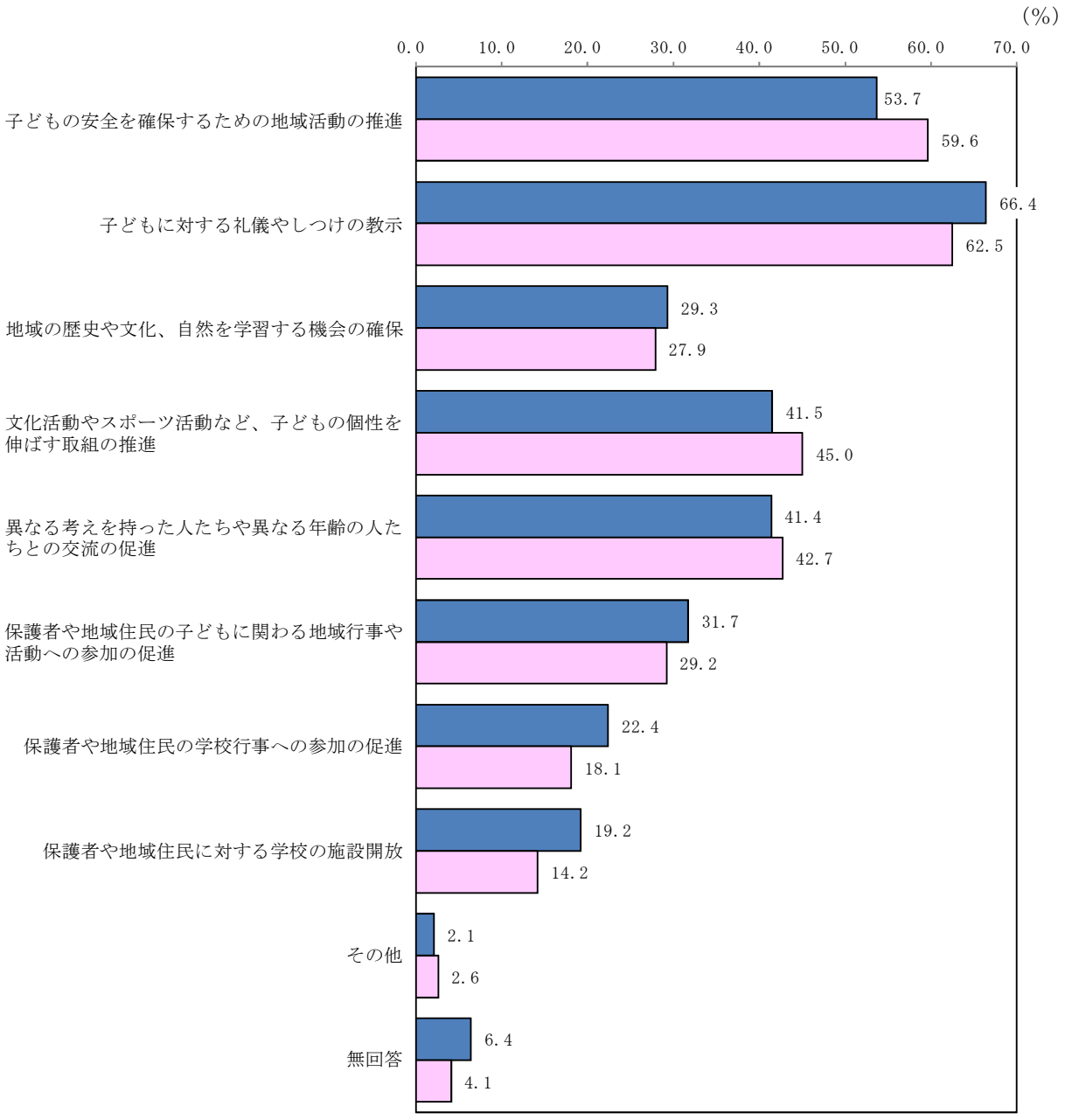
平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「子どもの安全を確保するための地域活動の推進」は 5.9 ポイント、「文化活動やスポーツ活動など、子どもの個性を伸ばす取組の推進」は 3.5 ポイント増加している。一方で「保護者や地域住民に対する学校の施設開放」は 5.0 ポイント、「保護者や地域住民の学校行事への参加の促進」は 4.3 ポイント減少している。

（表ＴＰ１２－２－１）地域の中で子どもたちを育むために重要だと思う取組（地域別、性・年齢別、世帯の家族類型別）

（%）

		総数	子どもに対する礼儀やしつけの教示	子どもの安全を確保するための地域活動の推進	文化活動やスポーツ活動など、子どもの個性を伸ばす取組の推進	異なる考えを持った人たちや異なる年齢の人たちとの交流の促進	保護者や地域住民の子どもに関わる地域行事や活動への参加の促進	地域の歴史や文化、自然を学習する機会の確保	保護者や地域住民の学校行事への参加の促進	保護者や地域住民に対する学校の施設開放	その他	無回答
全市		3,685	62.5	59.6	45.0	42.7	29.2	27.9	18.1	14.2	2.6	4.1
地域別	中区	376	63.0	58.8	43.4	43.9	26.6	30.6	14.1	13.8	2.1	3.2
	東区	380	63.7	60.3	48.4	44.7	30.3	26.8	20.3	15.5	2.9	2.6
	南区	448	60.9	59.4	43.1	44.0	30.8	28.1	17.2	14.5	2.5	5.1
	西区	584	62.7	58.4	43.7	45.0	27.1	29.1	17.0	14.2	3.3	3.6
	安佐南区	714	62.9	59.0	45.5	41.9	27.2	26.6	19.2	13.9	2.8	3.6
	安佐北区	465	63.9	64.1	46.0	39.6	32.9	25.8	18.9	13.5	2.4	4.5
	安芸区	254	63.8	59.1	46.5	36.6	31.1	23.6	21.3	17.7	1.2	7.1
	佐伯区	441	60.3	58.5	44.2	44.2	29.9	31.5	17.7	12.7	2.3	3.4
性・年齢別	男性	1,497	67.9	56.0	47.6	38.7	28.6	26.9	17.6	14.3	2.9	3.9
	10歳代	17	58.8	58.8	29.4	23.5	29.4	17.6	17.6	5.9	11.8	5.9
	20歳代	99	55.6	64.6	59.6	49.5	25.3	30.3	21.2	13.1	6.1	2.0
	30歳代	207	63.8	57.0	51.7	44.4	25.6	31.4	13.5	15.0	2.4	1.4
	40歳代	266	63.9	55.3	42.5	36.8	24.4	24.1	17.3	13.5	4.9	1.5
	50歳代	226	72.1	52.7	42.0	44.7	25.2	30.1	14.6	10.2	3.1	1.3
	60歳代	308	66.9	55.8	49.4	39.9	30.8	27.9	17.2	15.9	1.6	4.5
	70歳以上	371	74.9	56.3	48.8	30.2	34.5	22.9	21.3	16.4	1.6	8.4
	女性	1,926	57.3	62.4	43.4	46.8	29.7	28.9	18.4	13.8	2.3	3.7
	10歳代	28	67.9	67.9	53.6	46.4	42.9	21.4	32.1	7.1	－	－
	20歳代	157	60.5	65.0	49.0	51.6	23.6	30.6	22.3	14.6	0.6	1.3
	30歳代	283	47.0	68.9	48.8	48.8	26.9	33.6	19.4	13.8	4.9	2.1
	40歳代	361	51.8	60.9	41.8	49.6	27.1	27.4	16.9	13.0	2.5	1.7
	50歳代	308	52.3	61.7	40.6	53.6	27.9	27.9	14.3	11.7	2.9	2.3
	60歳代	354	60.5	65.8	43.5	44.6	33.1	29.1	15.3	14.4	1.1	3.7
	70歳以上	434	67.7	55.5	40.3	38.7	33.6	27.4	22.1	15.7	1.8	8.8
世帯の家族類型別	子供のいる世帯	1,495	59.7	63.7	44.5	44.5	30.4	26.9	18.9	15.2	2.3	2.5
	子供のいない世帯	1,956	64.8	56.5	45.6	41.2	28.3	28.6	17.5	13.6	2.9	4.6

（図ＴＰ１２－２－１）地域の中で子どもたちを育むために重要だと思う取組（時系列）

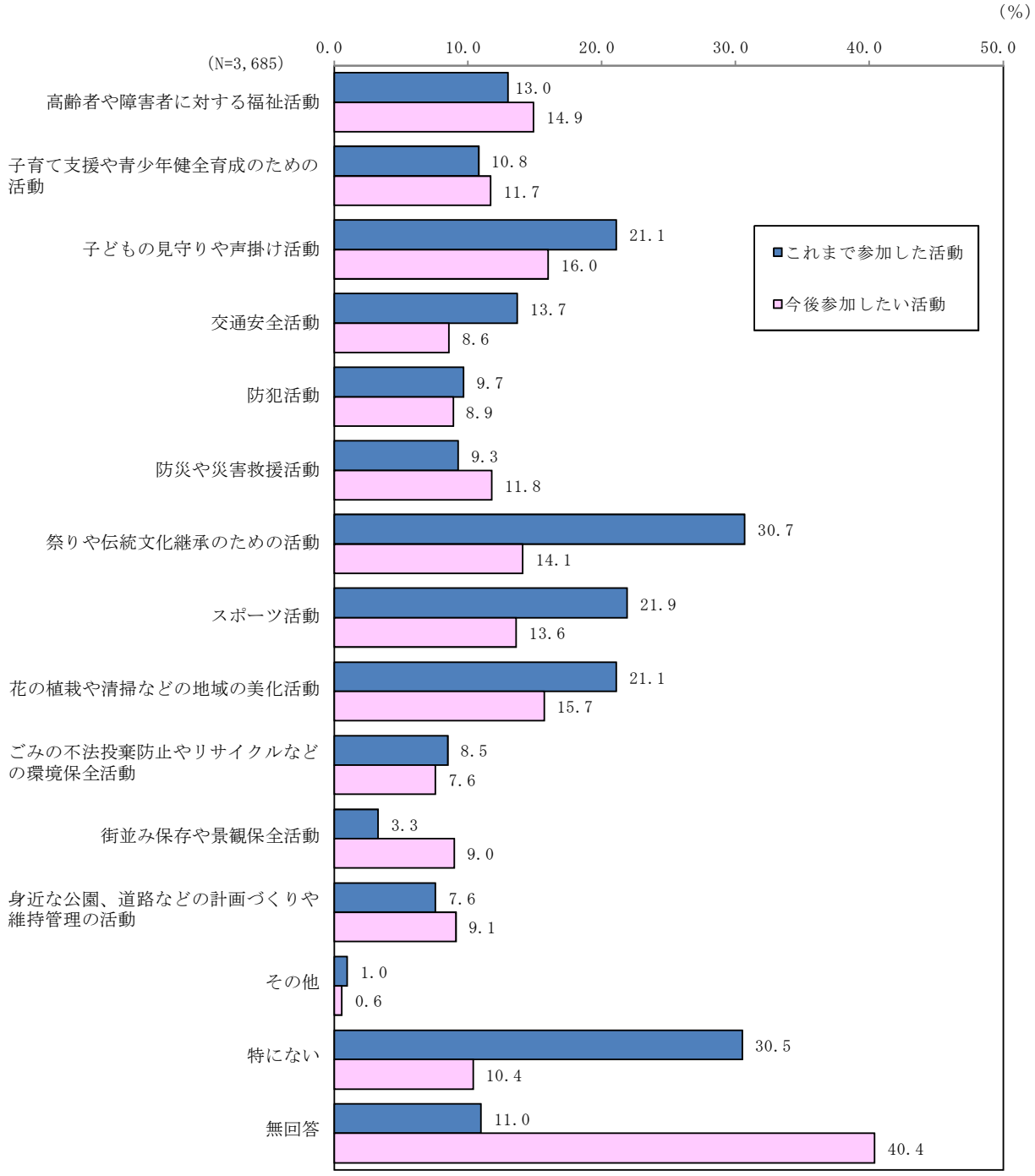


注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

１３　地域活性化

(1)　地域のまちづくり活動への参加

問28　あなたは、これまでどのような「地域のまちづくり活動」に参加したことがありますか。
また、参加経験の有無に関わらず、今後参加したい活動は何ですか。次のうちから選び、
番号にいくつでも○を付けてください。



注　上記の設問は、「これまで参加した活動」と「今後参加したい活動」に共通の設問であるため、
設問の選択肢順に掲載している。

ア　これまで参加した活動

これまでどのような「地域のまちづくり活動」に参加したことがあるかを尋ねたところ、「祭りや伝統文化継承のための活動」が 30.7%と最も多く、次いで「スポーツ活動」(21.9%)、「子どもの見守りや声掛け活動」(21.1%)、「花の植栽や清掃などの地域の美化活動」(21.1%)、「交通安全活動」(13.7%) の順になっている。また、「特にない」が 30.5%、無回答が 11.0%となっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１３−１−１)、

〔地域別〕

・　南区、安佐北区及び佐伯区は「祭りや伝統文化継承のための活動」、それ以外の地域は「特にない」が最も多くなっている。次いで、南区は「特にない」、安佐北区は「子どもの見守りや声掛け活動」及び「花の植栽や清掃などの地域の美化活動」(同率)、佐伯区は「花の植栽や清掃などの地域の美化活動」、それ以外の地域は「祭りや伝統文化継承のための活動」となっている。

〔性・年齢別〕

・　男性は「特にない」が最も多く、次いで「祭りや伝統文化継承のための活動」の順になっており、女性は「祭りや伝統文化継承のための活動」が最も多く、次いで「特にない」の順になっている。

・　男性では、10 歳代は「スポーツ活動」、20 歳代から 50 歳代までは「特にない」、60 歳代以上は「祭りや伝統文化継承のための活動」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代は「花の植栽や清掃などの地域の美化活動」、20 歳代及び 30 歳代は「特にない」、40 歳代及び 50 歳代は「子どもの見守りや声掛け活動」、60 歳代以上は「祭りや伝統文化継承のための活動」が最も多くなっている。

〔所属団体別〕

・　「社会福祉協議会」に所属している人は「高齢者や障害者に対する福祉活動」、「ＮＰＯ法人」に所属している人は「子育て支援や青少年健全育成のための活動」、「その他」に所属している人は「スポーツ活動」、「団体等には所属していない」人は「特にない」、それ以外は「祭りや伝統文化継承のための活動」が最も多くなっている。

【時系列比較】

これまで参加した活動を時系列に見たのが（図ＴＰ１３−１−１）である。

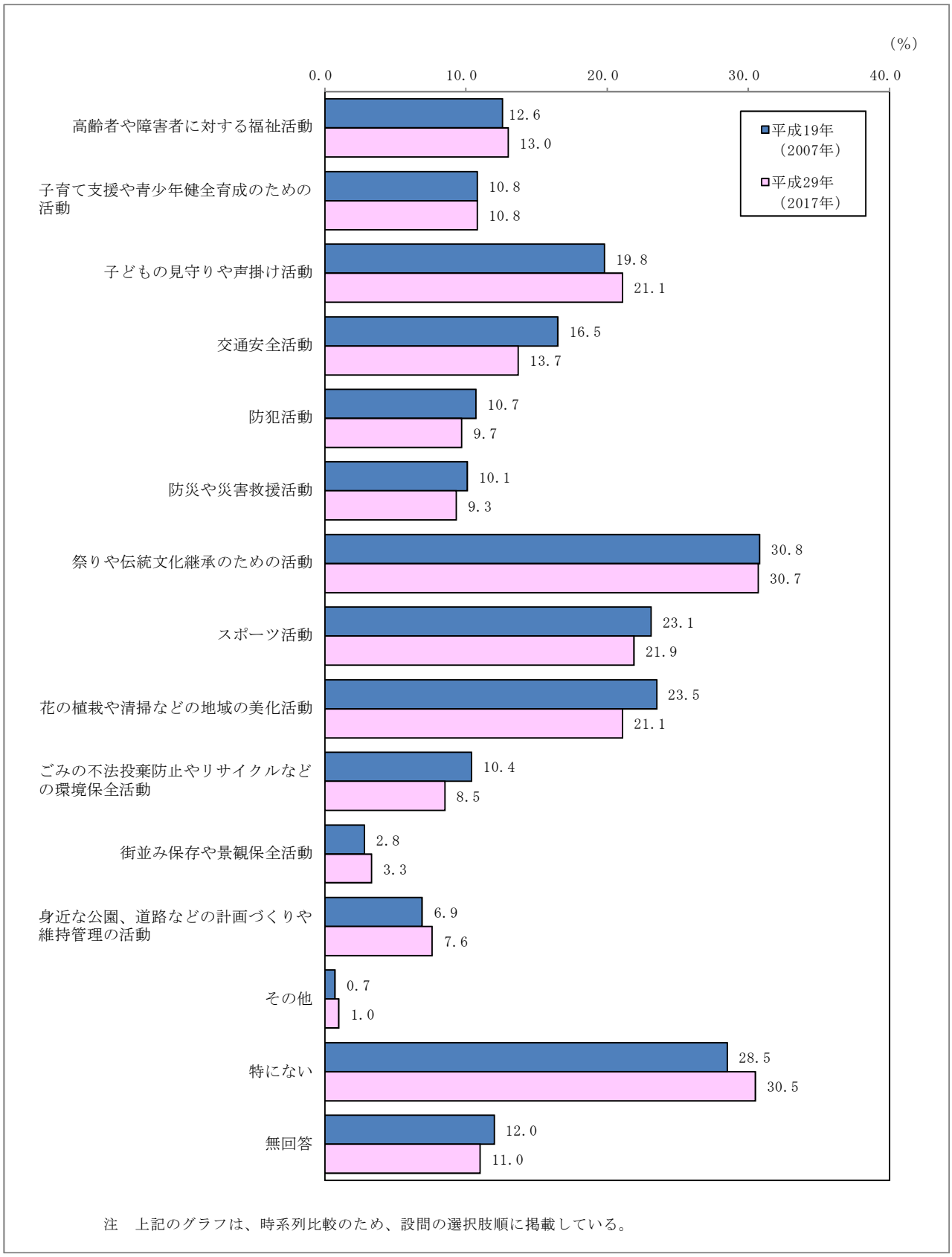
平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて大きな変化は見られない。

（表ＴＰ１３－１－１）これまで参加した活動（地域別、性・年齢別、所属団体別）

(%)

		総数	高齢者や障害者に対する福祉活動	子育て支援や青少年健全育成のための活動	子どもの見守りや声掛け活動	交通安全活動	防犯活動	防災や災害救援活動	祭りや伝統文化継承のための活動	スポーツ活動	花の植栽や清掃などの地域の美化活動	ごみの不法投棄防止やリサイクルなどの環境保全活動	街並み保存や景観保全活動	身近な公園、道路などの計画づくりや維持管理の活動	その他	特にない	無回答
全市		3,685	13.0	10.8	21.1	13.7	9.7	9.3	30.7	21.9	21.1	8.5	3.3	7.6	1.0	30.5	11.0
地域別	中区	376	13.0	9.0	15.7	13.0	7.7	7.2	28.2	19.7	14.6	4.3	2.7	4.5	0.8	39.4	10.4
	東区	380	12.9	9.2	20.3	11.6	7.6	7.1	29.5	23.7	17.1	7.4	3.9	5.5	1.3	31.1	10.0
	南区	448	13.2	10.5	19.0	12.7	7.6	6.9	33.7	19.0	18.3	9.2	3.8	8.5	1.8	33.3	11.2
	西区	584	10.3	10.8	18.2	11.1	9.1	5.7	27.9	17.8	20.5	9.4	2.2	6.8	1.0	33.7	12.7
	安佐南区	714	13.3	11.5	22.4	15.0	10.1	12.3	27.7	25.1	21.1	9.1	2.7	5.6	0.3	30.0	10.6
	安佐北区	465	14.4	12.9	25.6	13.8	12.5	13.5	37.6	22.6	25.6	11.4	4.1	10.8	1.3	22.6	11.2
	安芸区	254	13.8	9.8	24.4	13.4	9.4	9.8	29.9	23.2	26.4	7.1	3.9	9.8	0.8	31.1	9.1
	佐伯区	441	14.3	11.8	24.5	18.6	13.2	11.1	32.4	24.7	26.1	8.4	4.3	11.1	1.4	24.9	10.0
性・年齢別	男性	1,497	9.8	8.7	14.4	11.1	10.8	9.8	28.7	24.8	17.1	8.4	4.6	7.6	1.1	32.8	12.2
	10歳代	17	－	5.9	5.9	29.4	5.9	－	35.3	47.1	23.5	17.6	17.6	5.9	5.9	17.6	17.6
	20歳代	99	8.1	5.1	4.0	7.1	7.1	8.1	25.3	28.3	16.2	11.1	3.0	1.0	2.0	34.3	13.1
	30歳代	207	6.8	3.9	7.7	4.8	3.9	5.3	21.7	15.5	10.1	4.3	2.9	3.9	－	47.3	10.1
	40歳代	266	7.1	8.6	21.8	11.7	7.9	9.0	28.6	27.8	15.8	5.6	3.8	5.6	1.1	37.6	5.6
	50歳代	226	8.0	11.1	15.0	11.1	8.0	10.2	27.4	26.5	19.0	7.1	3.1	7.1	0.4	34.1	9.7
	60歳代	308	9.4	10.7	10.7	9.4	13.0	13.6	30.5	25.0	19.8	9.4	6.8	8.1	1.3	29.5	13.3
	70歳以上	371	15.4	9.4	18.6	15.9	17.8	10.2	32.3	24.3	18.6	11.3	5.1	12.9	1.3	23.5	18.1
	女性	1,926	15.9	12.7	27.2	16.3	9.1	9.1	33.2	20.5	24.6	8.5	2.2	7.6	0.9	28.6	9.1
	10歳代	28	17.9	7.1	3.6	14.3	7.1	7.1	35.7	28.6	50.0	14.3	7.1	10.7	－	17.9	7.1
	20歳代	157	21.0	6.4	5.1	7.6	5.1	3.8	26.8	19.1	19.1	9.6	2.5	3.2	1.9	39.5	5.7
	30歳代	283	12.4	11.7	21.9	11.3	2.5	4.2	26.1	14.8	14.1	3.5	0.7	4.9	0.4	36.7	9.5
	40歳代	361	11.1	14.7	46.3	21.9	9.7	8.9	36.0	20.5	23.8	8.0	1.9	5.8	0.6	29.1	3.3
	50歳代	308	16.2	17.2	40.9	28.2	12.7	11.0	39.6	26.6	26.6	7.5	1.9	7.5	0.6	23.1	5.5
	60歳代	354	14.4	15.0	22.3	16.1	12.1	14.4	39.0	24.3	28.8	8.8	2.0	9.6	0.6	26.3	8.2
	70歳以上	434	21.4	9.4	18.2	9.9	9.7	9.0	28.1	16.8	27.4	11.8	3.2	10.8	1.8	25.6	18.2
所属団体別	町内会・自治会	1,403	17.3	15.7	34.2	20.0	15.2	15.2	44.3	28.0	30.3	12.4	4.7	13.0	0.9	18.4	7.8
	老人クラブ	203	37.9	20.2	38.4	24.6	22.7	23.6	47.8	36.9	39.4	25.6	11.3	24.1	1.0	7.4	10.8
	社会福祉協議会	95	66.3	46.3	51.6	33.7	26.3	37.9	54.7	45.3	43.2	28.4	8.4	24.2	3.2	5.3	7.4
	ボランティア団体	134	41.8	32.8	31.3	23.9	24.6	26.1	47.0	37.3	26.9	23.1	9.0	14.2	5.2	7.5	6.7
	ＮＰＯ法人	37	32.4	40.5	32.4	10.8	13.5	18.9	35.1	32.4	29.7	24.3	16.2	18.9	2.7	8.1	13.5
	その他	298	20.5	23.2	27.5	20.1	16.8	15.4	37.9	40.9	29.9	13.4	6.4	11.4	1.3	22.1	6.7
	団体等には所属していない	1,598	9.1	6.5	12.7	9.3	5.6	5.1	22.2	17.1	15.1	5.9	2.1	3.6	0.9	41.9	9.9

（図ＴＰ１３－１－１）これまで参加した活動（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

イ　今後参加したい活動

「地域のまちづくり活動」への参加経験の有無に関わらず、今後参加したい活動は何かを尋ねたところ、「子どもの見守りや声掛け活動」が 16.0％と最も多く、次いで「花の植栽や清掃などの地域の美化活動」（15.7％）、「高齢者や障害者に対する福祉活動」（14.9％）、「祭りや伝統文化継承のための活動」（14.1％）、「スポーツ活動」（13.6％）の順になっている。また、「特にない」が 10.4％、無回答が 40.4％となっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１３－１－２）、

〔地域別〕

・　中区は「祭りや伝統文化継承のための活動」、東区及び佐伯区は「子どもの見守りや声掛け活動」、南区は「高齢者や障害者に対する福祉活動」、西区は「高齢者や障害者に対する福祉活動」及び「子どもの見守りや声掛け活動」（同率）、安佐南区及び安芸区は「花の植栽や清掃などの地域の美化活動」、安佐北区は「高齢者や障害者に対する福祉活動」及び「花の植栽や清掃などの地域の美化活動」（同率）が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男性は「スポーツ活動」が最も多く、次いで「祭りや伝統文化継承のための活動」の順になっており、女性は「花の植栽や清掃などの地域の美化活動」が最も多く、次いで「高齢者や障害者に対する福祉活動」の順になっている。

・　男性では、10 歳代は「交通安全活動」及び「防犯活動」（同率）、20 歳代から 50 歳代までは「スポーツ活動」、60 歳代は「祭りや伝統文化継承のための活動」、70 歳以上は「子どもの見守りや声掛け活動」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代及び 20 歳代は「高齢者や障害者に対する福祉活動」及び「祭りや伝統文化継承のための活動」（同率）、30 歳代は「子どもの見守りや声掛け活動」及び「祭りや伝統文化継承のための活動」（同率）、40 歳代は「子どもの見守りや声掛け活動」、50 歳代は「高齢者や障害者に対する福祉活動」、60 歳代以上は「花の植栽や清掃などの地域の美化活動」が最も多くなっている。

〔所属団体別〕

・　「社会福祉協議会」に所属している人は「高齢者や障害者に対する福祉活動」、「ボランティア団体」に所属している人は「高齢者や障害者に対する福祉活動」及び「子育て支援や青少年健全育成のための活動」（同率）、「ＮＰＯ法人」に所属している人は「子育て支援や青少年健全育成のための活動」、「その他」に所属している人は「花の植栽や清掃などの地域の美化活動」、それ以外は「子どもの見守りや声掛け活動」が最も多くなっている。

【時系列比較】

今後参加したい活動を時系列に見たのが（図ＴＰ１３－１－２）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「その他」及び「特にない」を除く全ての項目が減少している。中でも「子どもの見守りや声掛け活動」は 9.2 ポイントと最も減少しており、次いで「ごみの不法投棄防止やリサイクルなどの環境保全活動」（7.9％）、「高齢者や障害者に対する福祉活動」（7.3％）の順になっている。

ウ　これまで参加した活動と今後参加したい活動の比較

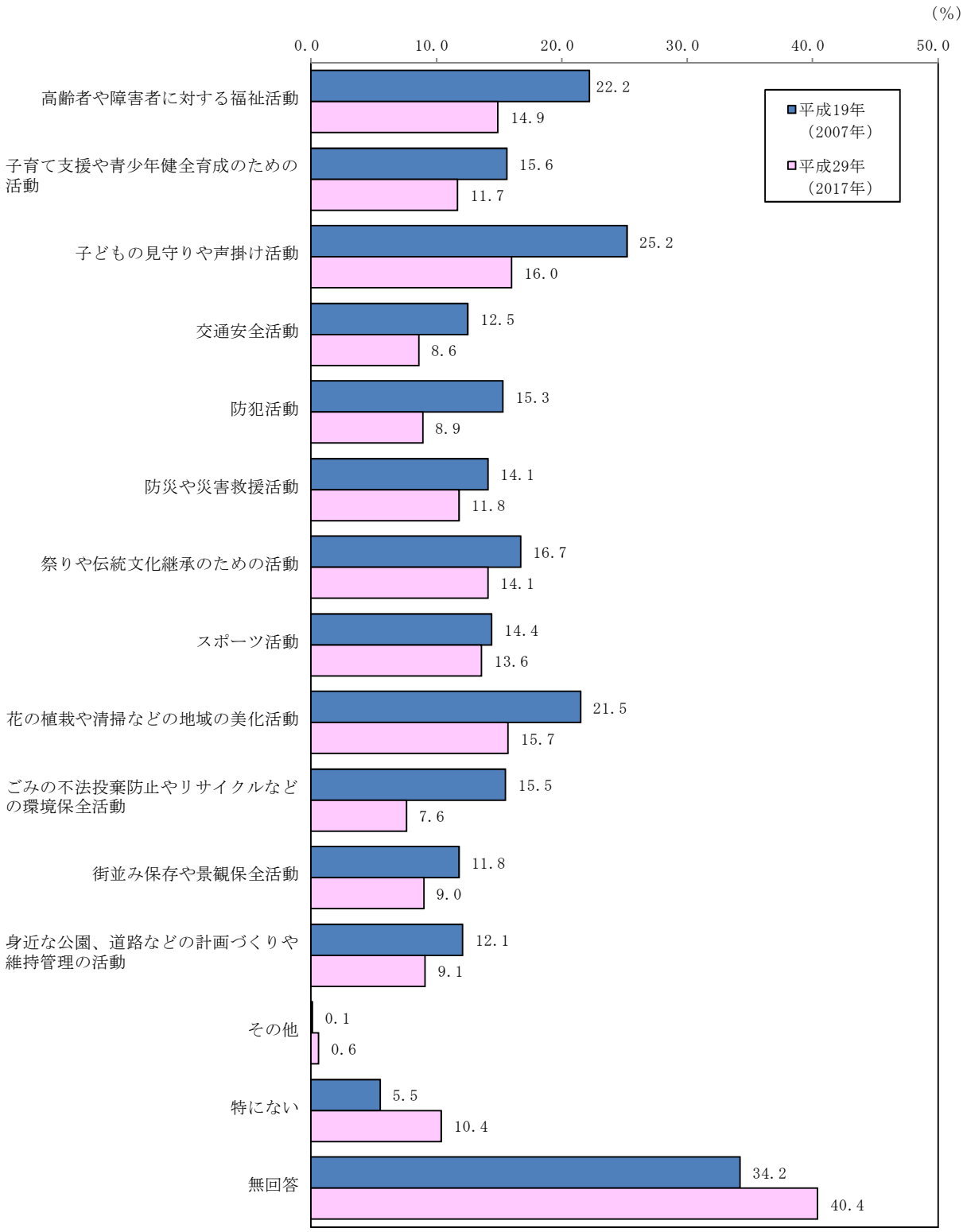
今後参加したい活動は、これまで参加した活動と比べて「街並み保存や景観保全活動」は5.7ポイント高くなっている。一方で「特にない」は20.1ポイント、「祭りや伝統文化継承のための活動」は16.6ポイント、「スポーツ活動」は8.3ポイント低くなっている。

（表ＴＰ１３－１－２）今後参加したい活動（地域別、性・年齢別、所属団体別）

(%)

		総数	高齢者や障害者に対する福祉活動	子育て支援や青少年健全育成のための活動	子どもの見守りや声掛け活動	交通安全活動	防犯活動	防災や災害救援活動	祭りや伝統文化継承のための活動	スポーツ活動	花の植栽や清掃などの地域の美化活動	ごみの不法投棄防止やリサイクルなどの環境保全活動	街並み保存や景観保全活動	身近な公園、道路などの計画づくりや維持管理の活動	その他	特にない	無回答
全市		3,685	14.9	11.7	16.0	8.6	8.9	11.8	14.1	13.6	15.7	7.6	9.0	9.1	0.6	10.4	40.4
地域別	中区	376	9.8	9.3	11.7	6.1	8.5	9.8	16.5	12.5	12.8	6.6	9.8	10.4	1.1	13.0	39.9
	東区	380	13.4	11.8	16.8	7.6	7.1	12.1	14.7	13.2	14.5	6.3	10.3	6.3	0.5	11.1	38.2
	南区	448	14.3	11.2	12.9	8.5	8.9	13.4	12.1	13.2	14.1	7.4	10.0	10.3	1.1	11.2	42.2
	西区	584	18.0	13.5	18.0	9.1	7.9	9.4	15.8	15.8	15.4	7.0	7.5	7.5	0.3	9.9	39.7
	安佐南区	714	16.2	12.2	16.7	9.4	9.8	12.9	13.3	15.4	17.2	8.7	8.7	8.7	0.1	11.6	37.4
	安佐北区	465	17.4	11.8	16.3	9.9	11.0	12.5	13.8	12.7	17.4	8.6	8.6	10.5	0.4	7.7	43.7
	安芸区	254	10.2	8.7	16.9	10.2	7.9	9.8	14.2	12.2	17.3	7.1	9.1	8.7	0.4	9.4	43.3
	佐伯区	441	15.4	12.5	17.5	7.7	9.3	13.6	13.2	12.2	16.8	8.2	9.3	10.7	1.1	8.8	40.8
性・年齢別	男性	1,497	12.5	10.8	15.4	11.2	11.0	12.5	16.0	18.6	12.6	8.1	10.0	11.2	0.7	10.4	39.1
	10歳代	17	11.8	17.6	11.8	23.5	23.5	5.9	5.9	17.6	－	－	17.6	11.8	－	17.6	35.3
	20歳代	99	11.1	12.1	13.1	13.1	9.1	16.2	20.2	35.4	12.1	6.1	13.1	15.2	－	9.1	31.3
	30歳代	207	9.7	14.5	12.1	11.1	11.1	14.0	17.4	27.5	9.7	9.2	10.1	14.5	0.5	12.6	36.2
	40歳代	266	7.9	12.0	15.0	11.7	10.5	10.5	15.4	19.5	13.9	6.0	9.0	11.3	1.1	12.0	37.6
	50歳代	226	11.9	11.1	17.7	8.4	11.5	15.0	18.1	19.5	12.8	8.4	10.2	10.2	1.8	12.4	31.9
	60歳代	308	15.3	11.0	16.6	13.3	12.3	15.3	17.5	14.6	16.2	7.8	11.7	9.4	0.6	8.1	38.6
	70歳以上	371	15.6	6.7	15.9	9.7	10.0	8.6	12.7	11.3	11.1	10.2	7.8	10.2	－	8.4	48.8
	女性	1,926	16.9	12.9	16.6	6.5	7.3	11.7	13.4	10.5	18.2	7.3	8.8	7.9	0.6	10.6	39.9
	10歳代	28	32.1	17.9	21.4	14.3	14.3	21.4	32.1	28.6	25.0	17.9	14.3	14.3	－	10.7	28.6
	20歳代	157	20.4	17.2	17.2	9.6	8.9	14.6	20.4	17.8	17.8	8.9	9.6	8.9	－	10.8	28.7
	30歳代	283	17.0	20.8	21.6	11.0	11.7	18.7	21.6	13.8	17.0	8.8	10.2	8.1	1.1	9.9	29.7
	40歳代	361	14.7	13.9	17.2	4.7	8.3	11.9	13.3	10.2	16.3	4.2	8.9	8.0	0.3	13.0	34.9
	50歳代	308	23.4	12.3	13.6	4.9	5.8	11.0	9.7	10.1	17.2	5.2	8.4	5.2	1.0	12.7	35.4
	60歳代	354	15.8	12.4	17.2	4.0	4.8	10.7	12.7	10.7	23.4	9.0	10.2	8.5	0.3	12.1	40.4
	70歳以上	434	12.7	6.0	14.1	6.7	5.5	6.7	7.6	4.8	16.8	7.8	6.2	8.3	0.7	6.2	58.5
所属団体別	町内会・自治会	1,403	16.4	13.1	18.9	8.4	9.6	12.7	16.3	12.7	18.6	8.3	8.7	10.6	0.7	7.3	41.0
	老人クラブ	203	16.3	10.8	19.7	7.9	11.3	12.8	15.3	9.4	18.7	9.4	8.9	16.3	1.0	2.0	50.7
	社会福祉協議会	95	30.5	23.2	29.5	5.3	8.4	18.9	15.8	14.7	21.1	11.6	9.5	11.6	1.1	－	43.2
	ボランティア団体	134	26.1	26.1	25.4	12.7	14.2	17.2	22.4	20.1	23.1	15.7	13.4	11.9	1.5	2.2	33.6
	ＮＰＯ法人	37	29.7	32.4	13.5	10.8	8.1	21.6	24.3	18.9	27.0	24.3	18.9	10.8	－	2.7	21.6
	その他	298	19.1	19.1	20.8	10.4	10.4	13.1	17.1	21.5	23.2	10.7	10.1	13.8	1.7	4.0	37.9
	団体等には所属していない	1,598	13.1	10.9	14.8	9.3	8.8	12.0	13.5	14.6	13.8	6.9	9.8	8.7	0.4	14.4	36.3

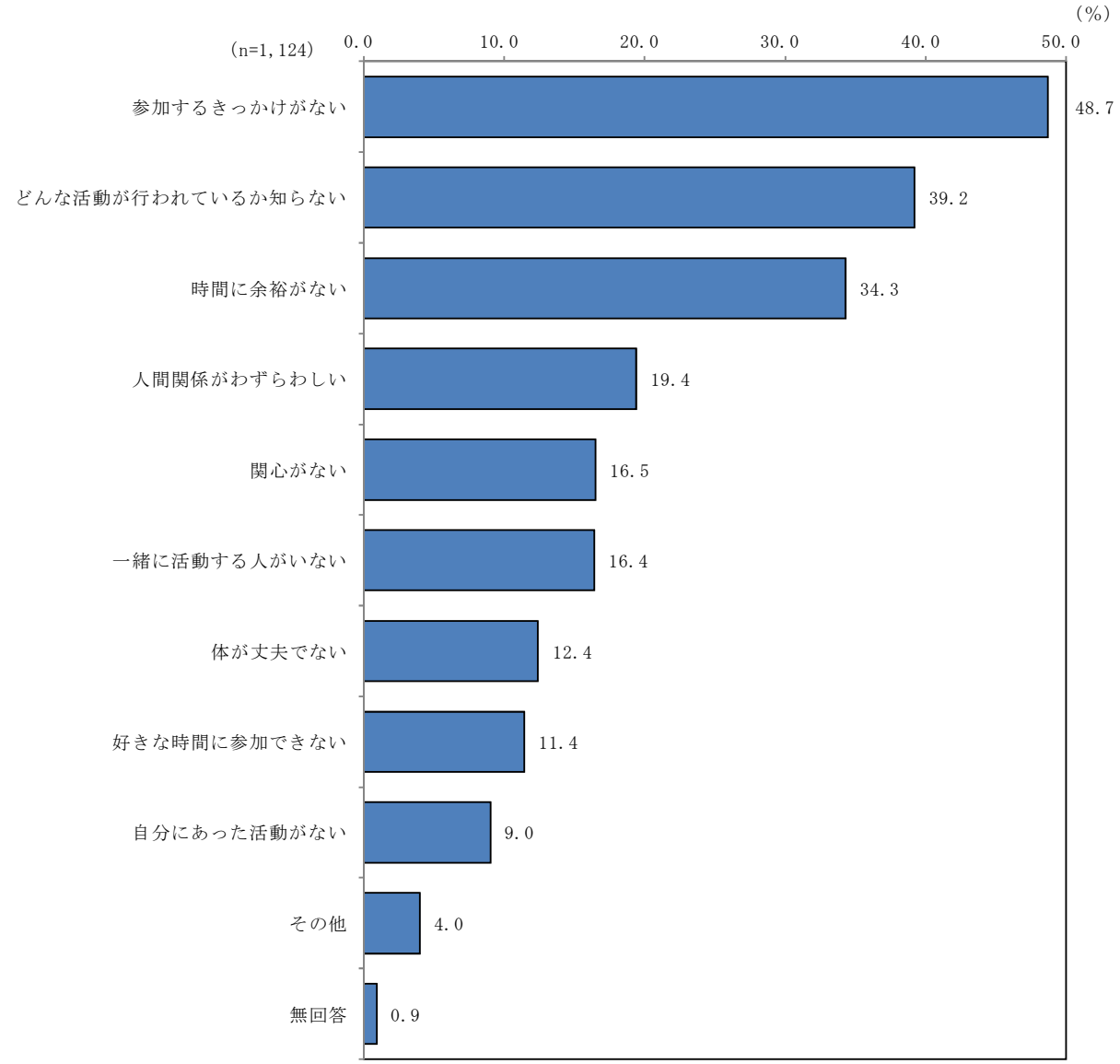
（図ＴＰ１３－１－２）今後参加したい活動（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

エ　参加したことがない理由

〔問28で、「これまで参加した活動」が「特にない」と答えた人に〕
付問　その理由は何ですか。次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



これまで「地域のまちづくり活動」に参加したことが「特にない」と答えた人にその理由を尋ねたところ、「参加するきっかけがない」が48.7%と最も多く、次いで「どんな活動が行われているか知らない」(39.2%)、「時間に余裕がない」(34.3%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１３-１-３)、

〔地域別〕

・　安芸区は「参加するきっかけがない」及び「どんな活動が行われているか知らない」(同率)、それ以外の地域は「参加するきっかけがない」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男女ともに「参加するきっかけがない」が最も多く、次いで「どんな活動が行われているか知らない」の順になっている。

・　男性では、10 歳代は「参加するきっかけがない」及び「どんな活動が行われているか知らない」(同率)、40 歳代は「どんな活動が行われているか知らない」及び「時間に余裕がない」(同率)、それ以外の年代は「参加するきっかけがない」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代は「どんな活動が行われているか知らない」、20 歳代から 60 歳代までは「参加するきっかけがない」、70 歳以上は「体が丈夫でない」が最も多くなっている。

〔所属団体別〕

・　「老人クラブ」に所属している人は「体が丈夫でない」、「社会福祉協議会」に所属している人は「どんな活動が行われているか知らない」及び「体が丈夫でない」(同率)、「ＮＰＯ法人」に所属している人は「どんな活動が行われているか知らない」、「時間に余裕がない」及び「人間関係がわずらわしい」(同率)、それ以外は「参加するきっかけがない」が最も多くなっている。

（表ＴＰ１３－１－３）参加したことがない理由（地域別、性・年齢別、所属団体別）

（%）

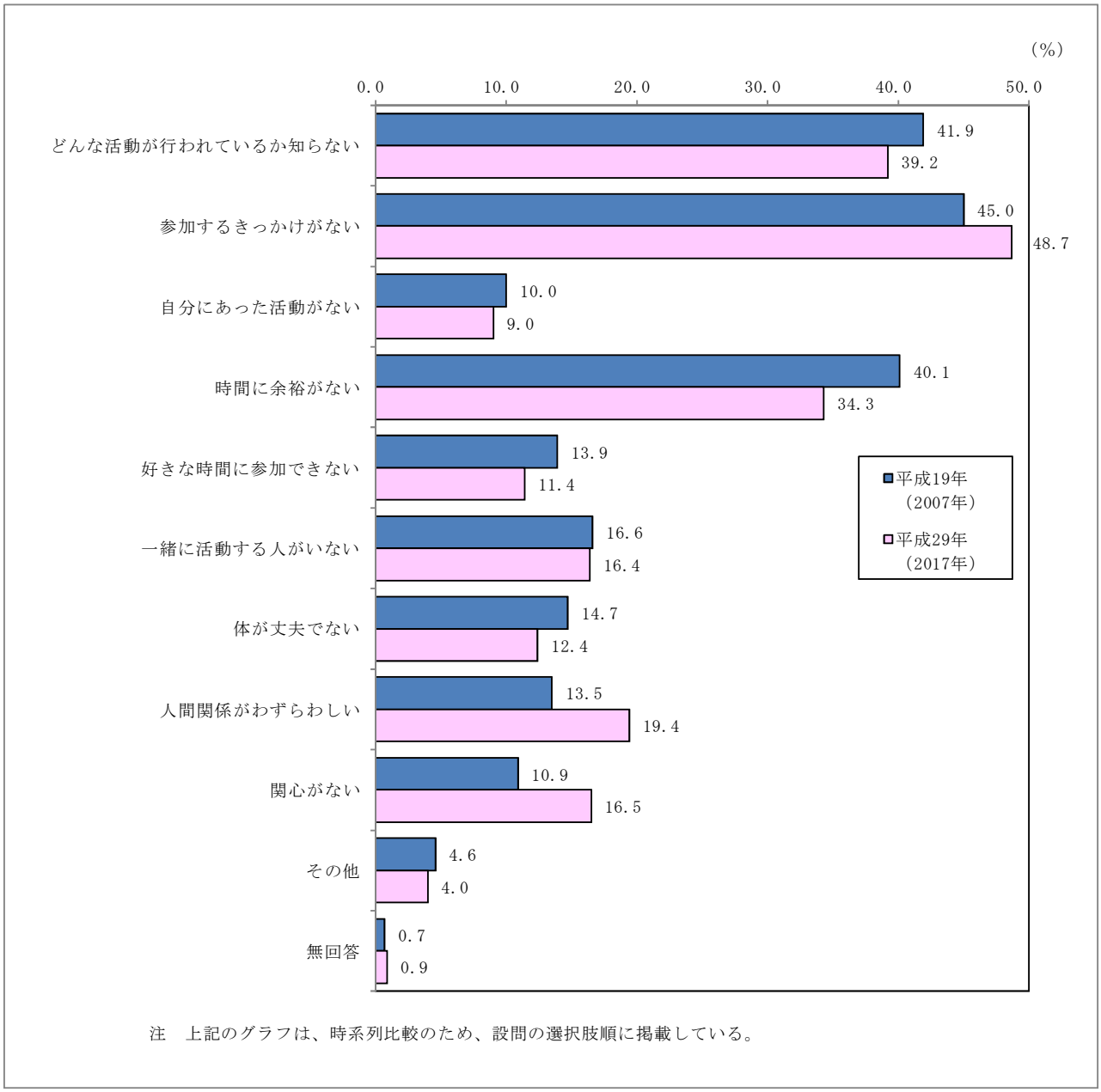
		該当者数	参加するきっかけがない	どんな活動が行われているか知らない	時間に余裕がない	人間関係がわずらわしい	関心がない	一緒に活動する人がいない	体が丈夫でない	好きな時間に参加できない	自分にあった活動がない	その他	無回答
	全市	1,124	48.7	39.2	34.3	19.4	16.5	16.4	12.4	11.4	9.0	4.0	0.9
地域別	中区	148	50.7	45.9	31.1	17.6	20.3	14.9	13.5	8.1	10.8	2.7	0.7
	東区	118	47.5	39.0	35.6	18.6	13.6	16.9	12.7	8.5	8.5	5.9	0.8
	南区	149	53.0	43.0	34.2	24.8	14.1	16.1	10.1	11.4	8.1	2.7	0.7
	西区	197	47.7	38.1	35.5	20.8	15.7	15.7	10.7	12.2	9.6	3.6	1.5
	安佐南区	214	50.0	41.1	34.6	17.3	15.0	19.6	9.8	13.1	7.9	5.1	1.4
	安佐北区	105	49.5	27.6	31.4	24.8	20.0	13.3	17.1	12.4	14.3	3.8	1.0
	安芸区	79	39.2	39.2	34.2	16.5	16.5	16.5	17.7	11.4	5.1	2.5	－
	佐伯区	110	48.2	36.4	37.3	14.5	18.2	15.5	13.6	12.7	7.3	5.5	－
性・年齢別	男性	491	49.9	40.7	36.5	18.1	21.6	13.6	9.8	9.8	9.2	2.4	0.8
	10歳代	3	66.7	66.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20歳代	34	70.6	58.8	32.4	11.8	32.4	20.6	2.9	8.8	－	2.9	－
	30歳代	98	52.0	44.9	49.0	11.2	17.3	14.3	2.0	8.2	3.1	2.0	－
	40歳代	100	44.0	48.0	48.0	16.0	19.0	8.0	8.0	10.0	7.0	1.0	－
	50歳代	77	49.4	39.0	45.5	26.0	27.3	14.3	5.2	14.3	13.0	1.3	1.3
	60歳代	91	54.9	38.5	28.6	18.7	19.8	17.6	9.9	12.1	14.3	2.2	1.1
	70歳以上	87	41.4	24.1	12.6	23.0	21.8	12.6	27.6	5.7	13.8	5.7	2.3
	女性	551	47.7	38.5	32.5	20.9	12.9	17.8	13.4	12.7	8.9	5.3	1.1
	10歳代	5	20.0	40.0	20.0	－	－	20.0	20.0	－	－	20.0	－
	20歳代	62	53.2	48.4	51.6	17.7	16.1	17.7	3.2	11.3	3.2	3.2	－
	30歳代	104	57.7	48.1	39.4	20.2	15.4	20.2	－	13.5	4.8	3.8	1.0
	40歳代	105	46.7	44.8	35.2	22.9	13.3	18.1	8.6	10.5	9.5	3.8	1.0
	50歳代	71	47.9	42.3	42.3	15.5	11.3	16.9	12.7	18.3	12.7	2.8	－
	60歳代	93	50.5	29.0	25.8	24.7	12.9	18.3	11.8	11.8	8.6	1.1	2.2
	70歳以上	111	35.1	23.4	12.6	22.5	9.9	15.3	37.8	12.6	13.5	13.5	1.8
所属団体別	町内会・自治会	258	45.0	31.0	31.0	21.3	15.1	14.3	15.1	12.4	10.5	5.0	0.8
	老人クラブ	15	26.7	20.0	－	13.3	13.3	20.0	33.3	13.3	6.7	6.7	－
	社会福祉協議会	5	40.0	60.0	20.0	－	－	－	60.0	－	－	20.0	－
	ボランティア団体	10	70.0	30.0	50.0	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	－	－
	ＮＰＯ法人	3	－	66.7	66.7	66.7	－	－	－	－	－	－	－
	その他	66	40.9	36.4	36.4	16.7	12.1	13.6	19.7	13.6	15.2	10.6	－
	団体等には所属していない	670	53.0	43.4	36.0	19.3	17.8	17.2	9.1	11.0	8.1	2.5	1.0

【時系列比較】

参加したことがない理由を時系列に見たのが（図ＴＰ１３-１-３）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「人間関係がわずらわしい」は 5.9 ポイント、「関心がない」は 5.6 ポイント増加している。一方で「時間に余裕がない」は 5.8 ポイント減少している。

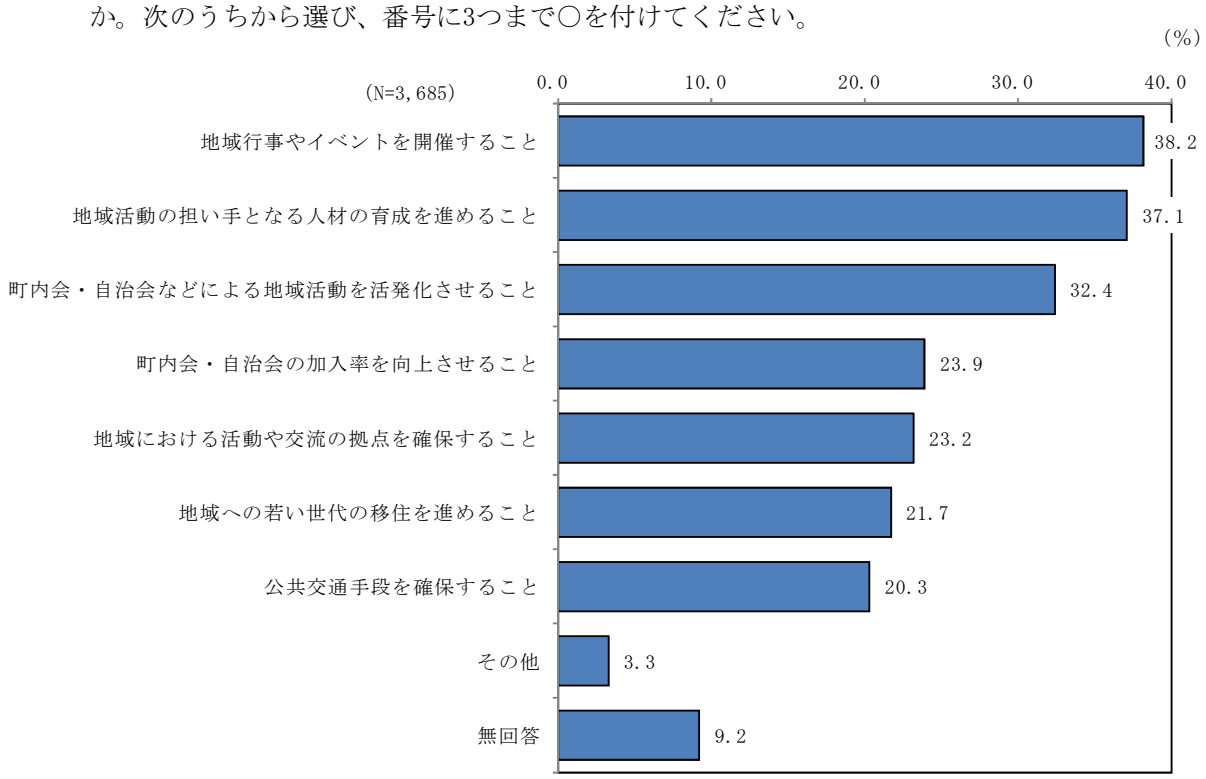
（図ＴＰ１３－１－３）参加したことがない理由（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

⑵　地域の活性化やコミュニティの再生に向けて重要だと思うこと

問29　あなたは、地域の活性化やコミュニティの再生に向けて、どのようなことが重要だと思いますか。次のうちから選び、番号に3つまで○を付けてください。



地域の活性化やコミュニティの再生に向けて、どのようなことが重要だと思うかを尋ねたところ、「地域行事やイベントを開催すること」が 38.2%と最も多く、次いで「地域活動の担い手となる人材の育成を進めること」(37.1%)、「町内会・自治会などによる地域活動を活発化させること」(32.4%) の順になっている。

〔地域別〕

・　東区は「地域行事やイベントを開催すること」及び「地域活動の担い手となる人材の育成を進めること」(同率)、安佐北区及び佐伯区は「地域活動の担い手となる人材の育成を進めること」、安芸区は「町内会・自治会などによる地域活動を活発化させること」、それ以外の地域は「地域行事やイベントを開催すること」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男女とも「地域行事やイベントを開催すること」が最も多く、次いで「地域活動の担い手となる人材の育成を進めること」の順になっている。

・　男女とも 10 歳代から 40 歳代までは「地域行事やイベントを開催すること」、50 歳代及び 60 歳代は「地域活動の担い手となる人材の育成を進めること」、70 歳以上は「町内会・自治会などによる地域活動を活発化させること」が最も多くなっている。

〔性・家族構成別〕

・　男女とも「夫婦のみ」世帯は「地域活動の担い手となる人材の育成を進めること」、それ以外の世帯は「地域行事やイベントを開催すること」が最も多くなっている。

〔所属団体別〕

・　「老人クラブ」、「社会福祉協議会」に所属している人は「町内会・自治会などによる地域活動を活発化させること」、「団体等には所属していない」人は「地域行事やイベントを開催すること」、それ以外の団体等に所属している人は「地域活動の担い手となる人材の育成を進めること」が最も多くなっている。

（表ＴＰ１３－２－１）地域の活性化やコミュニティの再生に向けて重要だと思うこと（地域別、性・年齢別、性・家族構成別、所属団体別）

（%）

		総数	地域行事やイベントを開催すること	地域活動の担い手となる人材の育成を進めること	町内会・自治会などによる地域活動を活発化させること	町内会・自治会の加入率を向上させること	地域における活動や交流の拠点を確保すること	地域への若い世代の移住を進めること	公共交通手段を確保すること	その他	無回答
全市		3,685	38.2	37.1	32.4	23.9	23.2	21.7	20.3	3.3	9.2
地域別	中区	376	42.8	38.3	31.1	23.7	26.9	17.6	15.7	3.7	7.7
	東区	380	37.9	37.9	34.2	25.3	27.1	18.9	18.9	3.4	7.6
	南区	448	38.4	37.7	30.4	25.4	25.4	15.4	16.1	3.3	10.0
	西区	584	38.9	35.3	31.5	25.5	21.7	21.9	18.8	3.3	10.1
	安佐南区	714	40.2	36.8	32.5	22.4	23.9	22.3	20.3	3.6	8.7
	安佐北区	465	33.5	36.8	33.1	20.6	21.5	30.1	26.5	1.9	10.3
	安芸区	254	35.4	34.6	39.8	28.7	18.5	20.5	23.2	2.4	9.4
	佐伯区	441	38.1	40.1	30.2	21.8	20.2	24.9	24.3	4.3	7.7
性・年齢別	男性	1,497	40.7	37.9	33.9	24.0	25.3	22.7	18.2	3.6	7.6
	10歳代	17	64.7	17.6	5.9	17.6	23.5	35.3	41.2	－	5.9
	20歳代	99	58.6	26.3	20.2	15.2	27.3	30.3	38.4	2.0	3.0
	30歳代	207	49.3	25.6	22.2	14.5	30.0	29.0	26.1	7.7	2.4
	40歳代	266	43.6	33.8	33.5	19.5	25.2	19.9	19.5	5.6	4.9
	50歳代	226	39.8	45.6	26.1	16.8	30.1	22.1	19.5	1.8	6.2
	60歳代	308	37.7	41.6	38.6	25.6	26.0	20.8	13.0	2.9	10.4
	70歳以上	371	31.3	44.5	46.6	38.5	19.1	20.5	10.2	1.9	12.1
	女性	1,926	37.5	36.7	31.3	23.3	21.9	20.9	22.2	3.0	9.6
	10歳代	28	53.6	21.4	39.3	14.3	21.4	28.6	39.3	－	3.6
	20歳代	157	54.8	26.8	24.2	14.0	29.9	24.2	36.3	1.9	4.5
	30歳代	283	53.4	27.6	26.1	15.2	23.3	27.2	23.7	5.7	6.0
	40歳代	361	40.4	34.1	28.8	20.8	23.3	18.3	23.5	3.6	6.6
	50歳代	308	34.4	37.3	27.9	19.8	23.1	16.9	22.4	5.8	6.5
	60歳代	354	28.5	50.6	35.9	24.6	22.9	20.1	16.9	1.7	10.7
	70歳以上	434	27.0	37.3	37.6	35.9	15.2	20.7	18.0	0.5	17.7

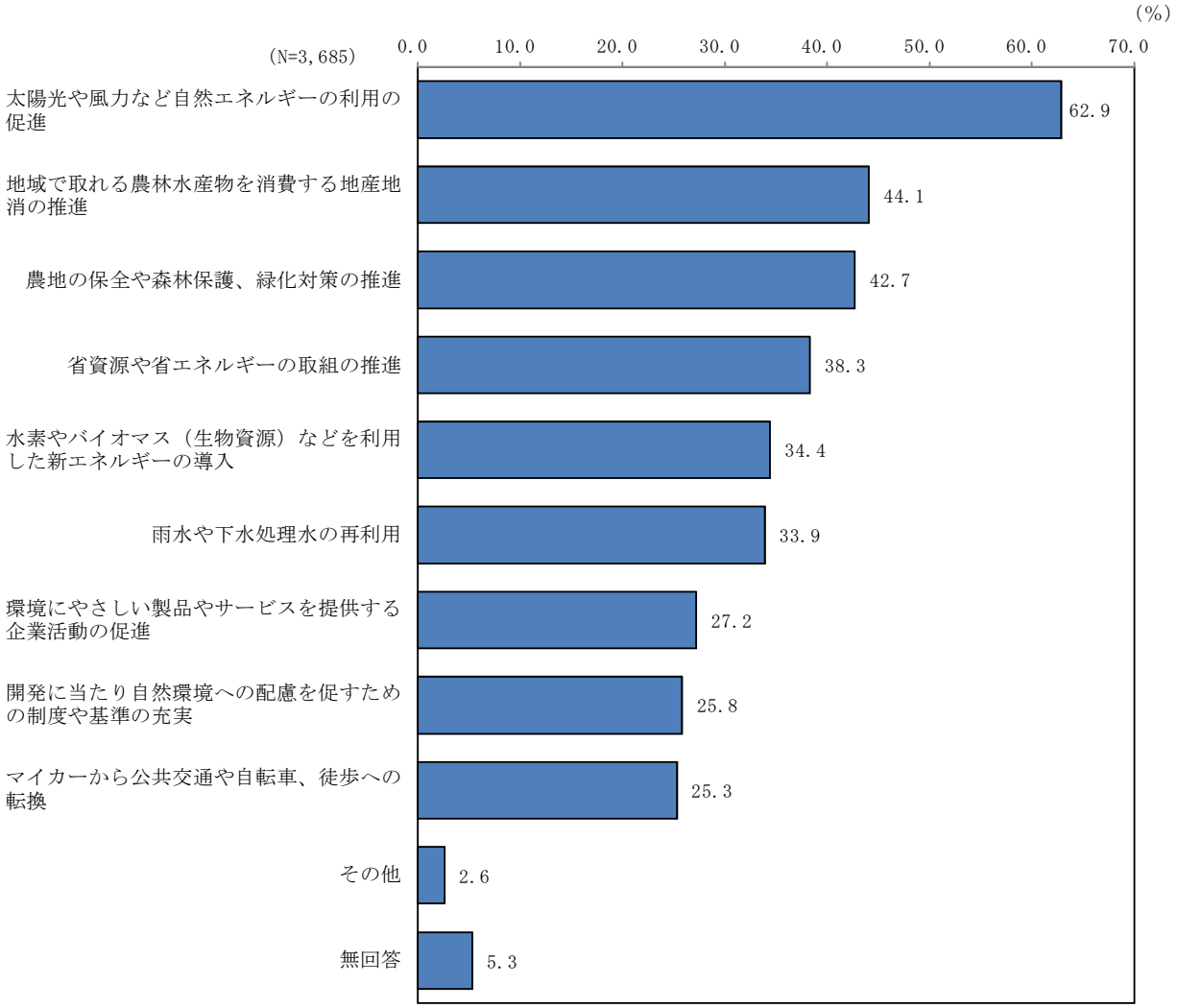
（表ＴＰ１３－２－１）地域の活性化やコミュニティの再生に向けて重要だと思うこと（地域別、性・年齢別、性・家族構成別、所属団体別）続き

（%）

		総数	地域行事やイベントを開催すること	地域活動の担い手となる人材の育成を進めること	町内会・自治会などによる地域活動を活発化させること	町内会・自治会の加入率を向上させること	地域における活動や交流の拠点を確保すること	地域への若い世代の移住を進めること	公共交通手段を確保すること	その他	無回答
全市		3,685	38.2	37.1	32.4	23.9	23.2	21.7	20.3	3.3	9.2
性・家族構成別	男性一人暮らし	171	42.1	29.2	31.0	21.6	36.3	24.0	22.8	1.2	7.6
	夫婦のみ	467	34.3	41.1	37.9	27.8	24.2	19.7	13.9	3.2	10.7
	あなた（又はあなた夫婦）と親	140	46.4	37.1	30.0	17.1	22.1	22.9	27.9	5.0	5.0
	あなた（又はあなた夫婦）と子	500	44.0	39.0	31.6	23.0	24.2	23.2	18.0	4.8	6.4
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	90	43.3	41.1	34.4	24.4	28.9	30.0	11.1	3.3	3.3
	その他	47	44.7	34.0	40.4	31.9	21.3	23.4	29.8	2.1	2.1
	女性一人暮らし	235	36.2	28.9	28.5	27.2	21.7	19.1	23.0	2.6	14.9
	夫婦のみ	475	33.5	40.8	33.1	24.4	21.5	20.2	20.6	2.1	10.5
	あなた（又はあなた夫婦）と親	178	44.4	32.0	27.5	14.6	21.3	26.4	34.3	3.4	6.7
	あなた（又はあなた夫婦）と子	703	38.4	37.0	30.4	22.2	22.0	20.5	19.2	4.3	7.0
	あなた（又はあなた夫婦）を含めて三世代	126	42.9	42.1	38.1	29.4	18.3	19.0	22.2	2.4	7.9
	その他	87	40.2	32.2	33.3	24.1	23.0	27.6	27.6	1.1	14.9
所属団体別	町内会・自治会	1,403	35.4	43.1	39.7	31.7	20.8	23.4	17.3	2.7	6.3
	老人クラブ	203	35.0	50.2	61.6	48.3	18.7	23.6	10.8	0.5	5.4
	社会福祉協議会	95	40.0	50.5	51.6	45.3	26.3	18.9	18.9	1.1	2.1
	ボランティア団体	134	37.3	57.5	42.5	29.1	30.6	20.9	22.4	5.2	3.0
	ＮＰＯ法人	37	40.5	48.6	37.8	16.2	21.6	16.2	24.3	8.1	10.8
	その他	298	35.9	45.3	37.9	30.5	26.5	17.4	15.8	5.0	7.4
	団体等には所属していない	1,598	43.3	33.0	26.7	16.5	26.5	22.7	23.3	3.8	8.1

１４　環境と経済活動が調和した社会の実現

問30　あなたは、将来、エネルギーや食料の不足などが懸念される中で、環境と経済活動が調和した社会を実現していくため、どのような取組が重要だと思いますか。次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



将来、エネルギーや食料の不足などが懸念される中で、環境と経済活動が調和した社会を実現していくため、どのような取組が重要だと思うかを尋ねたところ、「太陽光や風力など自然エネルギーの利用の促進」が 62.9%と最も多く、次いで「地域で取れる農林水産物を消費する地産地消の推進」（44.1%）、「農地の保全や森林保護、緑化対策の推進」（42.7%）の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１４-１-１）、

〔性・年齢別〕

・　男女とも「太陽光や風力など自然エネルギーの利用の促進」が最も多く、次いで男性は「農地の保全や森林保護、緑化対策の推進」の順になっており、女性は「地域で取れる農林水産物を消費する地産地消の推進」の順になっている。

・　男性では、10 歳代は「省資源や省エネルギーの取組の推進」、20 歳代以上は「太陽光や風力など自然エネルギーの利用の促進」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代は「地域で取れる農林水産物を消費する地産地消の推進」、20 歳代以上は「太陽光や風力など自然エネルギーの利用の促進」が最も多くなっている。

（表ＴＰ１４－１－１）環境と経済活動が調和した社会の実現（性・年齢別）

（%）

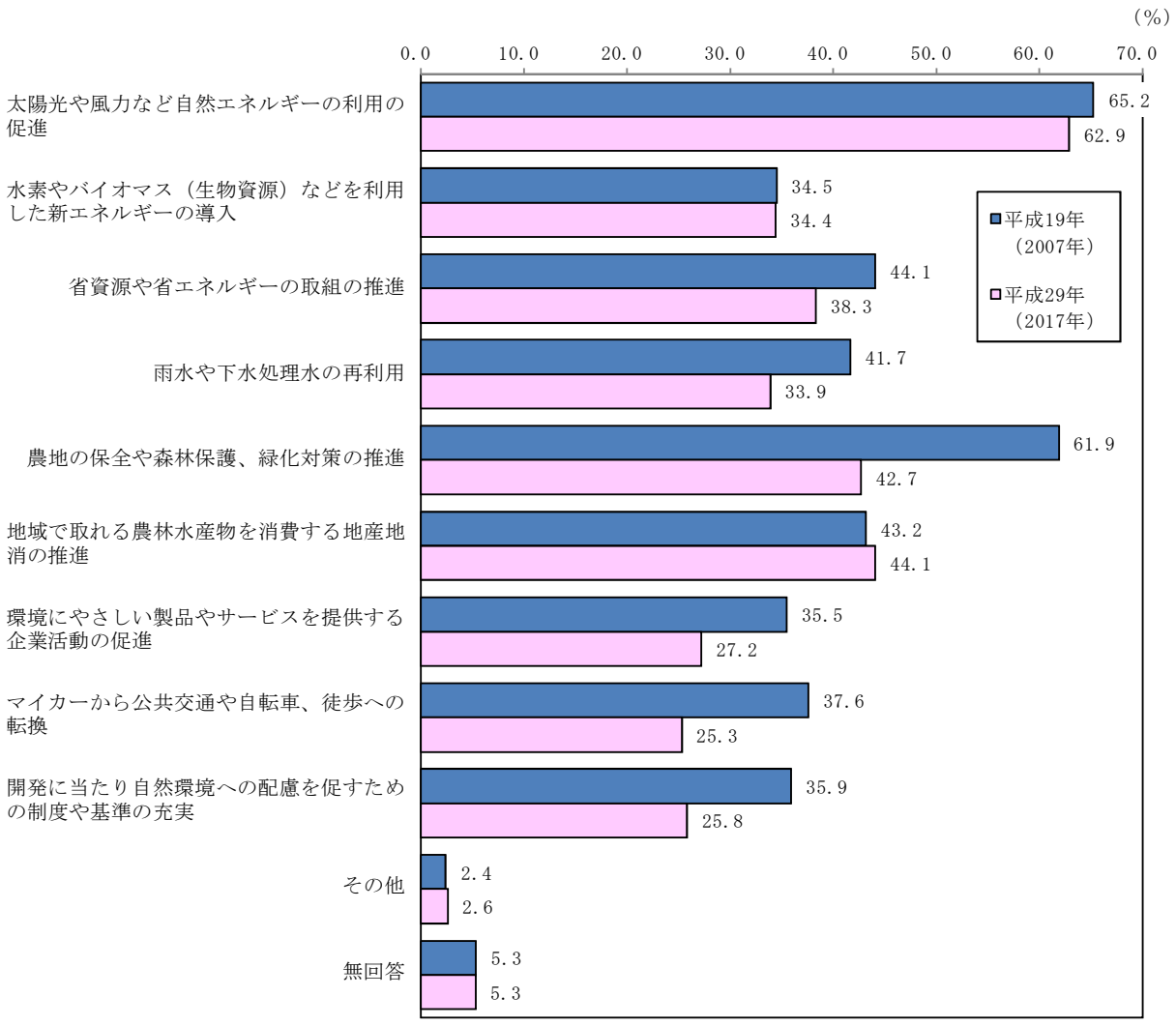
		総数	太陽光や風力など自然エネルギーの利用の促進	地域で取れる農林水産物を消費する地産地消の推進	農地の保全や森林保護、緑化対策の推進	省資源や省エネルギーの取組の推進	水素やバイオマス（生物資源）などを利用した新エネルギーの導入	雨水や下水処理水の再利用	環境にやさしい製品やサービスを提供する企業活動の促進	開発に当たり自然環境への配慮を促すための制度や基準の充実	マイカーから公共交通や自転車、徒歩への転換	その他	無回答
全市		3,685	62.9	44.1	42.7	38.3	34.4	33.9	27.2	25.8	25.3	2.6	5.3
性・年齢別	男性	1,497	62.5	40.0	41.4	40.5	38.7	33.3	23.8	25.3	26.5	3.3	4.4
	10歳代	17	47.1	47.1	41.2	52.9	47.1	41.2	17.6	29.4	35.3	5.9	5.9
	20歳代	99	62.6	43.4	36.4	28.3	45.5	37.4	28.3	24.2	31.3	6.1	2.0
	30歳代	207	62.3	36.7	36.7	35.7	49.8	35.7	26.6	24.2	23.7	4.8	1.4
	40歳代	266	56.4	45.5	34.6	35.7	38.0	32.3	19.2	18.8	21.1	4.9	2.3
	50歳代	226	67.3	35.0	45.6	41.6	45.1	35.0	26.1	24.3	29.6	1.3	3.1
	60歳代	308	65.6	39.6	43.5	46.8	38.0	29.5	25.6	29.2	26.9	2.6	5.2
	70歳以上	371	62.0	40.2	46.4	43.7	27.5	33.4	21.8	28.0	28.0	1.9	8.4
	女性	1,926	63.0	48.1	43.3	37.3	31.3	34.6	30.6	25.8	24.5	2.0	5.8
	10歳代	28	46.4	57.1	42.9	21.4	35.7	25.0	35.7	28.6	32.1	－	3.6
	20歳代	157	72.6	40.8	36.9	33.8	29.3	36.9	35.0	24.2	26.8	1.3	2.5
	30歳代	283	66.1	47.7	42.0	33.2	32.9	32.2	30.4	22.3	17.7	4.6	3.5
	40歳代	361	69.0	50.7	41.0	40.4	36.6	33.8	31.9	24.9	23.0	2.5	1.4
	50歳代	308	65.6	49.0	41.6	42.9	36.4	37.3	31.5	31.8	27.9	2.6	1.9
	60歳代	354	58.8	55.4	50.8	36.2	29.1	36.2	32.5	26.6	24.9	－	5.9
	70歳以上	434	55.3	41.7	43.1	36.6	24.4	33.6	25.8	24.4	26.0	1.4	14.7

【時系列比較】

環境と経済活動が調和した社会の実現を時系列に見たのが（図ＴＰ１４-１-１）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「地域で取れる農林水産物を消費する地産地消の推進」を除く全ての項目が減少している。中でも「農地の保全や森林保護、緑化対策の推進」は 19.2 ポイントと最も減少しており、次いで「マイカーから公共交通や自転車、徒歩への転換」は 12.3 ポイント、「開発に当たり自然環境への配慮を促すための制度や基準の充実」は 10.1 ポイント減少している。

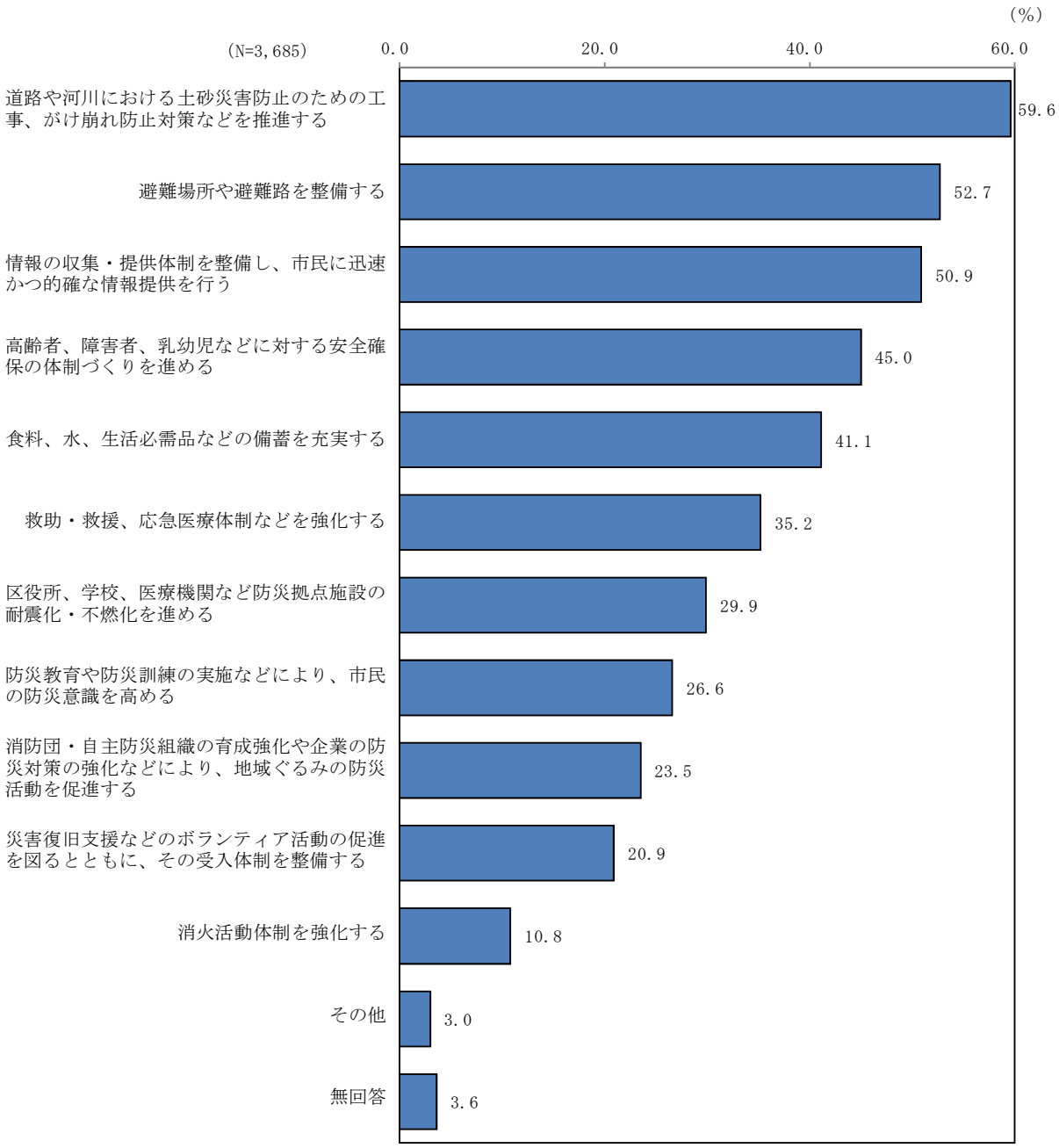
（図ＴＰ１４－１－１）環境と経済活動が調和した社会の実現（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

１５　災害に強いまちづくり

問31　災害に備えて、広島市は、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。
次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



災害に備えて、広島市は今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思うかを尋ねたところ、「道路や河川における土砂災害防止のための工事、がけ崩れ防止対策などを推進する」が 59.6%と最も多く、次いで「避難場所や避難路を整備する」(52.7%)、「情報の収集・提供体制を整備し、市民に迅速かつ的確な情報提供を行う」(50.9%)、「高齢者、障害者、乳幼児などに対する安全確保の体制づくりを進める」(45.0%)、「食料、水、生活必需品などの備蓄を充実する」(41.1%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１５-１-１）、

〔地域別〕

・　南区は「避難場所や避難路を整備する」、それ以外の地域は「道路や河川における土砂災害防止のための工事、がけ崩れ防止対策などを推進する」が最も多くなっている。

〔性・年齢別〕

・　男女とも「道路や河川における土砂災害防止のための工事、がけ崩れ防止対策などを推進する」が最も多く、次いで「避難場所や避難路を整備する」の順になっている。

・　男性では、20 歳代は「避難場所や避難路を整備する」、それ以外の年代は「道路や河川における土砂災害防止のための工事、がけ崩れ防止対策などを推進する」が最も多くなっている。

・　女性では、10 歳代及び 20 歳代は「避難場所や避難路を整備する」、30 歳代以上は「道路や河川における土砂災害防止のための工事、がけ崩れ防止対策などを推進する」が最も多くなっている。

（表ＴＰ１５－１－１）災害に強いまちづくり（地域別、性・年齢別）

(%)

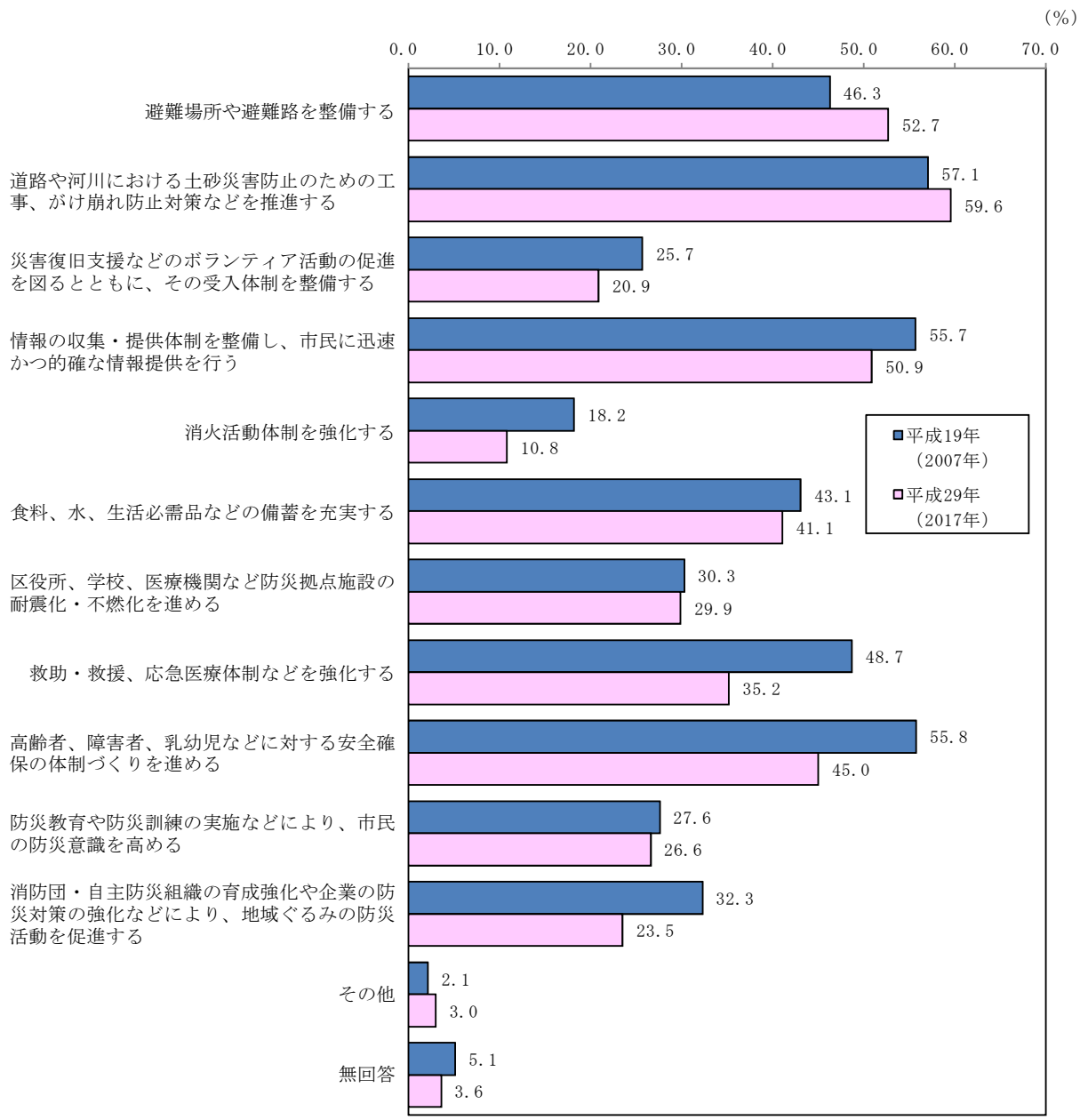
		総数	道路や河川における土砂災害防止のための工事、がけ崩れ防止対策などを推進する	避難場所や避難路を整備する	情報の収集・提供体制を整備し、市民に迅速かつ的確な情報提供を行う	高齢者、障害者、乳幼児などに対する安全確保の体制づくりを進める	食料、水、生活必需品などの備蓄を充実する	救助・救援、応急医療体制などを強化する	区役所、学校、医療機関など防災拠点施設の耐震化・不燃化を進める	防災教育や防災訓練の実施などにより、市民の防災意識を高める	消防団・自主防災組織の育成強化や企業の防災対策の強化などにより、地域ぐるみの防災活動を促進する	災害復旧支援などのボランティア活動の促進を図るとともに、その受入体制を整備する	消火活動体制を強化する	その他	無回答
全市		3,685	59.6	52.7	50.9	45.0	41.1	35.2	29.9	26.6	23.5	20.9	10.8	3.0	3.6
地域別	中区	376	55.3	53.7	52.1	43.1	44.4	31.9	29.5	26.3	21.8	19.9	11.2	4.0	2.1
	東区	380	63.9	49.7	54.7	42.1	43.4	35.5	30.8	29.7	21.6	22.6	12.4	3.2	2.9
	南区	448	54.2	56.0	54.2	45.5	46.2	37.7	26.3	27.7	21.7	23.0	12.3	2.9	3.3
	西区	584	54.8	52.9	51.9	48.3	38.7	33.9	31.7	25.3	21.4	20.4	9.9	3.9	3.8
	安佐南区	714	61.3	53.2	49.6	44.3	39.8	34.5	29.7	24.4	25.5	20.6	10.6	2.1	3.1
	安佐北区	465	65.4	51.4	47.1	49.7	37.4	36.6	28.2	28.2	24.1	20.0	9.5	2.8	4.9
	安芸区	254	63.4	52.4	49.2	44.1	39.8	35.0	34.6	22.4	28.3	22.8	12.2	1.6	3.9
	佐伯区	441	61.2	52.2	49.9	41.3	42.0	37.4	30.4	29.0	24.9	19.3	10.0	3.2	4.3
性・年齢別	男性	1,497	59.0	50.2	50.0	41.1	37.4	33.0	27.9	24.8	22.0	18.3	10.4	3.1	3.3
	10歳代	17	64.7	52.9	58.8	41.2	58.8	29.4	23.5	17.6	5.9	23.5	11.8	－	5.9
	20歳代	99	59.6	61.6	57.6	31.3	50.5	38.4	40.4	32.3	24.2	19.2	14.1	6.1	2.0
	30歳代	207	59.4	57.0	52.7	36.2	43.5	30.4	32.9	27.5	16.9	21.3	13.0	4.8	2.4
	40歳代	266	58.3	46.2	45.5	32.7	39.8	29.7	27.4	22.2	22.2	16.2	6.4	4.1	1.5
	50歳代	226	58.4	45.1	51.8	34.5	35.0	34.1	26.1	24.3	16.4	19.9	9.7	1.8	2.7
	60歳代	308	61.4	48.1	49.0	43.8	32.1	34.7	26.6	23.1	21.1	17.2	8.4	2.3	3.9
	70歳以上	371	57.4	50.9	49.6	54.4	33.7	33.7	24.3	25.6	29.1	17.5	12.7	2.2	5.1
	女性	1,926	60.5	54.4	51.6	47.4	43.9	36.9	32.3	28.2	24.4	22.1	11.0	3.0	3.6
	10歳代	28	57.1	75.0	42.9	53.6	57.1	50.0	35.7	32.1	14.3	21.4	14.3	－	－
	20歳代	157	60.5	66.9	54.8	52.2	49.7	38.2	34.4	26.1	19.1	26.1	11.5	1.9	3.2
	30歳代	283	57.6	51.6	51.2	47.0	44.2	37.5	38.5	31.1	19.8	17.7	11.0	2.8	1.4
	40歳代	361	62.9	51.2	49.0	40.7	45.7	36.0	35.2	25.2	24.4	21.1	8.6	4.7	1.1
	50歳代	308	64.3	56.8	54.9	46.8	38.6	41.6	30.5	30.2	25.0	25.6	10.1	2.9	1.9
	60歳代	354	61.9	56.2	56.2	48.0	42.1	35.0	27.7	28.5	26.3	21.5	8.8	1.7	5.1
	70歳以上	434	56.7	49.8	47.0	50.9	44.7	34.3	30.0	27.9	28.1	22.6	15.2	3.5	7.4

【時系列比較】

災害に強いまちづくりを時系列に見たのが（図ＴＰ１５-１-１）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「避難場所や避難路を整備する」は 6.4 ポイント増加している。一方で「救助・救援、応急医療体制などを強化する」は 13.5 ポイント、「高齢者、障害者、乳幼児などに対する安全確保の体制づくりを進める」は 10.8 ポイント、「消防団・自主防災組織の育成強化や企業の防災対策の強化などにより、地域ぐるみの防災活動を促進する」は 8.8 ポイント減少している。

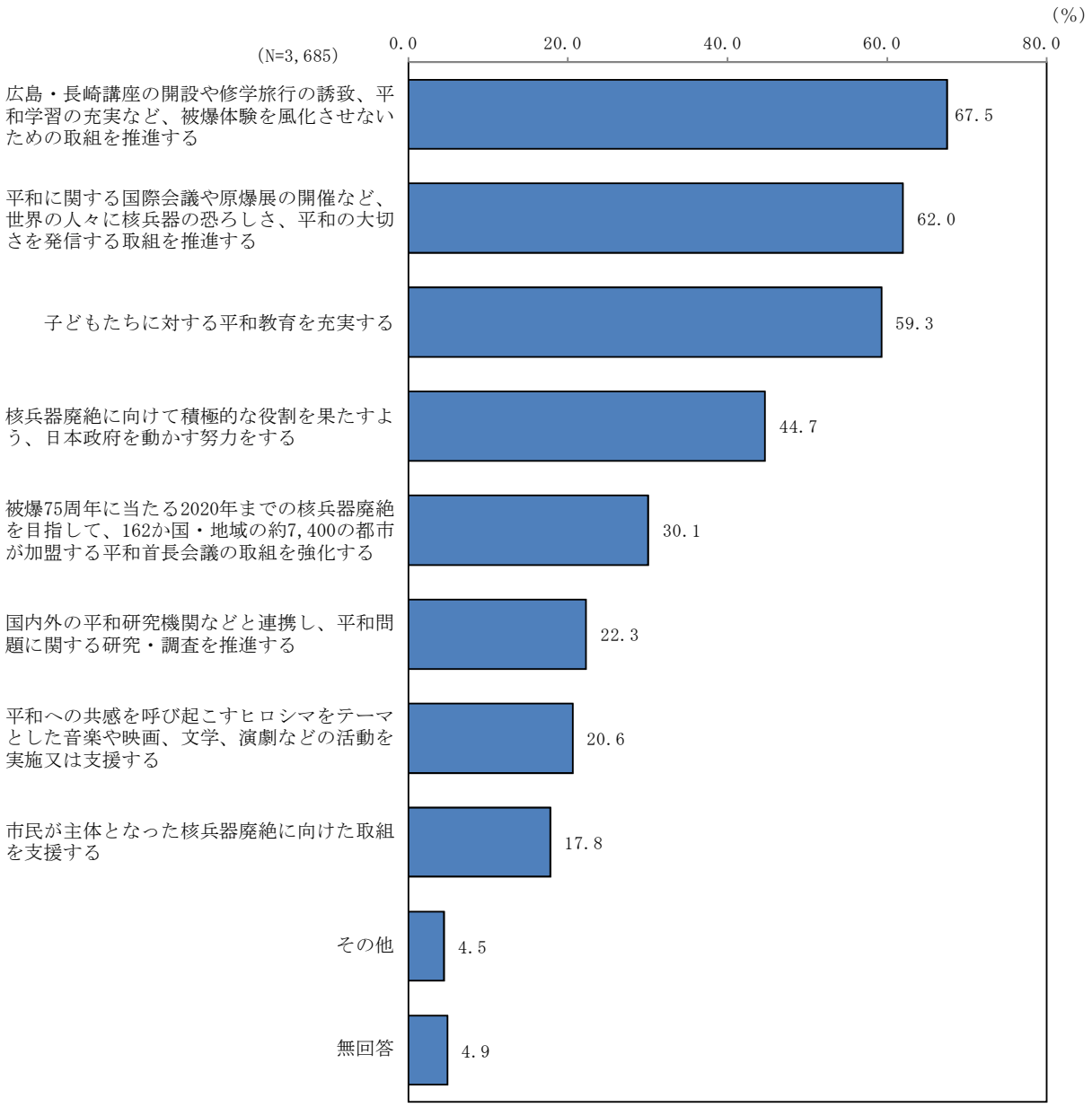
（図ＴＰ１５－１－１）災害に強いまちづくり（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。

１６　平和への取組

問32　核兵器廃絶を目指すヒロシマは、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次のうちから選び、番号にいくつでも○を付けてください。



核兵器廃絶を目指すヒロシマは、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思うかを尋ねたところ、「広島・長崎講座の開設や修学旅行の誘致、平和学習の充実など、被爆体験を風化させないための取組を推進する」が 67.5%と最も多く、次いで「平和に関する国際会議や原爆展の開催など、世界の人々に核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを発信する取組を推進する」(62.0%)、「子どもたちに対する平和教育を充実する」(59.3%) の順になっている。

この結果を属性別に見ると（表ＴＰ１６-１-１)、

〔性・年齢別〕

・　男女とも「広島・長崎講座の開設や修学旅行の誘致、平和学習の充実など、被爆体験を風化させないための取組を推進する」が最も多く、次いで「平和に関する国際会議や原爆展の開催など、世界の人々に核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを発信する取組を推進する」の順になっている。

・　男性では、10歳代は「平和に関する国際会議や原爆展の開催など、世界の人々に核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを発信する取組を推進する」、20 歳代以上は「広島・長崎講座の開設や修学旅行の誘致、平和学習の充実など、被爆体験を風化させないための取組を推進する」が最も多くなっている。

・　女性では、10歳代から50歳代は「広島・長崎講座の開設や修学旅行の誘致、平和学習の充実など、被爆体験を風化させないための取組を推進する」、60歳代は「平和に関する国際会議や原爆展の開催など、世界の人々に核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを発信する取組を推進する」、70歳以上は「広島・長崎講座の開設や修学旅行の誘致、平和学習の充実など、被爆体験を風化させないための取組を推進する」及び「平和に関する国際会議や原爆展の開催など、世界の人々に核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを発信する取組を推進する」(同率)が最も多くなっている。

（表ＴＰ１６－１－１）平和への取組（性・年齢別）

(%)

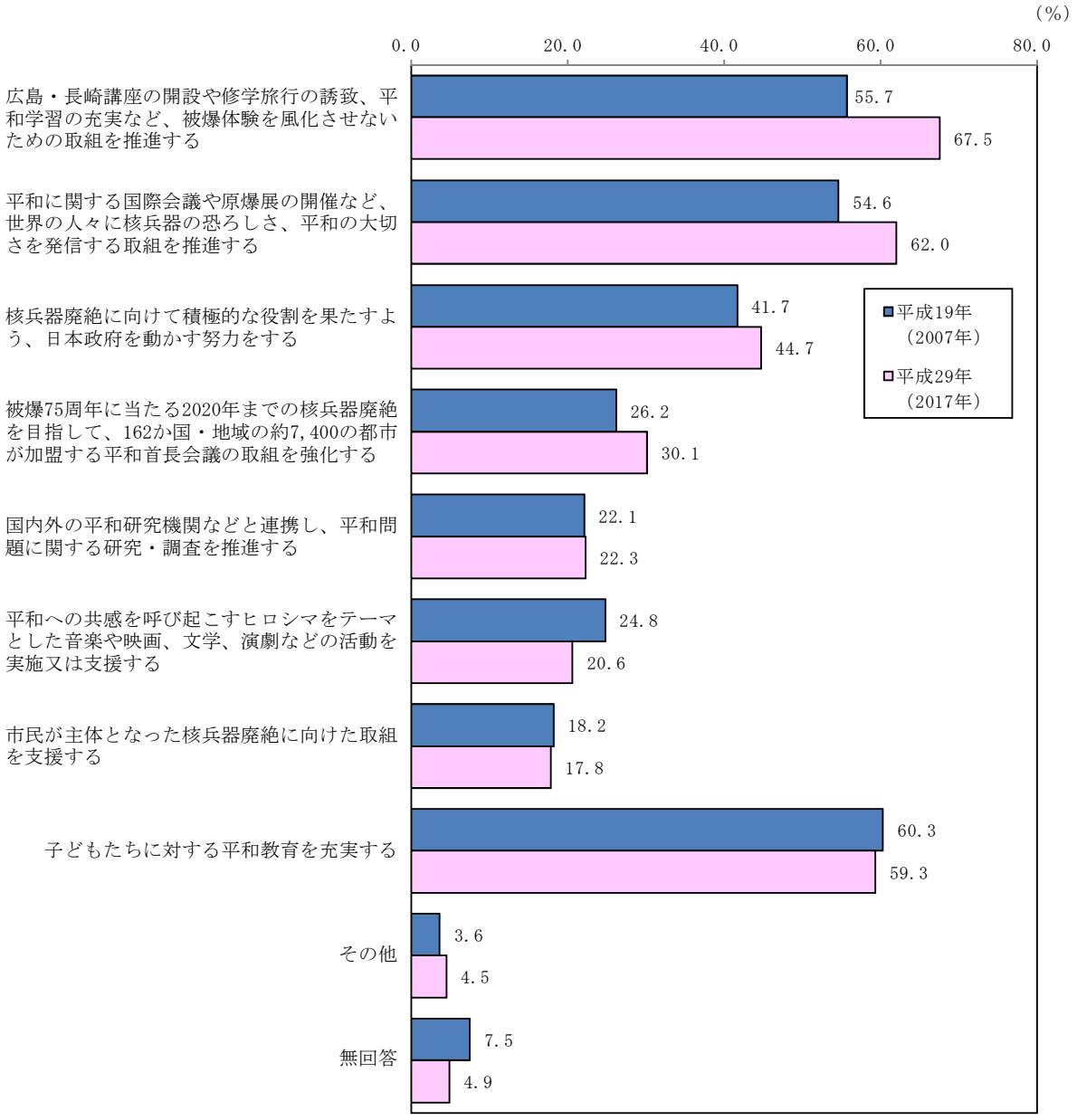
		総数	広島・長崎講座の開設や修学旅行の誘致、平和学習の充実など、被爆体験を風化させないための取組を推進する	平和に関する国際会議や原爆展の開催など、世界の人々に核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを発信する取組を推進する	子どもたちに対する平和教育を充実する	核兵器廃絶に向けて積極的な役割を果たすよう、日本政府を動かす努力をする	被爆75周年に当たる2020年までの核兵器廃絶を目指して、162か国・地域の約7,400の都市が加盟する平和首長会議の取組を強化する	国内外の平和研究機関などと連携し、平和問題に関する研究・調査を推進する	平和への共感を呼び起こすヒロシマをテーマとした音楽や映画、文学、演劇などの活動を実施又は支援する	市民が主体となった核兵器廃絶に向けた取組を支援する	その他	無回答
全市		3,685	67.5	62.0	59.3	44.7	30.1	22.3	20.6	17.8	4.5	4.9
性・年齢別	男性	1,497	63.8	58.0	54.6	43.7	30.3	21.6	18.3	17.6	5.7	4.7
	10歳代	17	47.1	76.5	47.1	52.9	41.2	23.5	17.6	23.5	5.9	5.9
	20歳代	99	70.7	58.6	57.6	42.4	34.3	24.2	22.2	25.3	8.1	2.0
	30歳代	207	63.8	53.1	58.9	41.1	28.0	25.6	17.9	17.4	7.7	2.4
	40歳代	266	70.7	56.0	56.8	38.7	20.3	18.0	15.8	11.3	7.5	1.9
	50歳代	226	60.6	57.1	53.1	39.4	28.8	21.7	17.7	12.8	7.1	6.6
	60歳代	308	61.7	59.4	52.3	44.8	33.4	21.8	16.2	16.9	4.2	5.5
	70歳以上	371	61.7	60.9	53.4	50.7	35.8	21.3	21.6	23.7	3.0	7.0
	女性	1,926	71.0	65.1	62.9	45.1	29.5	22.6	21.7	17.5	3.6	4.3
	10歳代	28	75.0	64.3	71.4	50.0	32.1	25.0	21.4	35.7	－	－
	20歳代	157	78.3	68.2	67.5	43.3	29.9	22.9	24.8	15.9	4.5	3.2
	30歳代	283	73.1	57.2	63.6	34.3	21.2	19.8	19.1	9.5	5.7	2.1
	40歳代	361	73.1	64.3	62.6	42.9	23.3	21.1	24.4	13.6	3.6	2.5
	50歳代	308	73.4	64.3	59.4	48.1	28.2	25.3	20.5	13.6	3.2	2.6
	60歳代	354	66.7	69.5	67.2	47.7	30.8	23.2	19.8	20.1	2.5	5.9
	70歳以上	434	66.8	66.8	59.2	50.0	39.6	23.0	22.4	26.3	3.5	7.8

【時系列比較】

平和への取組を時系列に見たのが（図ＴＰ１６-１-１）である。

平成 29 年（2017 年）は、平成 19 年（2007 年）と比べて「広島・長崎講座の開設や修学旅行の誘致、平和学習の充実など、被爆体験を風化させないための取組を推進する」は 11.8 ポイント、「平和に関する国際会議や原爆展の開催など、世界の人々に核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを発信する取組を推進する」は 7.4 ポイント増加している。一方で「平和への共感を呼び起こすヒロシマをテーマとした音楽や映画、文学、演劇などの活動を実施又は支援する」は 4.2 ポイント減少している。

（図ＴＰ１６－１－１）平和への取組（時系列）



注　上記のグラフは、時系列比較のため、設問の選択肢順に掲載している。